現場説明書（技術的事項）

工事名称　リムふくやま本館改修工事

1　現場の状況

工事場所は、福山市西町一丁目１番１号に位置し、福山駅西町線に接しています。本施設１階は、工事期間中も１階運営事業者が運営しており、営業時間は月曜日から日曜日の１０時から２１時です。ただし、事務所区画については左記に示す時間に関わらず関係者の入出退があります。休館日は１２月３１日から１月３日と、２月と８月にそれぞれ１日、設備点検による休館日があります。また、本館に隣接する第一駐車場は２４時間営業しており、休館日はありません。

2　別途工事

・電気設備改修工事
・給排水衛生設備改修工事
・冷暖房換気設備改修工事
・昇降機設備改修工事
・２階運営事業者による工事

3　留意事項

【共通事項】

(1)　工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、職員、関係者及び第三者に迷惑のかからないよう十分配慮してください。

(2)　工事期間中も本施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、関係者及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。

(3)　工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、監督員及び施設管理者と事前に協議を行ってください。

(4)　資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。

(5)　工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。

(6)　工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。

(7)　実施工程表は、契約後１４日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。

(8)　工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。

(9)　はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。

(10)　特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。

(11)　工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
(12)　受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
(13)　受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】
(1)　受注者は、１階運営事業者の運営に支障をきたさないよう工事の調整に努めてください。
　また、仮設計画については監督員及び１階運営事業者と十分な調整を行い決定してください。
(2)　本施設２階において、２０２７年８月より２階運営事業者がテナント工事を開始予定です。したがって本工事範囲である２階の既存店舗部分、便所部分については２０２７年７月末までに改修工事を終えて部分引渡しを行ってください。
(3)　本工事は、２階運営事業者との協議（リースラインの移動等）により施工範囲を変更する可能性があります。変更が生じる場合は、速やかに受発注者間で協議を行います。
(4)　本工事に伴う１階の改修工事を行う場合は、監督員及び１階運営事業者と十分な調整を行い工事時期を決定してください。
(5)　本施設は、８時から２２時以外の時間はセキュリティがかかります。８時から２２時以外の時間で作業を行う場合は、事前に施設管理者と協議が必要になります。
(6)　本工事に従事する作業員は工事期間中、本工事従事者であることがわかる腕章等を着用してください。
(7)　本工事における主な資材の搬入については、揚重作業により２階北西の出入口からの搬入を想定しています。止むを得ずその他の場所より資材の搬入を行う場合は、事前に監督員及び１階運営事業者との協議を行い決定してください。
(8)　資材搬入等で止むを得ず施設内のエレベーターを利用する際は、８号機を使用してください。
(9)　２階便所の改修工事に伴い、１階便所の利用中止期間が生じます。そのため２階便所改修時期については、監督員及び１階運営事業者との協議を行い決定してください。
(10)　工事車両（普通車両）駐車場所については、本館第一駐車場の７階を利用可能です。（３０台）
　駐車場内への経路については、車両の高さ、車両の幅の制限があります。
（車高２．１ｍ、車幅１．９ｍ）

リムふくやま本館改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
A－00	図面リスト	——
A－01	特記仕様書 №.1	——
A－02	特記仕様書 №.2	——
A－03	特記仕様書 №.3	——
A－04	特記仕様書 №.4	——
A－05	特記仕様書 №.5	——
A－06	特記仕様書 №.6	——
A－07	特記仕様書 №.7	——
A－08	特記仕様書 №.8	——
A－09	特記仕様書 №.9	——
A－10	工事区分表	——
A－11	配置図・附近見取図	
A－12	仕上表	——
A－13	改修前 地下２階平面図	1/200
A－14	改修前 地下１階平面図	1/200
A－15	改修前 １階平面図	1/200

図面番号	図面名称	縮尺
A－16	改修前 ２階平面図 建具位置図	
A－17	改修後 ３階平面図 建具位置図	1/200
A－18	改修前 ９階平面図 断面図 展開図	1/200
A－19	改修前 R階平面図	1/200
A－20	改修前 ２階天井伏図	1/50 1/200
A－21	改修後 ２階天井伏図	1/200
A－22	改修前後 ３階天井伏図	1/200
A－23	改修後 排煙設備 ２階防煙区画平面図	1/200
A－24	改修前 ２階平面図(吹抜) 断面詳細図 改修前後天井伏図	1/30 1/100
A－25	改修前 ２階平面図（エスカレーター） 断面詳細図	1/40 1/100
A－26	改修前後 ２階天井伏図（エスカレーター）	1/100
A－27	改修前 ２階平面図（吹抜･喫茶） 断面詳細図 展開図	1/30 1/100
A－28	改修前後 ２階天井伏図（吹抜･喫茶）展開図	1/50 1/100
A－29	改修前後 ２階平面図（通路･EVホール）天井伏図 展開図	1/50 1/100
A－30	改修前後 ３階平面図 断面詳細図 ２・３階展開図	1/30 1/100･50
A－31	改修前後 ９階天井伏図 R階平面図 断面図 展開図	1/40 1/100･50

図面番号	図面名称	縮尺
A－32	改修前 ２階便所（１）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－33	改修後 ２階便所（１）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－34	改修前 ２階便所（２）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－35	改修後 ２階便所（２）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－36	改修前 ２階便所（３）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－37	改修後 ２階便所（３）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	1/50 1/100
A－38	屋外避難階段 №.6 平面詳細図 断面詳細図	1/50
A－39	屋外避難階段 №.1・2 平面詳細図 断面詳細図	1/50
A－40	改修前後 シャッター建具表№.1	1/100
A－41	改修前後 シャッター建具表№.2	1/100
A－42	鋼製建具表 トイレブース	1/50 1/100

福山市建設局建築部営繕課	発注 2026年 8月
主務 / 課員 / 次長 / 課長補佐 / 営繕課長 / 建築部長	

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第24590号 酒井 宏
PHONE (084)953-3282

工事名称	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	A-1：100% A-2： 71% A-3： 50%	意匠
図面名称：図面リスト	縮尺	図面番号：A-00

福山市建築改修工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　福山市西町一丁目１番１号

2．敷地面積　11,393.04　㎡

3．工事種目

（１）　（本館）鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造　地下２階地上９階建て

（２）　建築面積 7,855.87㎡　延べ面積 72,635.20㎡

（３）

（４）

（５）

4．工事範囲

※「3．工事種目」全てを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の全てを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の工事範囲は次表のとおりとする。

ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	
3　防水改修工事	
4　外壁改修工事	
5　建具改修工事	
6　内装改修工事	
7　塗装改修工事	
8　耐震改修工事	
9　環境配慮改修工事	

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、〇を付けたものを適用する。

⊙　建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という。）

⊙　建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）

2．電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図による。

3．特記仕様書の適用は次による。

（1）項目は、⊙　印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙　印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と　※　印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［　．　．　］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Ⅲ　福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。

本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。

本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1．官公署の手続き

受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)

2．施工中の安全確保

本工事は、交通誘導員として　７２　人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。

3．監理（主任）技術者

現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4．別契約の関連工事との調整等

・　施工範囲は「工事区分表」による。

⊙　別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。

⊙　別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5．施工管理

※　施工体制台帳の写しを提出する。

6．施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

7．保証書

次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備　考
・　防水工事	・　アスファルト防水	10　年	
	・　改質アスファルト防水	10　年	
	・　合成高分子ルーフィング防水	10　年	
	・　塗膜防水	10　年	
・　屋根工事	・　長尺金属板葺き	年	漏水の場合等
	・　折板葺き	年	漏水の場合等
	・　瓦葺き	年	漏水の場合等
・　防錆工事	・	年	
・　特殊床工事	・　フローリング及び塗装	年	・ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・FRP
・　プール工事	・　プール本体	年	
	・　塗装（通常塗装の場合）	年	
	・	年	
・	・	年	

※補助色表記としているため、印刷時は対象の記載のみ文字色の変更を行ってください。

8．引渡し後点検

引渡し後、次の点検を行う。（〇印のついたものを適用する。）

・　引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後

・　引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

章	項　目	特記事項
1 各年共通事項	⊙　一般事項	適用基準 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。 ⊙　建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙　営繕工事写真撮影要領（令和5年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙　建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ・
	⊙　工事実績情報システム（コリンズ）への登録	登録　［1．1．4］ ⊙　する　・
	⊙　書面の書式及び取扱い	情報共有システムの適用及び機能要件　［1．1．5］ ⊙　適用する 機能要件　（　・　現場説明書による　）
	・　遠隔臨場の実施	遠隔臨場の適用及び実施内容　［1．1．14］ ・　適用する 実施内容（　・　現場説明書による　・　　）
	⊙　実施工程表	概成工期　［1．2．1］ ・　有り（　・　現場説明書による　・　　）　⊙　無し
	⊙　工事の記録等	報告に用いる書式等　［1．2．4］ ・　現場説明書による　・ ⊙　改修標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　令和５年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ⊙　着手前・工事中写真 撮影仕様　（　※　Ｌ判程度（カラー）　） 提出仕様　（　※　Ａ４判印刷、若しくはＡ４判写真帳　） 提出部数　（　※　１部　）
	⊙　電気保安技術者	配置　［1．3．3］ ⊙　する　・
	⊙　施工条件	・　施工順序　［1．3．5］ （　　） ・　工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所 （　　） ⊙　改修標準仕様書１．３．５（１）から（３）まで以外の施工条件 ⊙　現場説明書による　・ ・　作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。 ・　日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・　週休二日適用工事（　・　現場説明書による　）
	⊙　発生材の処理等	処理等　［1．3．12］ ・　発注者に引渡しを要するもの ・　現場説明書による　・ ・　特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法 ・　現場説明書による　・ ・　工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ・　現場説明書による ・　ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理 （　・　製造業者へ処分委託　・　管理型最終処分場で処理） ・　石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 （　・　管理型最終処分場で処理　・　再資源化） ・　PCB含有シーリング材の分析調査（　・　行う　・　　） ・　PCB含有シーリング材の撤去　（　・　行う　・　　） ・　特別管理産業廃棄物の分析調査（　・　行う　・　　） ※　建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議する。 ｜施　工　計　画　時｜工　事　完　了　時｜ ｜搬　入｜再生資源利用計画書｜再生資源利用実施書｜ ｜搬　出｜再生資源利用促進計画書｜再生資源利用促進実施書｜ ※　本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。 なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。
	⊙　石綿含有建材の調査	調査　［1．5．1］ ※　石綿含有建材の事前調査　・ 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 調査範囲 ・　図示による　⊙　改修範囲 貸与資料 ⊙　分析による石綿含有建材の調査　・ 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 資料採取箇所 ・　「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の１．７．11による ・　図示による
	・　施工数量調査	各章の特記による。　［1．6．2］［1．6．3］

章	項　目	特記事項
	・　技能士	適用 適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。　［1．7．2］ ｜適用工事種類｜職　種｜技能検定の作業の種別｜ ｜仮設工事｜とび｜・　とび作業｜ ｜鉄筋工事｜鉄筋施工｜・　鉄筋組立て作業｜ ｜コンクリート工事｜型枠施工｜・　型枠工事作業｜ ｜｜コンクリート圧送施工｜・　コンクリート圧送工事作業｜ ｜鉄骨工事｜鉄工｜・　構造物鉄工作業｜ ｜コンクリートブロック・ALC パネル及び押出成形セメント板工事｜ブロック建築｜・　コンクリートブロック工事作業｜ ｜｜エーエルシーパネル施工｜・　エーエルシーパネル工事作業｜ ｜防水工事｜防水施工｜・　アスファルト防水工事作業｜ ｜｜｜・　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業｜ ｜｜｜・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業｜ ｜｜｜・　合成ゴム系シート防水工事作業｜ ｜｜｜・　塩化ビニル系シート防水工事作業｜ ｜｜｜・　セメント系防水工事作業｜ ｜｜｜・　シーリング防水工事作業｜ ｜｜｜・　改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業｜ ｜｜｜・　改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業｜ ｜｜｜・　FRP防水工事作業｜ ｜石工事｜石材施工｜・　石張り作業｜ ｜タイル工事｜タイル張り｜・　タイル張り作業｜ ｜木工事｜建築大工｜・　大工工事作業｜ ｜屋根及びとい工事｜建築板金｜・　内外装板金作業｜ ｜金属工事｜内装仕上げ施工｜・　鋼製下地工事作業｜ ｜｜建築板金｜・　内外装板金作業｜ ｜左官工事｜左官｜・　左官作業｜ ｜建具工事｜サッシ施工｜・　ビル用サッシ施工作業｜ ｜｜ガラス施工｜・　ガラス工事作業｜ ｜｜自動ドア施工｜・　自動ドア施工作業｜ ｜カーテンウォール工事｜カーテンウォール施工｜・　金属製カーテンウォール工事作業｜ ｜｜サッシ施工｜・　ビル用サッシ施工作業｜ ｜｜ガラス施工｜・　ガラス工事作業｜ ｜塗装工事｜塗装｜・　建築塗装作業｜ ｜内装工事｜内装仕上げ施工｜・　プラスチック系床仕上げ工事作業 ・　カーペット系床仕上げ工事作業 ・　木質系床仕上げ工事作業 ・　ボード仕上げ工事作業｜ ｜｜表装｜・　壁装作業｜ ｜排水工事｜配管｜・　建築配管作業｜ ｜舗装工事｜路面標示施工｜・　溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・　加熱ペイントマシンマーカー工事作業｜ ｜植栽工事｜造園｜・　造園工事作業｜
	・　化学物質の濃度測定	濃度測定の実施　［1．7．10］ ・　適用する 測定時期　・　現場説明書による　・ 測定対象化学物質 ・　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチノレベンゼン、スチレン ・ 測定方法 ・　パッシブ型採取機器による　・ 測定対象室及び測定箇所 ・　現場説明書による　・
	⊙　技術検査	中間技術検査　［1．8．2］ ・　実施回数（　　）回 ・　実施する段階（　　） ※　工事請負契約締結後、監督職員から通知
	⊙　完成時の提出図書	提出図書 ※　改修標準仕様書１．９．２及び１．９．３による ・
	⊙　完成図	種類、記入内容等　［1．9．2］［表1．9．1］ ※　改修標準仕様書　表１．９．１による 提出部数（　　）部 提出仕様（　・　紙ベース　・　電子データ　・　　） ※　竣工図 速やかに次の図書を提出する （　※　完成図　・　施工図　） ⊙Ａ３判を２つ折りにして製本　２　部 ・　部 ※電子データ提出　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。） ⊙ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督職員の指示による。
	・　保全に関する資料	作成等　［1．9．3］ 提出部数（　　）部 提出仕様（　・　紙ベース　・　電子データ　・　　）
	・　完成写真	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所　（　外景４面　、　各室４面　） 撮影仕様　（　形　式：　※　電子データ　JPEG フルカラー　・ 画質等：　・　外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・　各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・　） 提出仕様　（　※　電子データ　・　アルバム（Ａ４判程度）　1部　・　写真帳　1部　） 検査後１４日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。

章	項　目	特記事項
2 仮設工事	・　騒音・粉じん等の対策	・　防音パネル　［2．1．3］ ・　防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・　図示による　・
	⊙　足場等	外部足場　［2．2．1］［表2．2．1］ ・　設置する（設置範囲　・　工事に必要な範囲　・　　） ・　設置しない 防護シート ・　設置する（設置範囲　・工事に必要な範囲　・　　） ・　設置しない 内部足場 ⊙　設置する（※　脚立、足場板等　・　　） ・　設置しない ・　材料、撤去材等の運搬方法 種別（・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種） C種：利用可能なエレベーター　（　　） D種：利用可能な階段　（　　）
	⊙　既存部分の養生	養生方法等　［2．3．1］ ⊙　既存部分 養生方法（　※　ビニルシート、合板　・　　） ・　既存家具、既存設備等 養生方法（　※　ビニルシート等　・　　） ・　既存ブラインド、カーテン等 養生方法（　・　ビニルシート等　・　　） 保管場所（　・　図示による　・　　） ・　固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・　図示による　・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	・　仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　［2．3．2］［表2．3．1］ ・　図示による　・ 仮設間仕切りの種別と材質等 ｜種別｜仕上げ（厚さmm）｜塗装｜充填｜ ｜・A種｜・　せっこうボード 種類（　・　　） 厚さ（　※　9.5mm　・　　mm） ・　合板 材種（　・　　） 厚さ（　※　9mm　・　　mm） ・｜・　なし ・　片面 ・｜グラスウール 厚さ　mm｜ ｜・B種｜｜｜｜ ｜・C種｜防炎シート｜｜｜ 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 ｜材質｜仕上げ｜塗装｜設置箇所｜ ｜※　木製｜※　合板張り程度｜・　なし ・　片面｜・　か所 ・　図示による｜ ・｜・｜｜｜
	・　監督職員事務所等	監督職員事務所等　［2．4．1］ 建物 ・　設置する　・　設置しない 規模、仕上げの程度 ・　現場説明書による　・ 設備 ※　監督職員との協議による ・　現場説明書による　・ 備品等の種類及び数量 ・　現場説明書による　・
	⊙　工事用水	構内既存の施設 ・　利用できない　⊙　利用できる（　⊙　有償　・　無償　）
	⊙　工事用電力	構内既存の施設 ・　利用できない　⊙　利用できる（　⊙　有償　・　無償　）

工事名称

リムふくやま本館改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書　No-１

福山市建設局建築部営繕課

設計

２０２６年　８月

株式会社　佐藤設計
〒720-0823
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所　広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士　第248907号　酒井　宏
PHONE (084)953-3282

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-01

章	項目	特記事項

③ 防水改修工事

・ 施工数量調査

調査範囲 [1.6.2][1.6.3]
・ 図示による ・
調査方法
・ 図示による ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による ・
調査報告書（提出部数 ・ 2部 ・ ）

・ 降雨等に対する養生方法（とい共）

※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による [3.1.3]
・

・ 改修工法の種類及び工程

防水改修工法 [3.1.4]
・ 図示による ・

・ 既存防水層の処理

既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6]
・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X ）
・ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
・ 行う （ ・POAS ・POASI ・POD ・PODI ・POS ・POSI ・POX ・M4S ・M4SI ・S4S ・S4SI ）
・ 行わない（ ・POAS ・POASI ・POD ・PODI ・POS ・POSI ・POX ・M4S ・M4SI ・S4S ・S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設 （範囲 ・ 図示による ・ ）

・ 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6]
・ 図示による ・

POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした
立上り部等の処置
※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による
・

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、
塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する
・ 図示による

・ アスファルト防水

新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・P1B	・B-1 ・B-2			
・P2AⅠ	・AⅠ-1 ・AⅠ-2 ・AⅠ-3		（種類） ※ JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム1断熱材3種bA（スキン層付き） （厚さ）(mm) ・	※ フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・P1BⅠ	・BⅠ-1 ・BⅠ-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種 ・
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度
・
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・
コンクリートの仕上りの平たんさの種別（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ・ ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ・ ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ・ ）
新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

・ 改質アスファルトシート防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示による ・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（ 個）
屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層 ・ 設ける（ ※ 図示による ・ ）
・ 設けない
E-1の行程３を行う部位
※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
屋上排水溝
※ 図示による ・

新設防水層の種別 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-TI ・ASI-JI		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・ アルミニウム製 L−30×15×2.0(mm)程度
・
屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ
種類（ ）
厚さ（ ）
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
・（ 個）
絶縁断熱工法の防湿用シート
・ 設置する ・ 設置しない

・ 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別 [3.2.5][3.5.2～3.5.4]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・POS ・S4S	・S-F1			・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S-F2					・適用する	
	・S-M1			・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	
	・S-M2					・適用する	
・S3S	・S-F1	・プレキャストコンクリート下地 ・		・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地 ・				・適用する	
・M4S	・S-M1			・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					・適用する	
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1	・プレキャストコンクリート下地 ・	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI-F2					・適用する	
	・SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・適用する	
	・SI-M2					・適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※ 非歩行仕様
・ 軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・ 設置する ・ 設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※ 7mm以下 ・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・ mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※ 発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質及び寸法形状
※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・（ 個）
設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・（ 個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・ 行う（ ・ 図示による ・ ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・ 行う（ ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による

・ 塗膜防水

新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・POX	※ X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・X-1 ※ X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様
・（ 個）

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※ Y-2 ・		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）
・P2Y	※ Y-2 ・		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）

⊙ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3][3.7.7、8]
⊙ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り
・ 適用する ・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
排煙機械室:ドア廻り	MS-2 (15x10)
チャンバー室:基礎立上り 押出成形セメント板取合い	MS-2 (15x10)
2階通路:押出成形セメント板廻り（SD-1）上部	MS-2 (15x10)

仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による ・
シーリング材の目地寸法
・ 図示による ・
接着性試験
※ 簡易接着性試験
・ 引張接着性試験
・ ひも状接着性試験

・ とい

といその他の材種 [3.8.2][3.8.3]
・ 配管用鋼管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ 表面処理鋼板（規格番号 ）
（表面及び裏面の塗膜の種類 ）
・
とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※ 改修標準仕様書表3.8.2による
・ 図示による
多雪地域
・ 適用する ・ 適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・ 図示による ・
鋼管製といの防露巻き
※ 改修標準仕様書表3.8.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	・ねじ込み式	・	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	・ねじ込み式	・	
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・	
	・差し込み式	・	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・	
	・差し込み式	・	

たてどい受金物の取付け
※ 図示による ・
ルーフドレンの取付け
※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

・ アルミニウム製笠木

種類 [3.9.2][3.9.3]
・ 押出形材形 （ ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 ）
・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式 ）
本体幅（ ）mm 板厚（ ※ 2.0mm ・ mm ）
表面処理
種別（ ）種
色合等 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）
既存笠木等の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
下地補修の工法
※ 図示による ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※ 図示による ・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による ・

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-2

福山市建設局建築部営繕課
設計
2026年 8月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第249907号 酒井 宏

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-02

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事（共通事項）	・ 施工数量調査	調査範囲 ［1．6．2］［1．6．3］ ・ 外壁改修範囲 ・ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による ・ 調査報告書の部数（ ・ ２部 ・ ）

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁改修

・ ひび割れ部改修工法

・ 樹脂注入工法 ［4．1．4］［4．2．5～7］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※ 200～300 ・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・ 150～250 ・	・ 130 ・

注入状況の確認方法
※ コアの抜取りを行う
抜取り個数
※ 長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※ 図示による ・

・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※ 1成分形又は２成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書３章 防水改修工事による。
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
・ 充填工法 ［4．1．4］［4．1．4、7］
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修

・ ひび割れ部改修工法

・ 樹脂注入工法 ［4．1．4］［4．3．5～8］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※ 200～300 ・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・ 150～250 ・	・ 130 ・

注入状況の確認方法
※ コアの抜取りを行う
抜取り個数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき１個 ・
抜取り部の補修方法 ※ 図示による ・
・
・ Uカットシール材充填工法
・ シーリング材
充填材料の種類
※ １成分形又は２成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法
・ 充填工法 ［4．1．4］［4．3．5］［4．3．9、10］
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法
・ 現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８．２ コンクリート工事による）
・ 既調合材料（ ）
既製目地材
・ 使用する（形状 ・ 図示による ・ ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※ 図示による ・

章	項目	特記事項
	・ 浮き部改修工法	［4．1．4］［4．3．5］［4．3．11、16］

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	注入量(mL/箇所)
・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50 ・
・ 充填工法	―	―	―	―	―
・ モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径６mm程度
・
注入工法用材料
・ ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)
３以上	３以上	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00
充填工法用材料
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
・ 現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８．２ コンクリート工事による）
・ 既調合材料（ ）
既製目地材
・ 使用する（形状 ・ 図示による ・ ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※ 図示による

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁改修

・ タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等 ［4．4．5］［4．4．8］

施工箇所	形状／寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

見本焼き
・ 行う（施工箇所： ） ・ 行わない
試験張り
・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ・ 行わない

・ ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 ［4．1．4］［4．4．5、6］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※ 200～300 ・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・ 150～250 ・	・ 130 ・

・ 欠損部改修工法

・ タイル部分張替え工法 ［4．4．5］［4．4．8］
接着剤の種類
・ ポリマーセメントモルタル
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・ タイル張替え工法
張替え用材料
・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・ 張付けモルタル （ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル ）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※ 改修標準仕様書表４．４．２による
・ 図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・ 行う ・ 行わない
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．3.10（３）による）
・
タイル張りの工法
・ 外装タイル
・ 密着張り ・ 改良圧着張り
・ ユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．3.10（３）による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※ 変成シリコーン系
・
目地詰め（ ※ 行う ・ 行わない）

章	項目	特記事項
	・ 浮き部改修工法	［4．1．4］［4．4、5、9～15］

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	注入量(mL/箇所)
・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50 ・
・ 注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	※ 25 ・
・ タイル部分張替え工法	―	―	―	―	―
・ タイル張替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径６mm程度
・
・ タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ ポリマーセメントモルタル
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・ タイル張替え工法
張替え用材料
・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・ 張付けモルタル （ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル ）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※ 改修標準仕様書表４．４．２による
・ 図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・ 行う ・ 行わない
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書４．3.10（３）による）
・
タイル張りの工法
・ 外装タイル
・ 密着張り ・ 改良圧着張り
・ ユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．3.10（３）による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※ 変成シリコーン系
・
目地詰め（ ※ 行う ・ 行わない ）

・ 目地改修工法
・ 目地ひび割れ部改修工法 ［4．1．4］［4．4．16］
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・ 図示による

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁等改修

・ 既存塗膜等の除去
下地処理及び
下地調整

［4．5．4］

工法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	・ ひび割部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・ 図示による	

・ 下地調整塗材 ※ 下地調整塗材 ［4．5．2］
・ ポリマーセメントモルタル

・ 仕上塗材仕上げ 新規仕上塗材の種類 ［4．1．5］［4．5．2］
・ 薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
・			・
・			・

・ 厚付け仕上塗材（外装厚塗材C）

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・			※ セメントスタッコ ・	・

・ 厚付け仕上塗材（外装厚塗材Si、外装厚塗材E）

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・			・ 適用する	・
・			・ 適用する	・

章	項目	特記事項
		・ 複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系 ・	・ ※ 耐候形３種	・
・	・	・	・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・ 耐候形１種 ・ 耐候形２種 ・ 耐候形３種	・
・	・	・	・	・	・

・ 外壁塗膜防水材塗り

仕上げの形状 ［4．1．5］［4．7．2、3］
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・ 適用する
・ 適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書４章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・ （ ・ 所要量 (kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・ （ ・ 所要量 (kg/㎡)）

⑤ 建具改修工事

⊙ 改修工法 ［5．1．3］

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ アルミニウム製建具	・	・	・ 建具表による ・
・ 樹脂製建具	―	・	・ 建具表による ・
⊙ 鋼製建具 ⊙ 外部	・	⊙	⊙ 建具表による ・
⊙ 鋼製建具 ⊙ 内部	・	⊙	⊙ 建具表による ・
・ 鋼製軽量建具	・	・	・ 建具表による ・
・ ステンレス製建具	・	・	・ 建具表による ・
・ 木製建具	・	・	・ 建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※ 図示による ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※ 図示による ・
再使用材（・ブラインドボックス等 ・ ）

⊙ 防火戸（防火防煙ｼｬｯﾀｰ）
・ 指定する 適用箇所（ ⊙ 建具表による ・ ） ［5．1．4］
・ 指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
⊙ 連動させる（ ・ 建具表による ・ ）
・ 連動させない

・ 見本の製作等
建具見本の製作 ・ 行う（建具符号： ） ［5．1．5］
・ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ）
・ 行わない

・ 防犯建物部品
・ 適用する（ ・ 建具表による ・ ） ［5．1．7］
・ 適用しない

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-３

福山市建設局建築部営繕課
設計
２０２６年 ８月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第249907号 藤井 宏

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-03

章	項目	特記事項

・ アルミニウム製製建具

性能値等 ［5．2．2～5］
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
気密性の等級 （ ・ ）
（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
水密性の等級 （ ・ ）
（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
枠の見込み寸法
（ ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・ BB-1 ・ BB-2 （改修標準仕様書表5．2．2）
着色
・ 標準色 ・ 特注色
屋内の建具
種別
・ BC-1 ・ BC-2 （改修標準仕様書表5．2．2）
着色
・ 標準色 ・ 特注色
結露水の処理方法
・ 水貯め式 ・ 排水式
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による ・

・ 網戸等 ［5．2．3］［5．3．3］

種類	材質	線径	網目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18メッシュ ・
・ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具

性能値等 ［5．3．2～5］
耐風圧性の等級（ ・ ）
気密性の等級 （ ・ ）
水密性の等級 （ ・ ）
外部に面する建具の種別
・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※ 複層ガラス
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・ 標準色 ・ 特注色
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による

⊙ 鋼製建具

性能値等 ［5．4．2～6］
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
点検口
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5．4．2による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※ 建具表による
・

⊙ 鋼製軽量建具

性能値等 ［5．5．2～6］
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
鋼板
・ 亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
⊙ 化粧鋼板 t=0.6
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※ 鋼板
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
防音充填剤
・ 適用する （充填材：グラスウール又はロックウール）
・ 適用しない
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5．5．1による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※ 建具表による
・

・ ステンレス製建具

性能値等 ［5．6．2～5］
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※ HL
・ 鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※ 普通曲げ
・ 角出し曲げ

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ［5．7．2～4］
※ A種
・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※ 改修標準仕様書5．7．2（2）（イ）（a）による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質（ ※ 広葉樹１等 ・ ） 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ MDF	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分 （ ） 耐水性による区分 （ ） 難燃性による区分 （ ）	

表面板の厚さ
※ 表5．7．6による
・
・ かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※ 36mm ・ 建具表による ・
・ ふすま
張りの種別（ ・ Ⅰ型 ・ Ⅱ型 ）
上張り（押入等の裏側以外）
・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※ 19.5mm ・ 建具表による ・
・ 戸ぶすま
表面板の仕上 ・ 建具表による
見込み寸法
※ 30mm ・ 建具表による ・
・ 紙張り障子
見込み寸法
※ 30mm ・ 建具表による ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
枠、くつずりの材料
・ 建具表による ・
定規縁（引戸）の召合せかまち
・ いんろう付き ・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 ［5．8．2～3］
※ 改修標準仕様書表5．8．1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．2による
・ 建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．3による
・ 建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．4による
・ 建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※ 改修標準仕様書表5．8．5による
・ 建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・ 建具表による
・

⊙ 鍵

マスターキー ［5．8．4］
・ 製作する
・ 製作しない
⊙ 既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※ 各室３本１組（室名札付き）
・
鍵箱
・ なし ⊙ あり

・ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 ［5．9．2］
・ 建具表による ・
・ 引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．1による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．2による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・ 引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．3による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
放射無線周波数電磁界耐性（ ）
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表5.9.4により、適用箇所は建具表による
タッチスイッチの種類
・ 無線式タッチスイッチ
・ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・ 大型押しボタンスイッチ
・ 非接触スイッチ
凍結防止措置
・ 行う ・ 行わない

・ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 ［5.10.3］
※ 改修標準仕様書表5.10.1による
・ 以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

⊙ 重量シャッター

シャッターの種類 ［5.11.2］
・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
⊙ 屋内用防火防煙シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 （ ）Pa
開閉方式の種類
※ 電動式（手動併用）
・ 手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（ ※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動座板式 ）
設置箇所 （ ⊙ 図示 ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量
※ Z12又はF12
・

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類 ［5.12.2～4］
※ 手動式
・ 上部電動式（手動併用）
耐風圧強度 （ ）Pa
安全装置
・ 電動シャッターの急降下停止装置
設置箇所 （ ・ 建具表による ・ ）
※ 電動シャッターの障害物感知装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
スラットの材質
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ）
・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ）
スラットの形状
・ インターロッキング形
・ オーバーラッピング形

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-４

福山市建設局建築部営繕課
設計
２０２６年 ８月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏
PHONE (084)953-3282

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-04

章	項目	特記事項

・ オーバーヘッドドア　［5.13.2、3］

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
設置箇所　（　・　図示　・　　）

⊙ ガラス

・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　［3.7］［5.14.2～4］
　・ 建具表による
　・
⊙ 型板ガラスの厚さによる種類
　⊙ 建具表による
　・
・ 網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
　・ 建具表による
・ 合わせガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類
　・ 建具表による
　・
・ 強化ガラス
　形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類
　・ 建具表による
　・
・ 熱線吸収板ガラス
　板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類
　・ 建具表による
　・
・ 複層ガラス
　材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び封入気体の種類
　・ 建具表による
　・
・ 熱線反射ガラス
　材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮蔽性による種類
　・ 建具表による
　・
・ 倍強度ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　・ 建具表による
　・
⊙ ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレイジングガスケット ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ・
ステンレス製	・ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ・
樹脂製	・ グレイジングガスケット ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ・

小口加工の仕上げの程度
（　　）

・ ガラスブロック　［5.14.5］

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地の位置	防火性能
	・ 160×160	・ 95 ・				
	・ 200×200	・ 95 ・				

壁用金属枠及び補強材・形状
　・ 図示による　・
力骨
　材質
　　※ ステンレス鋼(SUS304)
　　・
　寸法
　　※ 径5.5mm　・
　形状
　　※ はしご形状複筋及び単筋
　　・
化粧目地モルタルの色（　・ 白　・ グレー）
シーリングの種類　（　・ SR-1　・ PS-1）
金属製化粧カバー
　材質
　　・ ステンレス製
　　・ アルミニウム製
　寸法
　　・ 図示による　・
　形状
　　・ 図示による　・
目地部の横力骨の納まり
　※ ガラスブロック製造所の仕様による
　・ 図示による
　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
　　・ 図示による

章	項目	特記事項
⑥ 内装改修工事	⊙ 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲　［6.1.3］ ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ⊙ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ⊙ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ⊙ 図示による
	⊙ 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の撤去　［6.2.2］ ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（　・ 図示による　・ 撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による　・
	⊙ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　［6.3.2］ ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り （塗り厚25mmを超える場合の処置　※ 図示による） ・
	・ 表面仕上げ（木下地）	見え掛り面の表面仕上げ　［6.5.1］ ※ プレーナー加工　（施工箇所：　　） ・ 超自動機械かんな　（施工箇所：　　） ・ サンダー　（施工箇所：　　）
	・ 施工一般（木下地）	材料のホルムアルデヒド放散量　［6.5.2］ ※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2（1）（ウ）（b）による
	・ 製材（木下地）	・ JAS 1083-5に基づく下地用製材　［6.5.2］

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※ 2級 ・	※ A種 ・ B種	・

・ JAS 1083-2に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面			※ 上小節 ・	※ A種 ・ B種	
見え掛り面以外			※ 小節以上 ・	※ A種 ・ B種	

・ JAS 1083-6に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※ 1等 ・	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種	

・ JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		（　　） 造作材の場合 （※ A種　・ B種）	※ A種 ・ B種 ・	・ 行う ・ 行わない

・ 造作用集成材（木下地）

・ JAS 1152に基づく造作用集成材（品名　　）　［6.5.2］

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面(面数)	見付け材面の品質
	・ 造作用集成材 ・ 造作用集成材(塗装) 1等 ・ 造作用集成材(　) 1等				※ 1等 ・ 2等

・ JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面(面数)	見付け材面の品質
	化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・ 2等

・ JAS 1152以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※ 15%以下 ・

・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	・ 化粧薄板： ・ 芯材：				※ 15%以下 ・

章	項目	特記事項
	・ 造作用単板積層材（木下地）	・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材　［6.5.2］

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
	・ 造作用単板積層材 ・ 造作用単板積層材（未仕上げ）		・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等　・ 2等　・ 3等	・ 行う ・ 行わない

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
		・ 有り （加工　・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・ 無し （等級　・ 1等　・ 2等　・ 3等）	※ 14%以下 ・	・ 行う ・ 行わない

・ JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)
	・ 異等級構成直交集成板 ・ 同一等級構成直交集成板			・ A ・ B ・ C		

・ 合板等（木下地）

・JAS 0233に基づく普通合板（品名　　）　［6.5.2］

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理
	※ 5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※ 2等以上　・ 1等 針葉樹 ※ C-D以上　・		・ 行う ・ 行わない

・ JAS 0233に基づく構造用合板（品名　　）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理	強度等級
	※ 12 ・	（下記）	※ 2級以上 ・ 1級	※ C-D以上 ・			・ 行う ・ 行わない	・ 指定 （　） ・ 指定しない

接着の程度
　常時湿潤状態となる場所での使用　※特類　・
　その他の場合　※1類以上　・

・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板（品名　　）

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			常時湿潤状態となる場所での使用する場合、特類 その他の場合 （・ 特類　・ 1 類　・ ）	・ 行う ・ 行わない

・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・ 1類 ・ 2類	・ 行う ・ 行わない

・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板（品名　　）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・ 1類 ・ 2類			・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・	・ 行う ・ 行わない

・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
			※ 13タイプ ・	・ Mタイプ ・ Pタイプ ・	※ 15 ・

・ JAS 0360に基づく構造用パネル（品名　　）

施工箇所	厚さ(mm)

・ JIS A 5905に基づくMDF

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

章	項目	特記事項
	・ 接合具等（木下地）	造作材の化粧面の釘打ち　［6.5.3］ ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品 ・ 座金 ※ 改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品 ・
	・ 接着剤（木下地）	接着剤のホルムアルデヒド放散量　［6.5.3、4］ ※ F☆☆☆ ・
	・ 防腐・防蟻処理（木下地）	・ 工場における薬剤の加圧注入等 ・ 改修標準仕様書6.5.5（1）（a）①による加圧注入　［6.5.5］

適用部材	保存処理性能区分
	・ K2　・ K3　・ K4
	・ K2　・ K3　・ K4
	・ K2　・ K3　・ K4

・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	
	・	

・ 薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　　）
・ 合板等の加圧注入処理等の適用
　適用部位（　　）
・ 防虫処理の適用
　適用部位（　　）

・ 不燃処理木材等（木下地）

・ 不燃材料処理木材等の適用　［6.5.5］
　不燃材料　適用部位（　　）
　準不燃材料　適用部位（　　）
　難燃材料　適用部位（　　）

・ 内部間仕切軸組及び床組み（木下地）

・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　［6.5.6］
　※ 杉又は松　・
・ 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
　※ 杉又は松　・

・ 窓、出入口その他（木下地）

・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　［6.5.7］
　※ 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
　・

・ 床板張り（木下地）

・ 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　［6.5.8］
　※ ひのき　・

・ 壁及び天井下地（木下地）

・ 壁及び天井下地に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　［6.5.9］
　※ 杉または松　・

⊙ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　［6.6.2～4］
　屋外　※ 25形　・ 19形
　屋内　※ 19形　・ 25形
屋外の形式及び寸法
　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
　　・ 図示による　・
　周辺部の端からの間隔
　　・ 図示による　・
　野縁の間隔
　　・ 図示による　・
既存の埋込みインサート
　⊙ 使用する　・ 使用しない
あと施工アンカーの確認試験
　・ 行う　（試験箇所数　※ 屋内の場合、当該階において3箇所　・　か所）
　　（確認強度　※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
　　・　N）
　・ 行わない
・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　（補強方法　※ 図示による　・　　）
・ 天井のふところが3.0mを超える場合
　（補強方法　※ 図示による　・　　）
・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強
　（補強箇所　※ 図示による　・　　）
　（補強方法　※ 図示による　・　　）
・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
　（補強箇所　※ 図示による　・　　）
　（補強方法　※ 図示による　・　　）

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書　No-5

福山市建設局建築部営繕課
設計
2026年　8月

株式会社　佐藤設計
〒720-0823
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所　広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士　第248907号　酒井　宏
PHONE (084)953-3282

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-05

章	項目	特記事項

⊙ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 ［6．7．3～4］
※ 改修標準仕様書表6．7．1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・ 図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※ 図示による ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※ 改修標準仕様書6．7．4（5）による
・

⊙ ビニル床シート

材料 ［6．8．2～3］

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※ FS ・	・ 無地 ⊙ マーブル柄 ・ 柄物	※ 2.0 ⊙ 2.5	耐汚染仕様

接合部の処理
※ 熱溶接工法 ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ ビニル床タイル ［6．8．2］

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※ KT(ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝ床ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ) ・ TT(単層ビニル床タイル) ・ FT(複層ビニル床タイル) ・ FOA(置敷きビニル床タイル) ・ FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・	※ 2.0 ・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ 特殊機能床材 ［6．8．2］

シート・タイルの種別	種類	性能	厚さ、寸法、形状(mm)
・ 帯電防止床シート			厚さ：
・ 帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：
・ 視覚障害者用の床タイル		—	形状：
・ 耐動荷重性床シート			厚さ：
・ 防滑性床シート			厚さ：
・ 防滑性床タイル			寸法： 厚さ：

⊙ ビニル幅木

材質の種類 ［6．8．2］
⊙ 軟質 ・ 硬質
高さ(mm)
※ 60 ・ 75 ・ 100
厚さ(mm)
※ 1.5以上 ・

・ ゴム床タイル

種類 ［6．8．2］
・ 単層品 ・ 積層品
色柄 （ ）
厚さ （ mm）
寸法(mm)（ ）
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

⊙ 接着剤

接着剤の主成分による区分と施工箇所 ［6．8．2］
ビニル床シート及びビニル床タイル
※ 改修標準仕様書表6．8．1による ・
施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合
施工箇所（ ）
主成分による区分（ ）
ゴム床タイル
※ 改修標準仕様書表6．8．2による ・
施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合
施工箇所（ ）
主成分による区分（ ）

・ カーペット敷き

・ 織じゅうたん ［6．9．2～3］

織り方	パイル形状	帯電性
・ ウィルトンカーペット ・ フェイストゥフェイスカーペット ・ アキスミンスターカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット/ループパイル	・ 適用する ・ 適用しない

色柄
※ 模様のない無地
無地の織りじゅうたんの種別（パイル糸の種類等）
・ A種 ・ B種 ・ C種
織じゅうたんの接合方法
※ ヒートボンド工法
・ つづり縫い

・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 5～7 ・ ・ 4～6 ・ ・	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ 適用する ・ 適用しない	

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※ 市松敷き
・ 模様流し
・
階段部分
※ 模様流し
・ 市松敷き
・
下敷き材
※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※ 図示による ・

・ 合成樹脂塗床

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ［6．10．2～3］
※ F☆☆☆☆ ・

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・ 厚膜型薄塗材 弾性ウレタン樹脂系塗床材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型薄塗材 エポキシ樹脂系塗床材		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ

・ フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ［6．11．2～6］
※改修標準仕様書6．11．2（2）による
・

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・ フローリング ボード１等	・ 釘留め工法（根太張り）	・	※ 改修標準仕様書表6．11．1による ・
	・ 釘留め工法（直張り）	・	※ 改修標準仕様書表6．11．3による ・
	・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表6．11．5による ・
・ フローリング ブロック１等	・ 接着工法	・	厚さ（ ）、幅（ ） 長さ（ ）

複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・ 複合フローリング （天然木化粧）	・釘留め工法（根太張り）	・	※ 改修標準仕様書表6．11．2による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	・釘留め工法（直張り）	・	※ 改修標準仕様書表6．11．4による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	・接着工法	・	※ 改修標準仕様書表6．11．6による ・ A種 ・ B種 ・ C種

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
接着工法の場合の不陸緩和材
※ 合成樹脂発泡シート ・
現場塗装仕上げ
※ 改修標準仕様書表6．11．6による
・

・ 畳敷き

種別 ［6．12．2］
・ A種（畳表： ・ JS（特等麻糸） ・ J1（１等麻糸） ）
・ B種
・ C種（畳床： ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 ）
・ D種（畳床： ・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N ）
・ 衝撃緩和型畳（畳表： ・ C1 ・ C2）

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード ［6．13．2～3］

規格名称	種類	厚さ(mm)等
木質系 セメント板	・ 木毛セメント板 ・ 硬質（HW）・ 中質（MW）・ 普通（NW）	※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25
	・ 木片セメント板 ・ 硬質（HF）・ 普通（NF）	※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 ・
繊維強化 セメント板	・ けい酸カルシウム板 （タイプ２）普通ボード 0.8FK	※ 図示による ・ 6 ・ 8
火山性ガラス 質複層板 (VSボード)	・ 火山性ガラス質複層板	※ 図示による ・
繊維板	・ ミディアムデンシティ ファイバーボード(MDF)	※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
	・ ハードボード ・ スタンダードボード（無処理） ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板（RN） ・ 研磨板（RS） ・ 内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ テンパーボード（処理） ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板（RN） ・ 研磨板（RS） ・ 外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
	・ インシュレーションボード ・ A級インシュレーションボード（A-IB） ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材	※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
パーティクル ボード	・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）	※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
	・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ（DV） ・ プラスティックオーバーレイ（DO） ・ 塗装（DC）	※ 図示による ・ 10（難燃） ・ 12（難燃）
吸音材料	⊙ ロックウール化粧吸音板(DR) ⊙ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ	⊙ 9（不燃） ・ 12(不燃) ・ 12（不燃） ・ 15（不燃）
	・ ロックウール吸音ボード（1号）	※ 図示による ・ 25
	⊙ グラスウール吸音ボード(32K)	⊙ 50(ガラスクロス包)
せっこう ボード製品	⊙ せっこうボード（GB-R）	⊙ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
	⊙ ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうボード（GB-S）	⊙ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃）
	⊙ 強化せっこうボード（GB-F）	⊙ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
	⊙ 化粧せっこうボード（GB-D）	⊙ トラバーチン模様 9.5（不燃）
	・ せっこうラスボード（GB-L）	・ 9.5
	・ 不燃積層せっこうボード（GB-NC） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（トラバーチン模様）	・ 9.5（不燃）

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
表面への化粧張り等の加工
※ 図示による ・

合板

種類	厚さ(mm)等	防虫処理
・ 普通合板 品名: 単板の樹種名： 板面の品質：	※ 5.5 ・ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない
・ 天然木化粧合板 化粧板の単板の樹種名：	※ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない
・ 特殊加工化粧合板 品名: 接着の程度: 単板の樹種名: 化粧加工の方法 ・ ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ ﾌﾟﾘﾝﾄ ・ 塗装	※ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※ 改修標準仕様書6.13.2（3）（イ）の（a）～（d）のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※ 図示による ・
合板類の張付け
・ A種 ・ B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※ 仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ ベベルエッジ ・ スクェアエッジ

⊙ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ［6.14.2～3］
※ F☆☆☆☆ ・
壁紙の種類

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
掃除具入	・	・	・	・	⊙	・	⊙ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種

⊙ モルタル塗り

モルタル ［6.15.3～6］
⊙ 現場調合材料
・ 既調合材料
既製目地材
・ 設ける
施工箇所（ ） 形状（ ※ 図示による ・ ）
・ 設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・
床の目地
・ 設ける
目地割り
※ 2㎡程度（最大目地間隔 ※ 3m程度）
・
目地の種類
※ 押し目地
・
⊙ 設けない

・ タイル張り

伸縮目地の位置 ［6.16.2～4］
床タイル （ ※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示による ・ ）
床タイル以外（ ・ 図示による ・ ）
見本焼き
・ 行う（施工箇所： ） ・ 行わない
試験張り
・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ・ 行わない

・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、
混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地調整の方法
・（ ）
壁タイル張りの工法
内装タイル
・ 密着張り ・ 改良圧着張
内装タイル以外のユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ セルフレベリング材塗り

塗厚（mm） ［6.17.2、3］
・

⑦ 塗装改修工事

⊙ 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ［7．1．3］
※ F☆☆☆☆ ・
防火材料
※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

⊙ 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ［7．2．1］
⊙ 図示による
・
［7．2．3～7．2．7］

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※ RB種 ・	—
鉄鋼面	※ RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面	※ RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※ RB種 ・	—
モルタル、プラスター面	※ RB種 ・	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面(DP以外)、 ALCパネル面	※ RB種 ・	・ 行う ・ 行わない
押出成形セメント板面、 コンクリート面（DP）	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※ RB種 ・	—

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-6

福山市建設局建築部営繕課
設計
2026年 8月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-06

章	項目	特記事項

⊙ 素地ごしらえ ［7．3．2～7．3．7］

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ Ａ種 ・ Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	※ Ｂ種 ・ Ａ種
鉄鋼面（DP以外）		※ Ｃ種 ・ Ａ種 ・ Ｂ種
鉄鋼面（DP）		※ Ｂ種 ・ Ａ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・ Ａ種 ・ Ｂ種
モルタル面及びプラスター面		※ Ｂ種 ・ Ａ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※ Ｂ種 ・ Ａ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		※ Ｂ種 ・ Ａ種
せっこうボード面及びその他ボード面		※ Ｂ種 ・ Ａ種

⊙ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別 ［7．4．2～7．4．3］

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP 錆止め塗装のまま（工程の種別は表7．4．3）	塗替え	As種	※ Ｃ種 ・
		新規見え掛り	As種	※ Ａ種 ・
		新規見え隠れ	As種	※ Ｂ種 ・
	EP-G（工程の種別は表7．4．3）	塗替え	※ Bs種 ・ As種	※ Ｃ種 ・
		新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種	※ Ａ種 ・
		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種	※ Ｂ種 ・
	DP（工程の種別は表7．4．4）	塗替え	7．4．2（1）(イ)(b) による。	・ Ｂ種（下地調整RB種） ・ Ｃ種（下地調整RC種）
		新規	7．4．2（1）(イ)(a) による。	・ Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7．4．5）	塗替え 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ Ｃ種 ・
		塗替え その他	※ Bz種 ・	※ Ｂ種 ・
		新規 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ Ａ種 ・
		新規 その他	※ Bz種 ・	※ Ｂ種 ・
	EP-G（工程の種別は表7．4．5）	塗替え	Cz種 ・	※ Ｃ種 ・
		新規 鋼製建具等	Cz種 ・	※ Ａ種 ・
		新規 その他	Cz種 ・	※ Ｂ種 ・
	DP（工程の種別は表7．4．6）	塗替え	Bz種 ・	―
		新規	Bz種 ・	―

⊙ 塗装 ［7．5．2～7．13．2］

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※ １種 ・ ２種	木部屋外	※ Ｂ種 ・	※ Ａ種 ・
	木部屋内	※ Ｂ種 ・	※ Ｂ種 ・
	鉄鋼面	※ Ｂ種 ・	※ Ｂ種 ・ Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※ Ａ種 ・	※ Ｂ種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※ Ｂ種 ・	※ Ｂ種 ・
・ クリヤラッカー塗り(CL)		※ Ｂ種 ・ Ａ種（着色塗料の種類： ）	※ Ｂ種 ・ Ａ種（着色塗料の種類： ）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※ Ｂ種 ・ Ａ種	※ Ｂ種 ・ Ａ種
⊙ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ 3 ）級	・	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	―
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ ・ B-1種 ・ ・ C-1種 ・
・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	・ Ｂ種 ・ Ｃ種	・ Ａ種 ・ Ｂ種
	屋内の木部	※ Ｂ種 ・	※ Ａ種 ・
	屋内の鉄鋼面	※ Ｂ種 ・	・ Ａ種 ・ Ｂ種
	屋内の亜鉛めっき面	※ Ｂ種 ・	※ Ａ種 ・ Ｂ種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※ Ｂ種 ・	・ Ａ種 ・ Ｂ種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※ Ｂ種 ・	※ Ｂ種 ・ Ａ種
・ ピグメントステイン塗り			
・ 木材保護塗料塗り(WP)		※ Ｂ種 ・ Ａ種	※ Ｂ種 ・ Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表７．９．１の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表７．10．１の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
クリヤラッカー塗りＡ種の工程２の適用
・ 適用しない
・ 適用する（着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用
・ 適用する
・ 適用しない

8-1 耐震改修工事（鉄筋工事）

・ 鉄筋 ［8．2．1］

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・ SD295		
・ SD345		
・		
・		

・ 溶接金網 ［8．2．2］

鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・ 溶接金網			
・			

・ 加工

・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径(D)（ ）以上 ［8．3．2］

・ 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 ［8．3．4］

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋（ ）	・ 重ね継手 ・	

継手位置
・ 図示による（ ）
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
※ 改修標準仕様書 表８．３．２による
・ 図示による（ ） ・
耐力壁の重ね継手の長さ
※ 改修標準仕様書８．３．４(3)(ア)による
・ 図示による（ ） ・
・ 先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち隣り合う継手を同一箇所に設ける場合
・ 図示による
鉄筋の定着の長さ
※ 改修標準仕様書 表８．３．４による
・ 図示による（ ） ・
折り曲げ定着の方法
※ 改修標準仕様書８．３．４(5)(イ)の図８．３．３による
・
機械式定着工法
・ 適用する
適用箇所
・ 図示による（ ） ・
種類
・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定
・ 嵌合グラウト固定 ・
帯筋組立の形、継手及び定着
・ 図示による ・

・ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む） ［8．3．5］

最小かぶり厚さ
※ 改修標準仕様書８．３．５(1)による
・ 図示による（ ） ・
軽量コンクリートを適用する場合
・ あり 適用箇所（ ）
・ 改修標準仕様書 表８．３．６の最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・
耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・ あり 適用箇所（ ）
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・

・ 壁の配筋及び補強 ［8．3．6］

壁の配筋及び壁開口部の補強
・ 図示による ・

・ 圧接完了後の圧接部の試験 ［8．3．8］

超音波探傷試験
※ 行う（全圧接部） ・

・ 機械式継手 ［8．4．2］

適用箇所
・ 図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能
・ Ａ級 ・
種類
・
鉄筋相互のあき
・ 図示による ・
施工完了後の継手部の試験
・ 外観試験
試験対象
※ 全数 ・
試験項目及び合否判定
※ 改修標準仕様書 表８．４．１～表８．４．３による
・ 評定等の評価内容による ・
不合格となった場合の措置
※ 改修標準仕様書８．４．２(5)(ア)(a)～(c)による
・ 図示による（ ） ・
・ 超音波測定試験
試験対象
・ 抜取り
ロットの大きさ（ ）
試験箇所数：（ ）箇所/ロット
・ 全数
不合格となった場合の措置
・ 図示による（ ） ・

・ 溶接継手 ［8．4．3］

適用箇所
・ 図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能
・ Ａ級 ・
溶接継手の性能、工法
・ 図示による（ ） ・
鉄筋相互のあき
・ 図示による（ ） ・
施工完了後の継手部の試験
・ 外観試験
試験対象
※ 全数 ・
試験項目
・ ・
試験方法
・ ・
不合格となった場合の措置
・
・ 超音波探傷試験
試験対象
・
不合格となった場合の措置
・ 図示による（ ） ・

8-2 耐震改修工事（コンクリート工事）

・ コンクリートの種類 ［8．1．3］

コンクリートの類別
※ Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・ Ⅱ類（Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート）
建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート
適用箇所（ ）

・ コンクリートの品質、調合

・ 普通コンクリート ［8．1．4］［8．2．5］［8．9．2］

設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/m³）	適用箇所
・ 24	・	・	
・	・	・	
・	・	・	

構造体強度補正値 ※ 改修標準仕様書表８．２．４による ・

・ 軽量コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/m³）	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・ １種 ・ ２種	
・				

・ セメント ［8．2．5］

種 類
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（ ）
・ 高炉セメントＢ種
適用箇所（ ）
・ フライアッシュセメントＢ種
適用箇所（ ）

・ 骨材 ［8．2．5］

フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉酸化骨材
・ 使用する
普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材
・ 再生骨材Hを使用する
アルカリシリカ反応性による区分
※ Ａ ・ Ｂ

・ 混和材料 ［8．2．5］

・ 混和剤
混和剤の種類
※ 改修標準仕様書８．２．５(4)(ア)による ・
・ 混和材
混和材の種類
※ 改修標準仕様書８．２．５(4)(イ)による ・
改修標準仕様書８．２．５(5)(イ)(f)④の①～③以外の混和材料
・ 混和剤（ ） ・ 混和材（ ）
使用方法 ・
使用量 ・

・ 構造体用モルタル ［8．2．6］

構造体用モルタル
圧縮強度（ ）
フロー値（ ）

・ 暑中コンクリート ［8．10．2］

スランプ
※ 21m ・
構造体強度補正値
※ 改修標準仕様書 表8．10．1による ・

・ 無筋コンクリート ［8．11．1］

コンクリートの種類
※ 普通コンクリート ・
設計基準強度
※ 18N/mm² ・
スランプ
※ 15cm又は18cm ・
適用箇所
・ 図示による（ ） ・
改修標準仕様書 表8．1．1以外のコンクリートを用いる場合
（ ）

・ 構造体コンクリートの仕上り ［8．1．4］

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・ Ａ種	
・ Ｂ種	
・ Ｃ種	

コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
・ a種	
・ b種	
・ c種	

・ 型枠の材料 ［8．2．7］

せき板の材料及び厚さ
・ 合板（ ※ 12mm ・ ）
・
スリーブの材種・規格等
・ 図示による（ ） ・

・ 打増し厚さ（打放し仕上げ部） ［8．7．8］

打増し厚さ
・ 打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
・ 20mm ・
打増し範囲
・ 図示による ・

・ 型枠の加工及び組立 ［8．7．8］

シアコネクタをセパレーターとして使用
使用箇所
・ 図示による（ ） ・

・ 型枠の存置期間及び取外し ［8．7．8］

普通エコセメントの場合の最小存置期間
・

8-3 あと施工アンカー工事

⊙ あと施工アンカー ［8．2．4］

材料等
・ 金属系アンカー
・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・ 図示による（ ） ・
セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・
接合筋の種類、径、長さ
・ 図示による（ ） ・
・ 性能確認試験
試験方法及び試験数
・ 図示による（ ） ・
⊙ 接着系アンカー
・ 引張耐力 ・ kN ⊙ 図示による（ ）
・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式
接着剤の品質
・ 有機系 ・ 無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・ 図示による（ ） ・
アンカー筋の種類
・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・ 図示による（ ） ・
・ 性能確認試験
試験方法及び試験数
・ 図示による（ ） ・

・ 穿孔

埋込み配管等の探査方法 ［8.12.4］
・ 鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・ はつり出しによる
・

・ 施工確認試験

試験方法 ［8.12.7］
※ 引張試験機による引張試験
確認強度
・ 図示による（ ） ・
試験箇所数（ ）

8-4 耐震改修工事（鉄骨工事）

・ 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 ［8．1．5］
※ 建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（ ）グレード以上
・ 監督職員の承諾する工場

・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者

※ 配置する ［8．1．6］

・ 鋼材

種類等 ［8．2．8］

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる

形状及び寸法
・ 図示による ・

・ 材料試験等

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ［8．2．14］
・ 行う（適用箇所 ） ・ 行わない

・ 高力ボルト

高力ボルトの種類 ［8．2．9］［8.13.2］［8.14.7］
・ トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・
ボルトの寸法
ねじの呼び ・ 図示による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による（ ） ・
摩擦面の性能及び処理
・ すべり試験の実施（試験方法 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験）
JIS形高力ボルトの締付け（本締め）
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・ 図示による ・

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ［8.13.2］［8.20.5］
・ 図示による（ ） ・
摩擦面の処理方法
・ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・ りん酸塩処理
・

・ 溶接材料

溶接材料 ［8．2．10］
・ 改修標準仕様書 8．2．10(1)(2)による
・

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-7

福山市建設局建築部営繕課
設計
２０２６年 ８月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-07

章	項目	特記事項
	・ スタッド	種類等 [8.2.11] 呼び名 / 呼び長さ（mm） / 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22
	・ 柱底均しモルタル	※ 無収縮モルタル ・ [8.2.12]
	・ 仮組	仮組を行う範囲 [8.13.10] ・ 図示による（ ） ・
	・ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験	試験の要領 [8.15.3] ・ 図示による（ ） ・
	・ 溶接接合	開先の形状 [8.15.4] ・ 図示による（ ） ・ ・ 鋼製エンドタブ の切断する部分 [8.15.7] 切断する箇所 ・ 図示による（ ） ・ 切断範囲 ・ ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ※ 改修標準仕様書 8.15.7(1)(カ)(b)②による ・ スカラップの形状 ・ 図示による（ ） ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ・ 図示による ・
	・ 溶接部の試験	溶接部の外観試験 [8.15.12] ・ 平12建告第1464号第二号に関する外観試験 試験の方法 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(鉄骨製作管理技術者登録機構)」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査② ・ JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験 試験の方法 ・ JASS6 10.4［受入検査］§.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※ 全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※ 全数
	・ 錆止め塗装	塗料の範囲 [8.17.2] 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による（ ） ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 改修標準仕様書8.17.2(1)による ・ 図示による（ ） 塗料の種別 [8.17.4] 下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※ A5種 ・ ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 ・
	・ 耐火被覆	種類、材料、工法等 [8.18.2][8.18.3] 種 類 / 材料・工法 / 性能（耐火時間） / 適用箇所（部位・部分） ・ 耐火材吹付け：・ 乾式吹付けロックウール / / / ・ 耐火材吹付け：・ 半乾式吹付けロックウール / / / ・ 耐火材吹付け：・ 湿式ロックウール / / / ・ 耐火材吹付け：・ / / / ・ 耐火材吹付け：・ / / / ・ 耐火板張り：・ 繊維混入けい酸カルシウム板 / / / ・ 耐火板張り：・ / / / ・ 耐火材巻付け：・ 高断熱ロックウール / / / ・ 耐火材巻付け：・ / / / ・ ラス張りモルタル塗り：— / / / ・ 耐火塗料：・ / / /
8-5 現場打鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.21.2] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8.21.3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・
	・ 鉄筋の加工及び組立	割裂補強筋 [8.21.6] 形状 ・ ・ 種類の記号 ・ ・ 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による（ ） ・
	・ コンクリートの打込み工法等	[8.21.8] 工法の種類 / 適用箇所 ・ 工法指定なし / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ 流込み工法 / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ 圧入工法 / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ / ・ 図示による（ ） ・
	・ 仕上げ	増設壁設置後の仕上げ [8.21.10] ・ 図示による（ ） ・
8-6 耐震改修工事（鉄骨ブレースの設置工事）	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.22.2] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8.22.3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・
	・ 既存構造躯体との取合い	割裂補強筋 [8.22.7] 形状 ・ ・ 種類の記号 ・ ・ 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による ・
	・ 仕上げ	ブレース設置後の仕上げ [8.22.9] ・ 図示による（ ） ・
8-7 耐震改修工事（柱補強工事）	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.23.2] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8.23.3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・
	・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	コンクリート及び構造体モルタルの打込み工法 [8.23.5] 工法の種類 / 適用箇所 ・ 工法指定なし / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ 流込み工法 / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ 圧入工法 / ・ 全ての増設壁 ・ 図示による（ ） ・ / ・ 図示による（ ）
	・ 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	鋼板等の加工での柱頭及び柱脚の隙間の寸法 [8.23.6] ・ 図示による（ ） ・
	・ 仕上げ	補強後の仕上げ [8.23.7] ・ 図示による（ ） ・
8-8 耐震改修工事（連続繊維補強工事）	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.24.4] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・
	・ 材料	連続繊維の材料 [8.2.13] ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ 工法 ・ 引張強度（含浸硬化後） ・（ ）N/mm^2 ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ）N/mm^2
	・ 下地処理	・ ひび割れ部改修 [8.24.6] 範囲 ・ 図示による（ ） ・ 工法の種類 ・ ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による（ ） ・
	・ 連続繊維補強材の強度試験	・ 引張強度試験 [8.24.6] ※ JIS A 1191（コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法）による ・ 試験数量 ・ 図示による（ ） ・ ・ 付着強度試験 ※ JIS A 6909（建築用仕上塗材）による ・ 試験数量 ・ 図示による（ ） ・
	・ 仕上げ	補強後の仕上げ [8.24.7] ・ 図示による（ ） ・
8-9 耐震改修工事（耐震スリット新設工事）	・ 耐震スリットの方式、幅及び深さ	方式 [8.25.2] ・ 完全スリット ・ 部分スリット 幅及び深さ ・ 図示による（ ） ・ 設置箇所 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.25.2] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・
	・ 耐震スリットの充填材の挿入及び周囲補修等	・ 耐火材 [8.25.2] 使用箇所及び仕様 ・ 図示による（ ） ・ ・ 造作材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による（ ） ・ 撤去部の補修 ※ 撤去材と同一材で補修 ・
8-10 耐震改修工事（免震改修工事）	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.26.5] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・ 既存杭の撤去等 ・ 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8.26.6] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・
	・ 支承材及び減衰材（材料等）	支承材、減衰材の材質及び諸元 [8.26.7] ・ 図示による ・ 性能確認試験の項目及び数量 ・ 図示による ・ 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・
	・ 支承材及び減衰材の設置	防錆処置 [8.26.10] ・ 図示による ・ 支承材及び減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ 図示による ・ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の既存部分との取り合い部の割裂補強筋 ・ 図示による ・
	・ 仕上げ	支承材又は減衰材の設置後の仕上 [8.26.13] ・ 図示による（ ） ・
	・ 耐火被覆	支承材への耐火被覆の仕様 [8.26.14] ・ 図示による（ ） ・
	・ 免震エキスパンションジョイント	免震エキスパンションジョイントの仕様、工法 [8.26.15] ・ 図示による（ ） ・
	・ 検査	検査項目及び数量 [8.26.16] ・ 図示による ・
	・ 維持管理要領	維持管理要領に記載する項目 [8.26.17] ※ 改修標準仕様書 8.26.17(2)の(ア)～(カ)による。 ・ 維持管理に必要な計測機器等の種類、仕様 ・ 図示による ・
8-11 耐震改修工事（減衰材設置工事）	・ 既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8.27.2] 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による（ ） ・ 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・ 既存鉄骨の撤去 撤去範囲 ・ 図示による（ ） ・ 既存鉄骨の処置 ・ 図示による（ ） ・
	・ 既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8.27.3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・
	・ 減衰材（材料）	減衰材の材質及び諸元 [8.27.4] ・ 図示による ・ 性能確認試験の項目及び数量 ・ 図示による ・ 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・
	・ 減衰材の設置	防錆処置 [8.27.6] ・ 図示による ・ 減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ 図示による ・ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造又は鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の既存部分との取り合い部の割裂補強筋 ・ 図示による ・ 鉄骨造の既存部分との取り合い部の割裂補強筋 ・ 図示による ・
	・ 仕上げ	支承材又は減衰材の設置後の仕上 [8.27.8] ・ 図示による（ ） ・
	・ 検査	検査項目及び数量 [8.27.9] ・ 図示による ・

工事名称
リムふくやま本館改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-8

福山市建設局建築部営繕課
設計
2026年 8月

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

縮尺率	図面No
A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-08

章	項目	特記事項
8-12 耐震改修工事（土工事及び地業）	・ 既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 ［8.28.2］ ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の補強 ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による（　　）　・
	・ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ［8.28.3］ ・ 材料（　　） ・ 工法（　　） ※ 改修標準仕様書表8.28.1による ・ A種　適用場所（　　） ・ B種　適用場所（　　） ・ C種　適用場所（　　）　土質（　　）　受渡場所（　　） ・ D種　適用場所（　　） 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷き均し
	・ 試験及び報告書	試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ［8.28.4］ ・ 図示による（　　）　・ ・ 杭の載荷試験 方法 ・ 図示による　・ 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による　・ 報告書の記載事項 ・（　　） ・ 地盤の載荷試験 方法 ・ 図示による　・ 試験及び載荷荷重 ・ 図示による　・ 報告書の記載事項 ・（　　）
	・ 杭地業	杭の材料 ［8.2.15］ ・ 図示による　・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による　・ 杭の工法、種類、寸法、施工方法等 ・ 図示による（　　）　・ 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ［8.28.4］ ・ 図示による（　　）　・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による（　　）　・ 溶接部の確認 ・ 図示による（　　）　・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・ 図示による（　　） 支持層への根入れ長さ ・（　　） 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による ・ 記録する施工状況等 ・ 図示による（　　）　・
・ 砂利地業		材料 ［8.2.15］［8.28.4］ ・ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利　・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm　・ 範囲 ・ 図示による（　　）　・
・ 砂地業		材料（シルト、有機物等の混入しない締固めに適した砂） ・ 山砂　・ 川砂　・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm　・ 範囲 ・ 図示による（　　）　・
・ 捨コンクリート地業		捨コンクリートの厚さ ［8.2.15］［8.11.1］［8.28.4］ ※ 50mm　・ コンクリートの類別 ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・（　　） コンクリートの種類 ・ ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2　・ スランプ ※ 15cm又は18cm　・

章	項目	特記事項
9 環境配慮改修工事	・ 石綿含有建材の除去工事	・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ［9.1.1］ ・ 図示による　・ ・ 石綿粉じん濃度測定 ［9.1.1］ 測定時期、場所及び測定点 測定名称 ／ 測定時期 ／ 測定場所 ／ 測定箇所数 石綿含有建材の処理 ［9.1.3］ ・ 石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3（2）(ア)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設　）
		・ 石綿含有保温材等の除去 ［9.1.4］ 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし　・ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		・石綿含有成形板等の除去 ［9.1.5］ 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 隔離養生（負圧不要）方法 ・ 図示による ・ 足場 ・ 図示による ・ 除去した石綿含有成形板等の処分 ［9.1.5］ ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		・ 石綿含有仕上塗材の除去 ［9.1.6］ 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 除去工法 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 汚泥としての処理
	・ 外断熱改修工事	断熱材 ［9.2.2］ 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 外装材 種類 ／ 防火性能 ／ 備考 ・ 既存外壁の処置 ［9.2.3］ 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり　・ なし 下地面の清掃 ・ 行う　・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 工法 ［9.2.4］ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ・ あり（　　mm）　・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による　・

章	項目	特記事項
	・ 断熱・防露改修工事	・ 断熱材打込み工法 ［9.3.2］ 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　・ 厚さ(mm)　・ フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ ・ 断熱材現場発泡工法 ［9.3.3］ 断熱材の種類 ・ A種１　・ A種１H　・ 吹付け厚さ(mm) ・ 25　・ 30　・ ・ 断熱材後張り工法 ［9.3.4］ 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　・ 厚さ(mm)　・ ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質　・ 厚さ　・　(mm) ・ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ ・ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法（　　） ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法（　　）
	・ 屋上緑化改修工事	材料 芝及び地被類の種類等 ［9.4.2］ ※ 図示による　・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による　・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ［9.4.3］ ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する（種類　・　　） 既存保護層の撤去 ・ 行う　・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ［9.4.4］ ※ 引渡しの日から１年 ・
	・ 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 ［9.5.2］ ※ 図示による　・ 路床 ［9.5.3］ 路床の材料 種別 ／ 材料 ／ 厚さ(mm) ・ 盛土 ／ ・ A種　・ B種　・ C種　・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ／ ・ 図示による ・ ・ 凍上抑制層 ／ ・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ／ ・ 図示による ・ ・ フィルター層 ／ ・ 砂 ・ ／ ・ 図示による ・ 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う　・ 行わない ・ 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰（　・ 特号　・ １号） ・ 消石灰（　・ 特号　・ １号） 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う　・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う　・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う　・ 行わない 路盤 ［9.5.4］ 路盤の厚さ ・ 図示による　・ 路盤材料 ・ クラッシャラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシャラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ［9.5.5］ ・ 図示による　・ 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ［9.5.9］ ・ 行う　・ 行わない

工事名称	リムふくやま本館改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書　No-9
福山市建設局建築部営繕課	設計　２０２６年　８月
株式会社　佐藤設計	〒720-0823 PHONE (084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所　広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士　第249907号　酒井　宏
縮尺率	A1=100%　A2= 71%　A3= 50%
図面No	A-09

Ver.2404

福　山　市　工　事　区　分　表

1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。
2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。

分類	項目	建築	電気	給排水	空調	ガス	昇降機
1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎	※					
	2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置		※	※	※	※	※
	3. 建物外部の機器類の基礎	※	※	※	※	※	※
	4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置		※	※	※	※	※
	5. 外灯基礎の製作及び設置		※				
2 設備機器類取付下地	1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置		※	※	※	※	※
	2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置	※	※	※	※	※	※
	3. 設備機器類の取付け用下地補強	※	※	※	※	※	※
3 躯体貫通	1. 地中梁の連通管、通気管及び人通孔の製作、設置及び開口補強	※					
	2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	※					
	3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強	※					
	4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置	※	※	※	※	※	※
	5. 同上開口補強	※					
	6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置	※	※	※	※	※	※
	7. 同上開口補強	※					
	8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※
	9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※
4 躯体以外の貫通・開口	1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む）	※					
	2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む）	※					
	3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口	※	※	※	※	※	※
	4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※
	5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※					
	6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※					
	7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口	※					
	8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※
	9. ユニットバスの換気扇の開口（メーカー規格外の場合）	※					
5 点検口・ガラリ	1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	※					
	2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置	※接続受			※		
	3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置				※		
	4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置	※			※		
	5. 各室建具ガラリの製作及び設置	※					

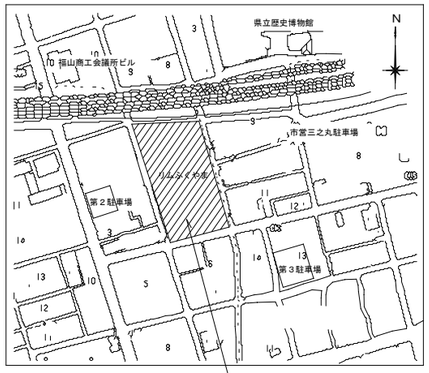
分類	項目	建築	電気	給排水	空調	ガス	昇降機
6 建具等	1. 防火（煙）シャッター及び自動閉鎖装置の製作及び設置	※					
	2. 同上用連動制御器と感知器の製作・設置及び電気配管配線工事		※				
	3. 防火戸の扉、枠の製作・設置（自動閉鎖装置用切り込み補強共）	※					
	4. 同上用自動閉鎖装置の製作・設置	※					
	5. 同上用連動制御器及び感知器の製作・設置		※				
	6. 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の電気配管配線工事		※				
	7. 可動式防煙壁及び自動降下装置緩衝装置の製作・設置	※					
	8. 同上用連動制御器、感知器の製作・設置及び電気配管配線工事		※				
	9. 電動式排煙窓の開放装置の製作・設置及び二次側電気配管配線工事	※					
	10. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	11. 電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側電気配管配線工事	※					
	12. 同上一次側電気配管配線工事		※				
7 排水工事	1. 屋内、敷地内雨水排水工事（側溝等への放流を含む）	※					
	2. 敷地内汚水、雑排水工事			※			
	3. 屋内汚水、雑排水工事			※	※		
	4. 下水道本管への接続（汚水・雑排水（雨水を除く））			※			
	5. 玄関マット等の排水管	※					
8 便所・浴室・湯沸室・調理室等	1. 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置	※		※			
	2. 同上給排水管及び排水金物の接続			※			
	3. 同上フードへのダクト接続				※		
	4. 洗面化粧台の製作及び設置			※			
	5. 同上給排水管接続			※			
	6. 同上陶製洗面器の設置（一体型を除く）			※			
	7. ユニットバス・ユニットシャワー類の設置	※					
	8. 同上給排水管接続			※			
	9. 同上ダクト接続				※		
	10. 同上一次側電気配管配線		※				
	11. オストメイト対応トイレパック（既製品）（汚物流し・シャワー・電気温水器・ライニング含む）			※			
	12. 同上給排水管接続			※			
	13. 同上一次側電気配管配線		※				
	14. 電気湯沸器、電気温水器、電磁ヒーターの設置			※			
	15. 同上一次側電気配管配線		※				
	16. 既製化粧鏡の設置	※					
	17. 特注化粧鏡の設置	※					
	18. 大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置			※			
	19. 手すり	※					
	20. ベビーシート、ベビーチェアー、介助用ベッド	※					
	21. ペーパーホルダー			※			
	22. 洗濯機パン			※			
	23. 同上給排水管接続			※			
	24. 洗面器・衛生陶器の設置及び給排水管接続			※			

分類	項目	建築	電気	給排水	空調	ガス	昇降機
9 ピット・マンホール・水槽等	1. 湯水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ	※					
	2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置	※					
	3. 屋内の排水溝、配管ピット、配線ピットの内外の防水及び仕上げ	※					
	4. 同上付属蓋類及びタラップの設置	※					
	5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置		※	※	※	※	
	6. 屋内マンホールのRC造躯体、鋳鉄蓋及び化粧蓋の設置	※					
	7. 屋外マンホールのRC造躯体、鋳鉄蓋の設置	※	※	※	※	※	
	8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置	※					
	9. 同上化粧蓋の仕上	※					
	10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ	※		※			
	11. 同上用マンホール蓋及びタラップの設置			※			
	12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く）			※			
	13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置			※			
	14. 湯水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置		※		※自動制御設備のみ		
	15. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け		※				
	16. 同上電気配管配線工事		※				
10 電気設備等	1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事		※				
	2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ	※					
	3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事			※			
	4. 自家発電運転用給排気設備工事		※				
	5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事			※	※	※	※
	6. 自動制御などの現場盤への電源接続		※				
	7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事		※				
11 空調・換気設備等	1. 一般換気扇（壁付型を含む）、全熱交換器の設置				※		
	2. 同上用の取付枠の製作及び設置	※既表付属の場合			※		
	3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む）		※				
	4. ユニットバスの換気扇の設置				※		
	5. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	6. 空調機器のスイッチの設置				※		
	7. 同上二次側電気配管工事		※				
	8. 同上二次側電気配線工事				※		
	9. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置				※		
	11. 同上一次側電気配管配線工事		※				
12 消火設備等	1. 消火栓ボックスの設置			※			
	2. 同上起動押釦、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事		※				
	3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事			※			
	4. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置	※					
	6. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	7. ガス漏れ警報設備		※			※警報器のみの場合	

分類	項目	建築	電気	給排水	空調	ガス	昇降機
13 昇降機	1. 昇降路内ピットの防水、集水桝の製作及び設置	※					
	2. 昇降路内点検用タラップの製作及び設置	※					
	3. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置（S造に限る）	※					
	4. 出入り口扉三方枠、沓摺の製作及び設置						※
	5. 同上枠廻り空隙の充填及び補修	※					
	6. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造に限る）	※受金物					※
	7. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造を除く）						※
	8. 機械室天井フックの製作及び設置（S造に限る）	※					
	9. 機械室天井フックの製作（S造を除く）						※
	10. 同上の設置	※					
	11. ホール押し釦、インジケーター、鋼索等の躯体開口の設置及び補強	※					
	12. 昇降路、ピット内の保守用コンセントの設置		※				
	13. 昇降機の制御盤及び二次側電気配管配線工事						※
	14. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	15. 昇降路内の換気設備の設置				※		
	16. 昇降路内の煙感知器の設置		※				
	17. 昇降路内の換気設備及び煙感知器の電気配管配線工事		※				
	18. 昇降路外の遠方操作盤及び警報監視インターホン用電気配管配線工事		※				
	19. 遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの設置及び調整						※

分類	項目	建築	電気	ブラインドカーテン・			別途工事
14 その他	1. カーテンレール、カーテンの設置			※			
	2. ブラインドボックス、カーテンボックスの設置	※					
	3. 電動ロールスクリーン、電動カーテンの設置			※			
	4. 電動ロールスクリーン、電動カーテンのスイッチの設置			※			
	5. 同上二次側電気配管配線工事（本体・スイッチとの結線を除く）		※				
	6. 同上本体・スイッチとの結線			※			
	7. 同上一次側電気配管配線工事		※				
	8. 同上取付け用の開口及び補強	※					
	9. 電動ロールスクリーン、電動カーテンの取付け用下地補強	※					
	10. ブラインドボックス等の電気配線用開口	※					
	11. 消火器（発電設備及び変電設備に必要な消火器は電気設備工事）		※				※備品
	12. 消火器ﾎﾞｯｸｽの設置　（発電設備及び変電設備分は電気設備工事）	※	※				

株式会社佐藤設計	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 リムふくやま本館改修工事	図面No
	設計 2026年　8月	図面名称 工事区分表	縮尺 A-10



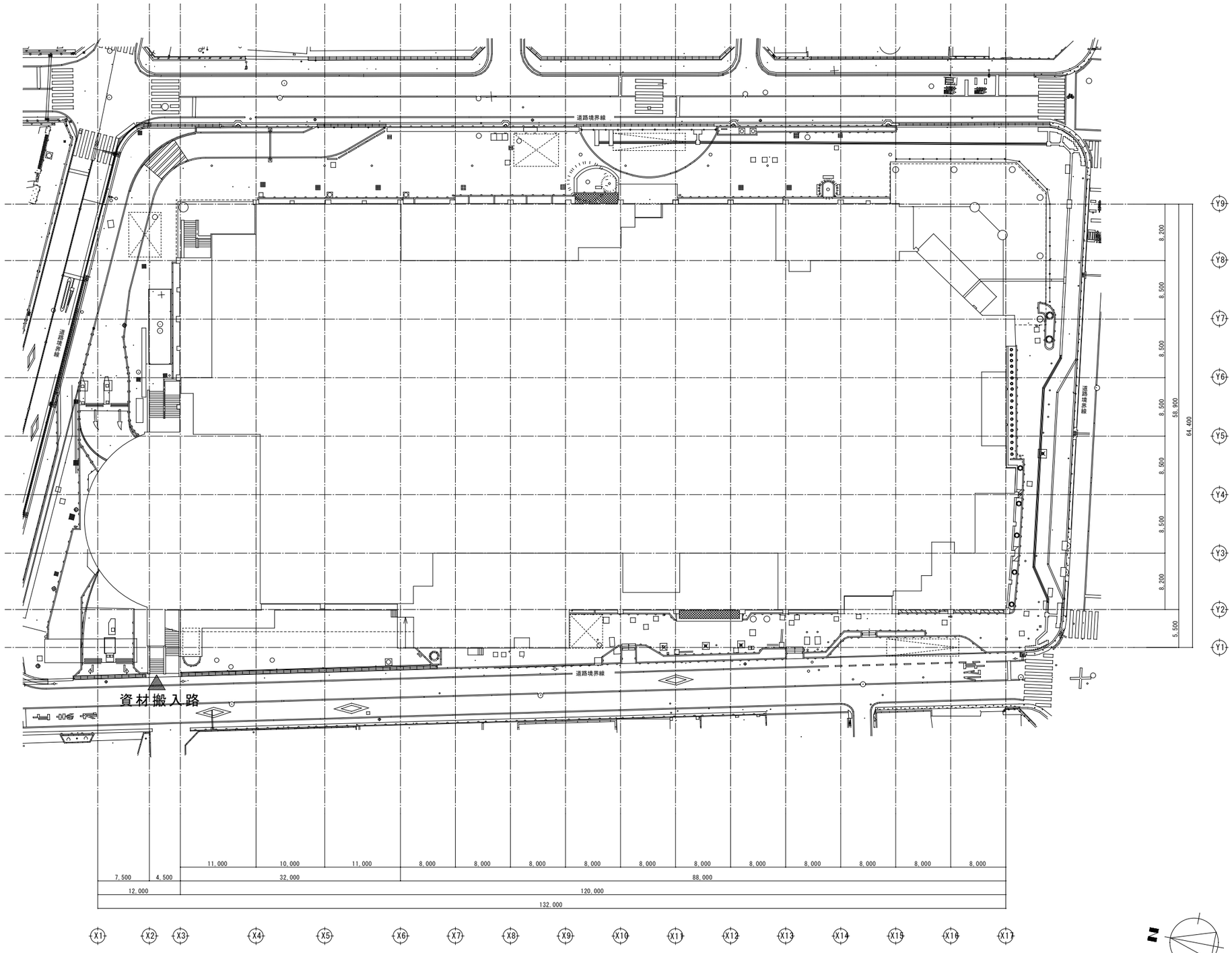
工事場所：福山市西町一丁目１番１号

附近見取図

■　仮設工事特記事項

①　仮設計画の立案に先立ち、１階運営事業者、施設管理者及び監督員と協議し、承諾を受けるものとする。

②　資材搬入については、２階搬入口とする。ラフテレーンクレーンによる揚重作業を想定している。



配置図 S=1:300

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 配置図・附近見取図	縮尺 1:300	図面番号 A-11

【内部仕上】

階		室名	床 下地	床 仕上	巾木	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	廻り縁	天井高	備考
地下2	改修前	通路	C	モルタル下地 ビニル床タイル張り	――	せっこうボード t=12.5 クロス貼り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）		2,100	
	改修後		C	既存のまま	――	既存のまま	LGS	撤去のまま		2,100	
1	改修前	従業員男女便所	C	モルタル下地 ビニル床シート張り モルタル下地 200角タイル張り	――	500-200角タイル張り 一部ビニルクロス貼り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り 撤去（LGS下地共） せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,400	
	改修後		C	既存のまま	――	既存のまま	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 新設（LGS下地共） せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部新設（LGS下地共）	アルミ製	2,400	アルミ製天井点検口（450x450）1 ヶ所
	改修前	客用男女便所	C	モルタル下地 100角タイル張り	――	100角タイル張り	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,400	
	改修後		C	既存のまま	――	既存のまま	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0 新設（LGS下地共）	アルミ製	2,400	アルミ製天井点検口（450x450） アルミ製天井点検口（600x600）
	改修前	通路	C	モルタル下地 ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=60	せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り	LGS	せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	アルミ製	3,500	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	既存のまま	LGS	せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部新設（LGS下地共）	アルミ製	3,500	
	改修前	工作室	C	モルタルコテ押え	――	有孔けい酸カルシウム板 t=6.0 素地 押出成形セメント板 t=60 素地	LGS	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地 一部撤去（LGS下地共）	――	3,200	
	改修後		C	既存のまま	――	既存のまま	LGS	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地 一部新設（LGS下地共）	――	3,200	
	改修前	荷捌場	C	モルタルコテ押え	――	有孔けい酸カルシウム板 t=6.0 素地	LGS	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地 一部撤去（LGS下地共）	――	3,200	
	改修後		C	既存のまま	――	既存のまま	LGS	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地 一部新設（LGS下地共）	――	3,200	
2	改修前	店舗	C	モルタル下地 ビニル床タイル張り 一部撤去	ビニル巾木 H=60	押出成形セメント板 t=60 EP塗り 一部クロス貼り せっこうボード t=12.5 EP塗り、モルタル下地 クロス貼り 一部撤去	LGS	せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	アルミ製	3,000	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	既存のまま せっこうボード t=12.5 素地 一部補修	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0 一部新設（LGS下地共） せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部新設（LGS下地共）	塩ビ製	3,000	アルミ製天井点検口（450x450、600x600）
	改修前	喫茶コーナー	C	モルタル金コテ押え	――	せっこうボード t=12.5 EP塗り 一部撤去	LGS	せっこうボード t=9.5 EP塗り		2,400	
	改修後		C	既存のまま	――	せっこうボード t=12.5 素地 一部新設	LGS	既存のまま		2,400	
	改修前	便所（1）	C	モルタル下地 100角タイル張り 撤去 モルタル下地 ビニル床シート張り 撤去（仕上げのみ 前室）	ビニル巾木 H=60 一部撤去（前室）	外周壁：モルタル下地 100角タイル張り 既存のまま 間仕切り壁：CB t=150 モルタル下地 100角タイル張り 撤去	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 撤去（LGS下地共） せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,400 3,000	
	改修後		C	モルタル金コテ押え ビニル床シート t=2.5 新設 下地処理の上 ビニル床シート張り 新設（前室） ※ ビニルシートは耐汚染仕様	ステンレス巾木 H=60 新設 ビニル巾木 H=60 新設（前室）	外周壁：LGS W=50 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設 間仕切り壁：LGS W=65 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設（グラスウール） せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り 新設（前室）	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0 張り 新設（LGS下地共）	塩ビ製	2,400	汚垂石、面台：マーブライト、トイレブース、隔てスクリーン、SUS手摺Ｌ型34Φ 鏡 1,200x1,120、鏡 1,800x1,120、アルミ製天井点検口（450x450） 室名札（ピクトグラム）
	改修前	便所（2）	C	モルタル下地 ビニル床シート張り 撤去（仕上げのみ） モルタル下地 ビニル床タイル張り 撤去（仕上げのみ）	ビニル巾木 H=60 一部撤去	外周壁：モルタル下地 200角タイル張り 既存のまま 間仕切り壁：CB t=150 モルタル下地 200角タイル張り 撤去	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板張り 撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,400	
	改修後		C	下地処理の上 ビニル床シート t=2.5 新設 一部モルタル金コテ押え ビニル床シート t=2.5 新設 ※ ビニルシートは耐汚染仕様	ステンレス巾木 H=60 新設 ビニル巾木 H=60 新設（前室）	外周壁：LGS W=50 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設 間仕切り壁：LGS W=65 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設（グラスウール） せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り 新設（前室）	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0 張り 新設（LGS下地共）	塩ビ製	2,400	汚垂石、面台：マーブライト、マーブライトカウンター、トイレブース、SUS手摺Ｌ型34Φ 隔てスクリーン、鏡 2,100x1,120、鏡 1,800x1,120、鏡 480x1,100、鏡 450x1,000 3ヶ所 ベビーチェア、アルミ製天井点検口（450x450）、室名札（ピクトグラム）
	改修前	便所（3）	C	モルタル下地 200角タイル張り 撤去 店舗部 一部ビニル床タイル張り 撤去	――	外周壁：モルタル下地 200角タイル張り 既存のまま モルタル下地 200角タイル張り 一部撤去（CB t=150下地共）	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板張り 撤去（LGS下地共） 店舗部 せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,400 3,000	
	改修後		C	モルタル金コテ押え ビニル床シート t=2.5 新設 下地処理の上 ビニル床シート t=2.5 新設　※ ビニルシートは耐汚染仕様	ステンレス巾木 H=60 新設 ビニル巾木 H=60 新設（店舗）	外周壁：LGS W=50 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設 間仕切り壁：LGS W=65 耐水せっこうボード t=12.5 下地 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 新設（グラスウール）	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0 張り 新設（LGS下地共）	塩ビ製	2,400	汚垂石、面台：マーブライト、トイレブース、隔てスクリーン、室名札（ピクトグラム） 鏡 1,700x1,120、鏡 1,800x1,120、アルミ製天井点検口（450x450）、SUS手摺Ｌ型34Φ
	改修後	掃除具入		下地処理の上 ビニル床シート t=2.5 新設	ビニル巾木 H=60 新設	せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り 新設	LGS	せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=12 張り 新設（LGS下地共）	塩ビ製	2,400	面台：マーブライト、棚板：メラミン化粧合板フラッシュ、 ステンレスパイプ 27.2Φ（SUSフック 2ヶ所含む）
	改修前	通路 ＥＶホール	C	モルタル金コテ押え ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=75	押出成形セメント板 t=60 EP塗り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り 一部撤去	塩ビ製	2,600	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	一部 押出成形セメント板 t=60 EP塗り 補修	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 一部新設	塩ビ製	2,600	アルミ製天井点検口（450x450、600x600）
3	改修前	店舗	C	モルタル金コテ押え ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=60	押出成形セメント板 t=60 EP塗り せっこうボード t=12.5 EP塗り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	アルミ製	2,800	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	既存のまま せっこうボード t=12.5 EP塗り 既存のまま 一部強化せっこうボード t=12.5+ 普通せっこうボード t=9.5素地 新設	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 一部新設（LGS下地共）	塩ビ製	2,800	
	改修前	通路	C	モルタル金コテ押え ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=60	押出成形セメント板 t=60 EP塗り 一部撤去	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り	塩ビ製	2,600	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	既存のまま	LGS	既存のまま	塩ビ製	2,600	
	改修前	電気室	C	モルタル金コテ押え ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=60		LGS	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り 一部撤去（LGS下地共）	――	2,800	
	改修後		C	既存のまま	――	強化せっこうボード t=12.5+ 普通硬質せっこうボード t=9.5 素地 両面新設（耐火構造 FP060NP-0259）	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 一部新設（LGS下地共）	――	2,800	
9	改修前	通路	C	モルタル金コテ押え ビニル床タイル張り	ビニル巾木 H=60	押出成形セメント板 t=60 素地 一部撤去 せっこうボード t=12.5 ビニルクロス貼り	LGS	化粧せっこうボード t=9.5 一部撤去	塩ビ製	2,600 2,120 2,400	
	改修後		C	既存のまま	既存のまま	既存のまま 既存のまま	LGS	既存のまま（撤去部：撤去のまま）	塩ビ製	2,600 2,120 2,400	
R	改修前	ＥＶ機械室	C	モルタル下地 塗床仕上げ 一部撤去	――	押出成形セメント板 t=60 素地 一部撤去 モルタルコテ押え		デッキプレート 現し		3,140	
	改修後		C	既存のまま（撤去部：CPL-6敷き）	――	押出成形セメント板 t=60 素地 一部撤去部（撤去のまま） 既存のまま		既存のまま		3,140	EV機械室床：CPL-6 SOP塗り
その他	改修後	屋外避難階段 №1・2、6 塗装改修 3階駐車場 ネットフェンス、室外機基礎、空調制御盤基礎 3階駐車場、バルコニー 壁開口 3ヶ所									

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

工事名称 2026年 8月
リムふくやま本館改修工事

縮尺率 A-1：100%　A-2：71%　A-3：50%

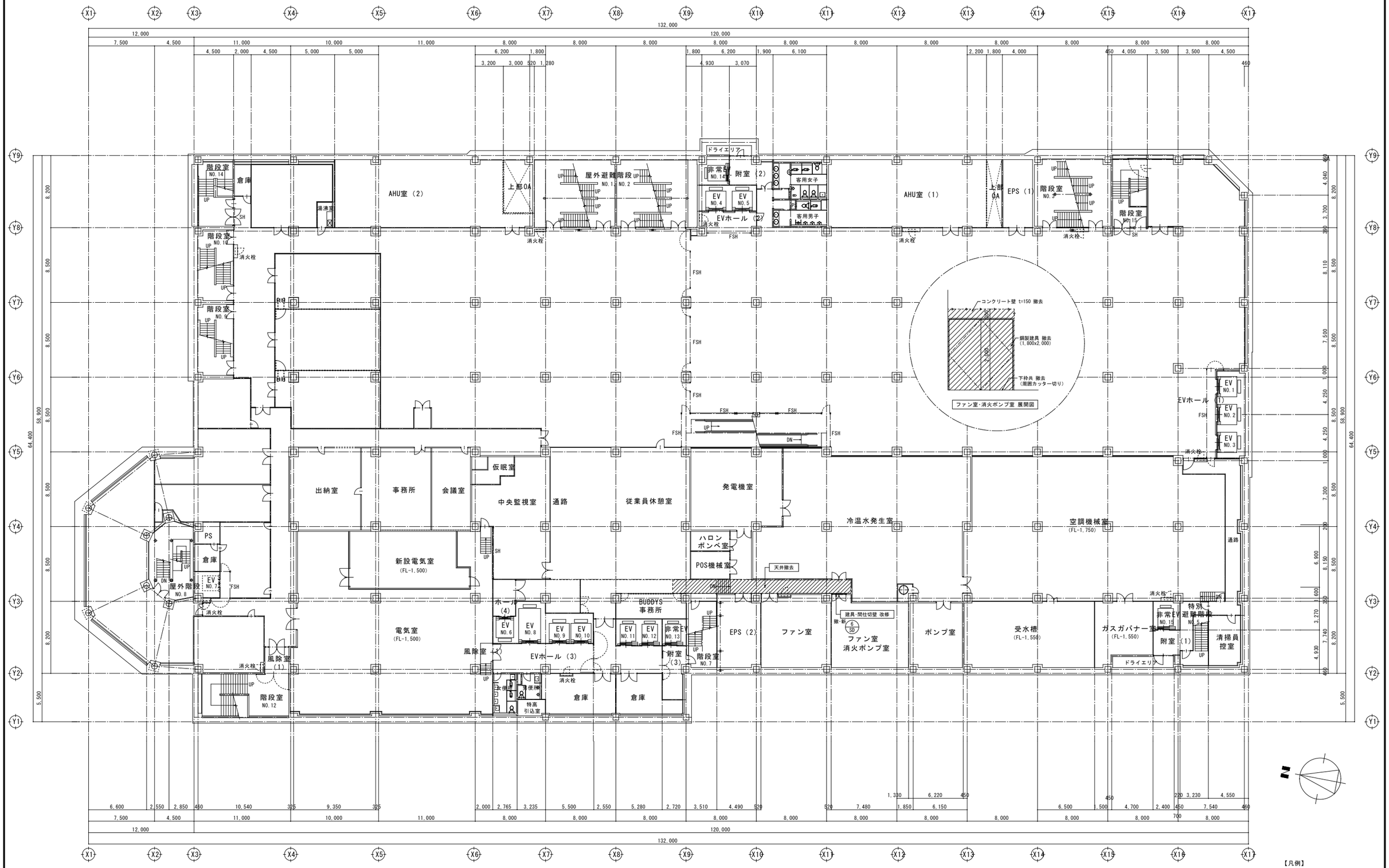
工事種別 意匠

図面名称
仕上表

縮尺

図面番号 A-12

改修前

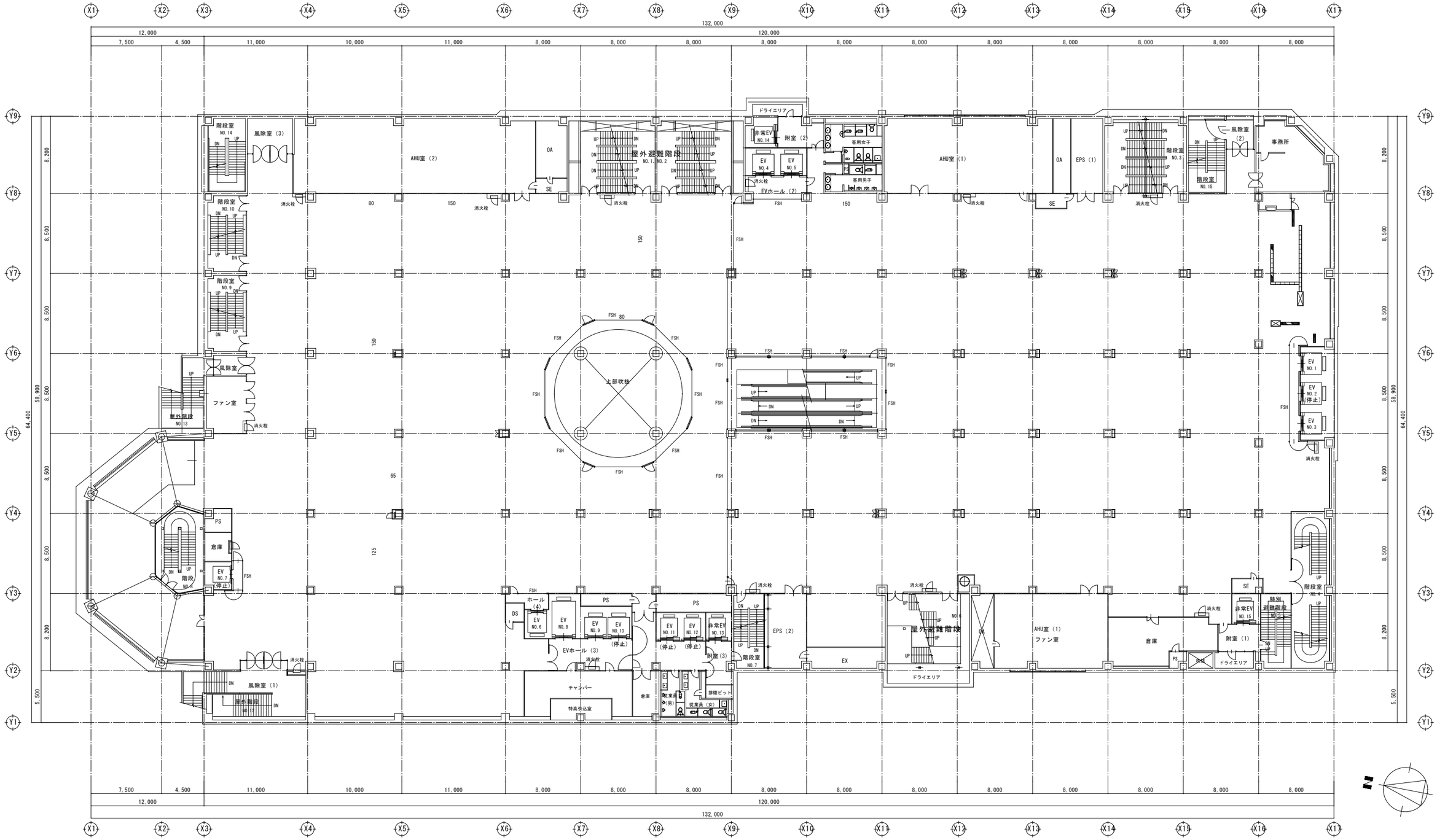


【凡例】

撤・新 ---- 撤去・新設建具を示す

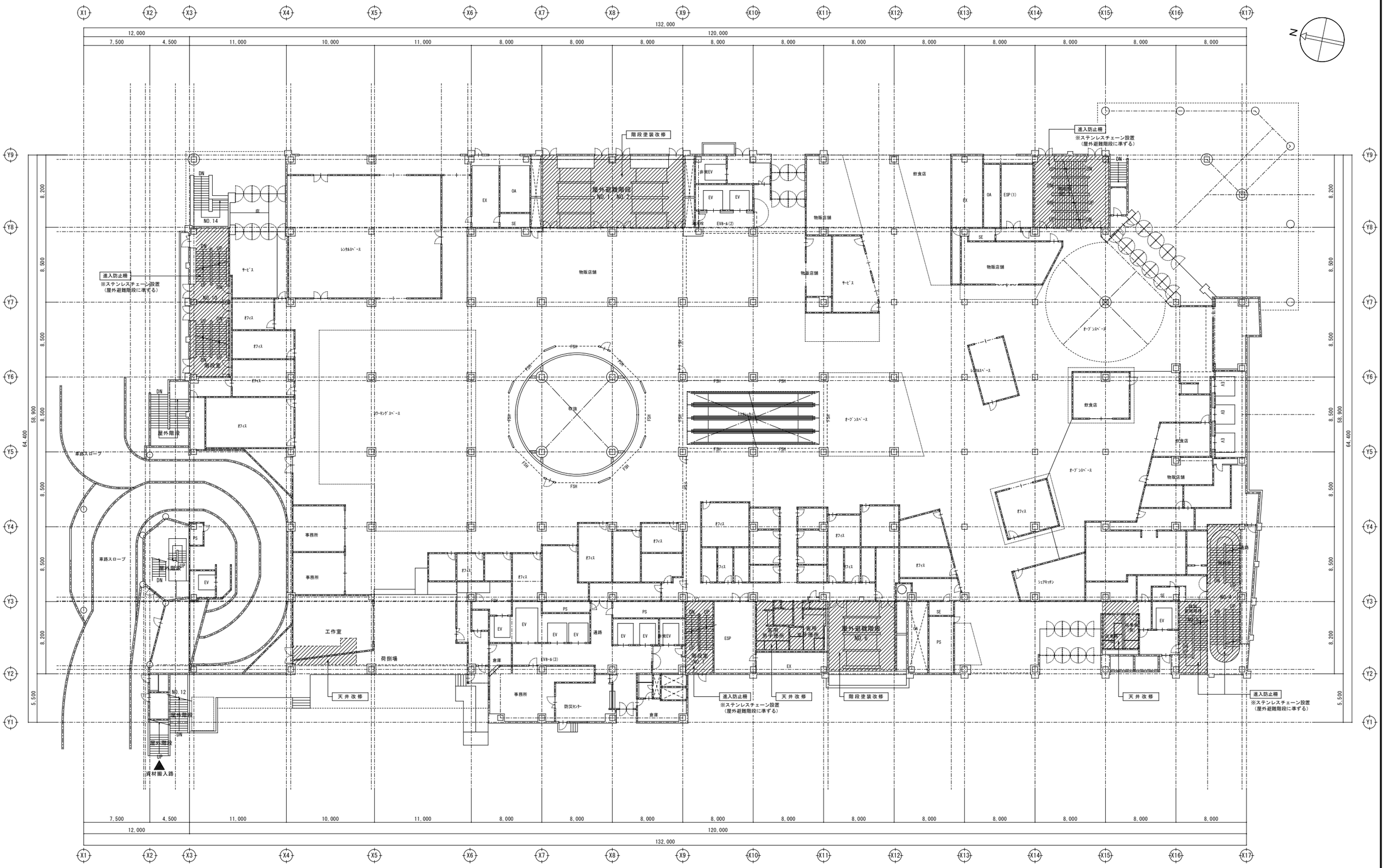
変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前 地下２階平面図	縮尺 1:200	図面番号 A-13

改 修 前



変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前 地下１階平面図	縮 尺 1:200	図面番号 A-14

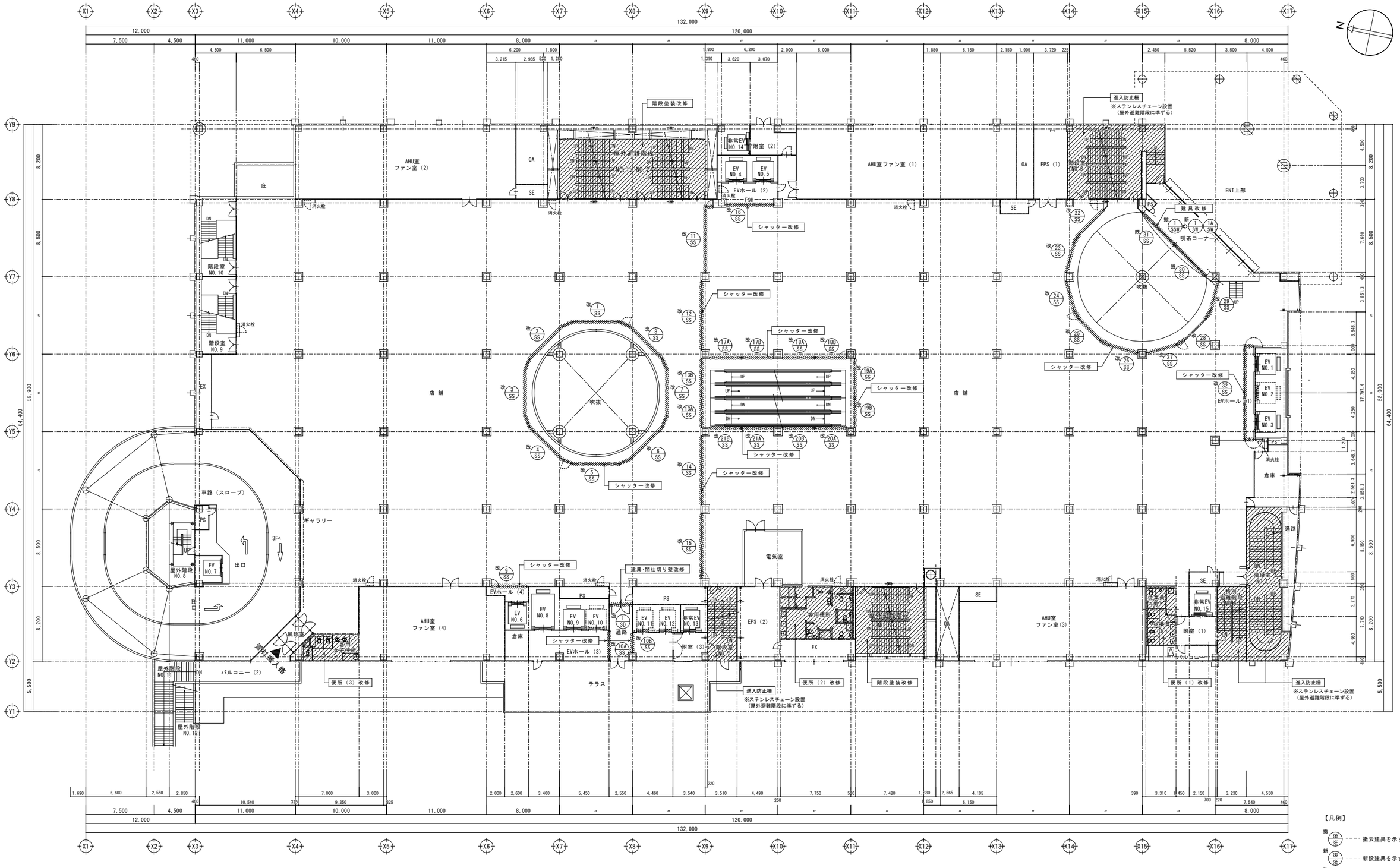
改 修 前



改修前１階平面図 S=1:200

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前１階平面図	縮 尺 1:200	図面番号 A-15

改修前



改修前２階平面図 S=1:200

【凡例】

撤 ※ ---- 撤去建具を示す

新 ※ ---- 新設建具を示す

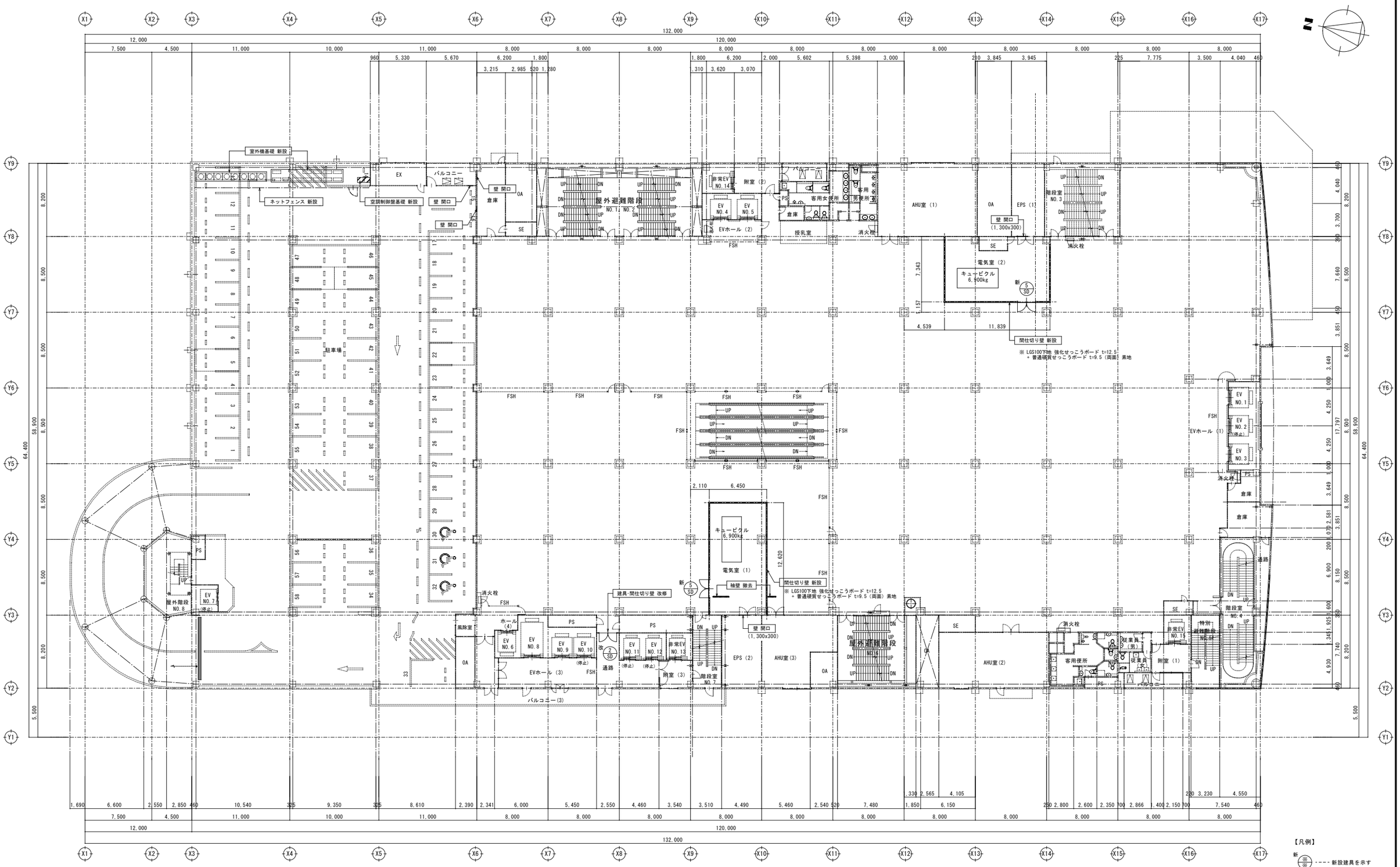
改 ※ ---- 改修建具を示す

既 ※ ---- 既存のまま建具を示す

※ 改修便所（１～３）の建具位置は便所詳細図に記載

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計	工事名称	縮尺率	工事種別
		〒720-0823 PHONE (084) 953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
			図面名称	縮 尺	図面番号
			改修前２階平面図 建具位置図	1:200	A-16

改 修 後



改修後 3階平面図 S=1:200

【凡例】

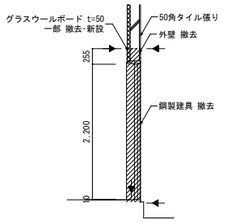
新 ※ ---- 新設建具を示す

改 ※ ---- 改修建具を示す

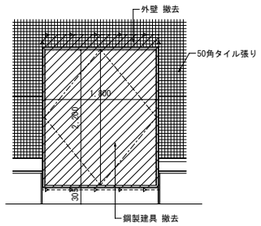
既 ※ ---- 既存のまま建具を示す

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修後 3階平面図 建具位置図	縮 尺 1:200	図面番号 A-17

改 修 前

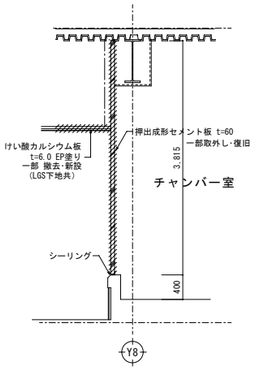


A断面図 S=1:50

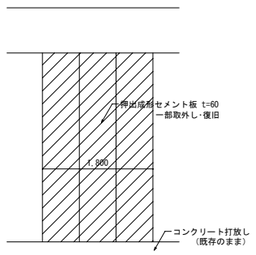


姿 図 S=1:50

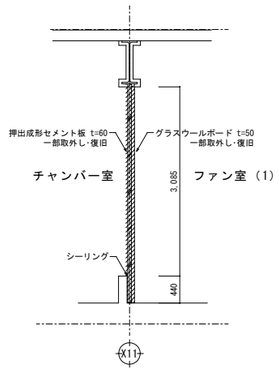
【凡例】
カッター切り部分を示す



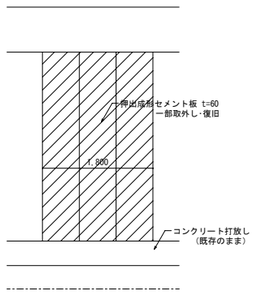
B断面図 S=1:50



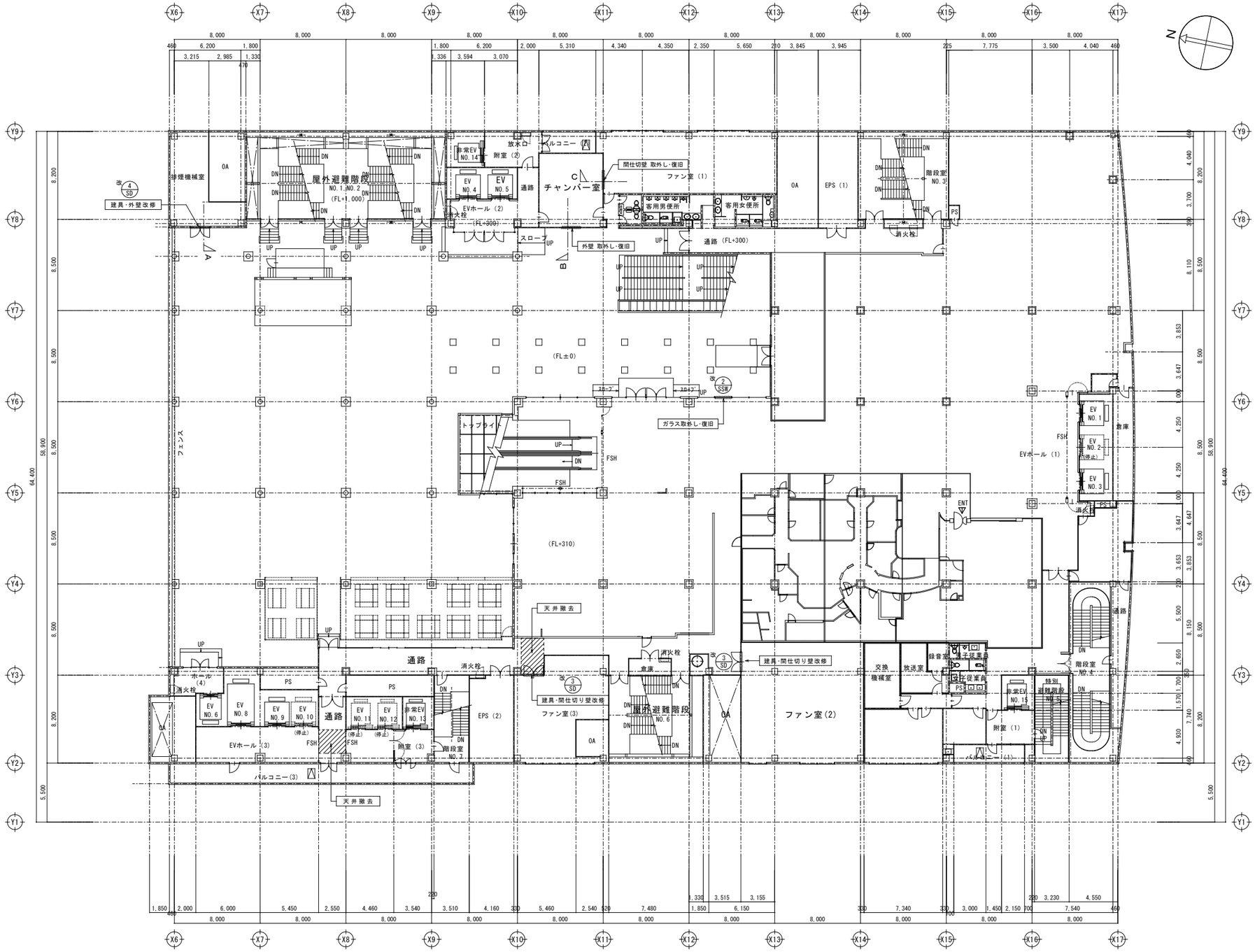
チャンバー室 展開図 C面 S=1:50



C断面図 S=1:50



チャンバー室 展開図 B面 S=1:50

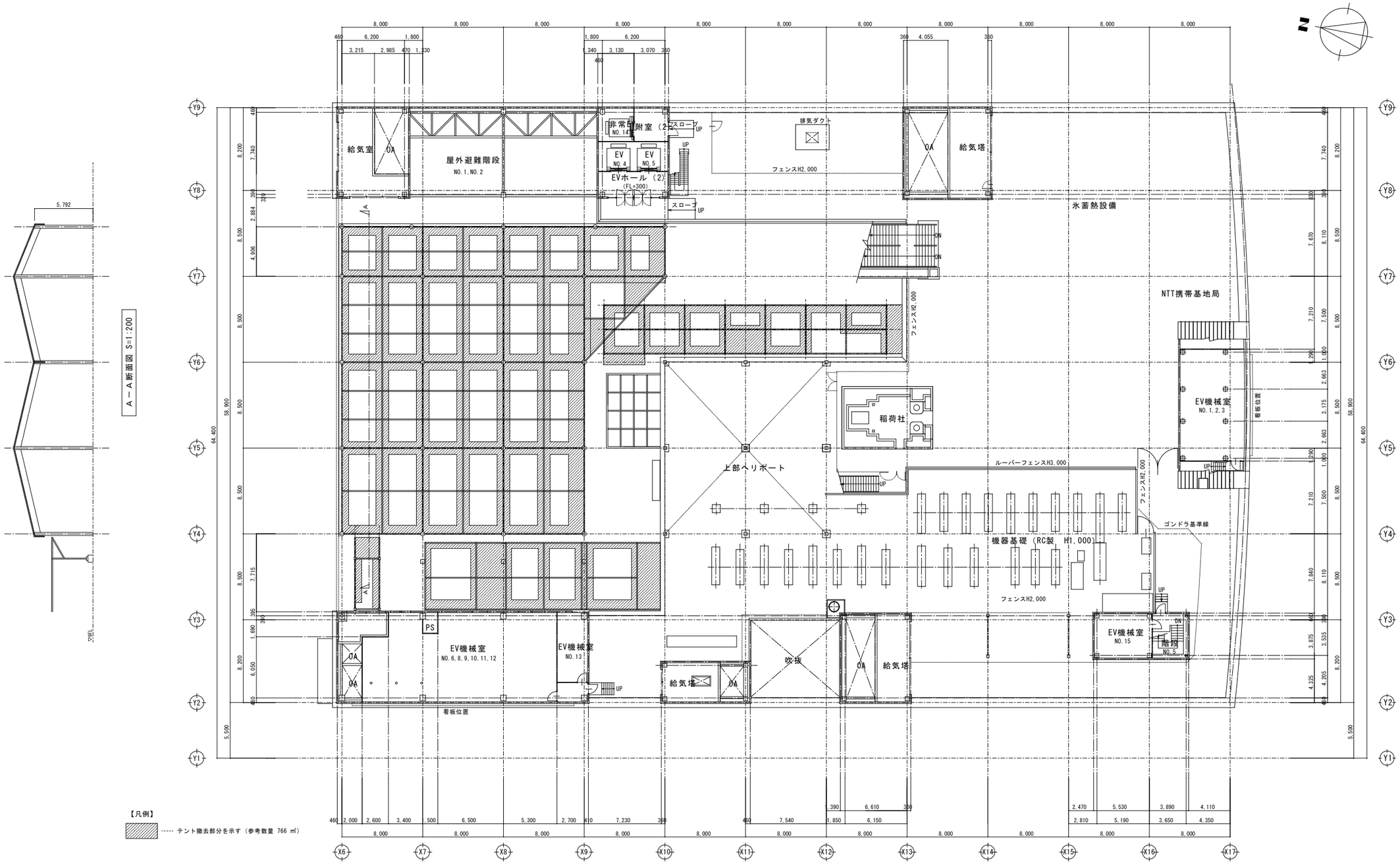


改修前9階平面図 S=1:200

新 ※ ---- 新設建具を示す
改 ※ ---- 改修建具を示す
既 ※ ---- 既存のまま建具を示す

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計	工事名称	縮尺率	工事種別
		〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
			図面名称 改修前9階平面図 断面図 展開図	縮 尺 1:50 1:200	図面番号 A-18

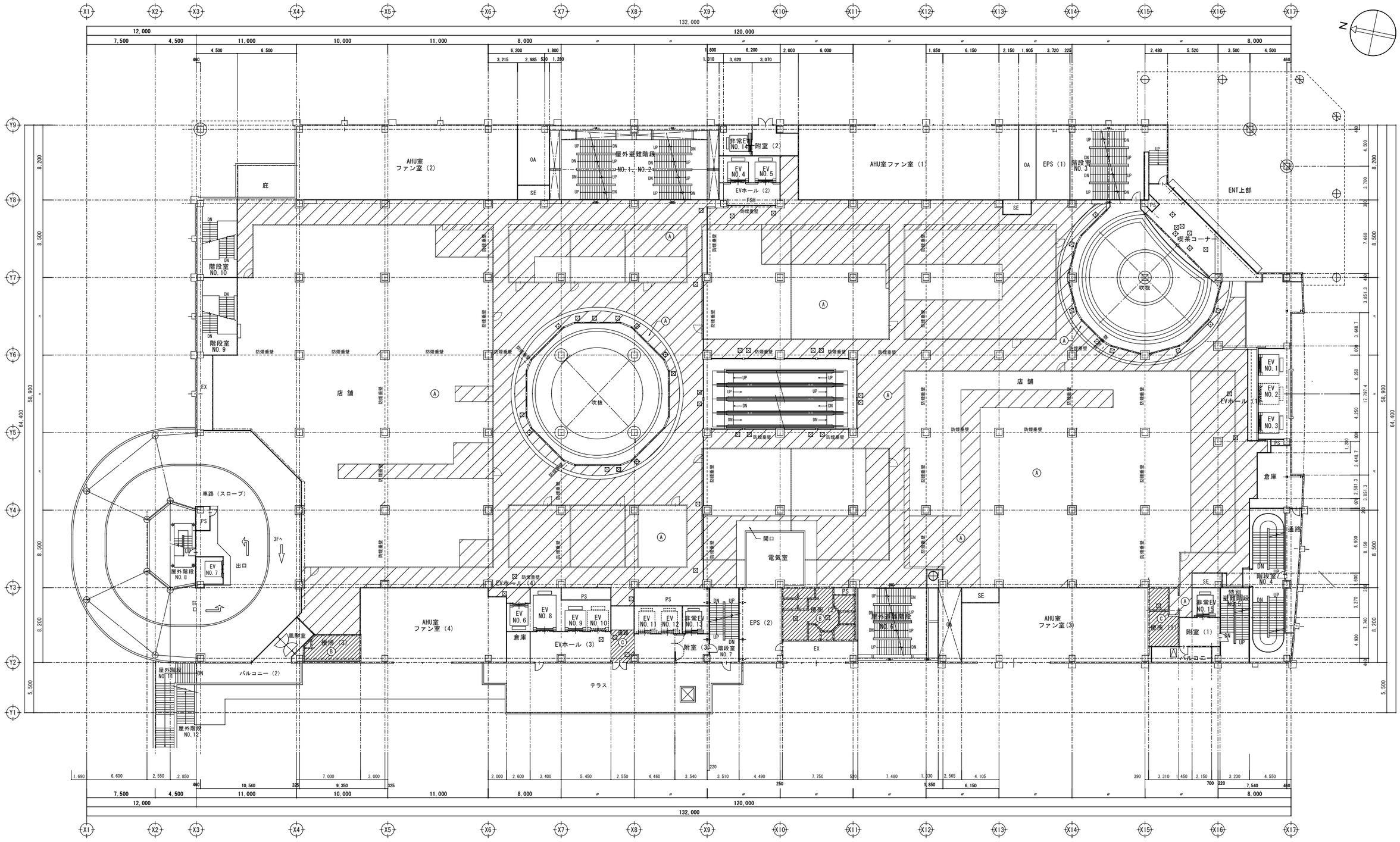
改 修 前



改修前Ｒ階平面図 S=1:200

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前 Ｒ階平面図	縮 尺 1:200	図面番号 A-19

改修前



改修前２階天井伏図 S=1:200

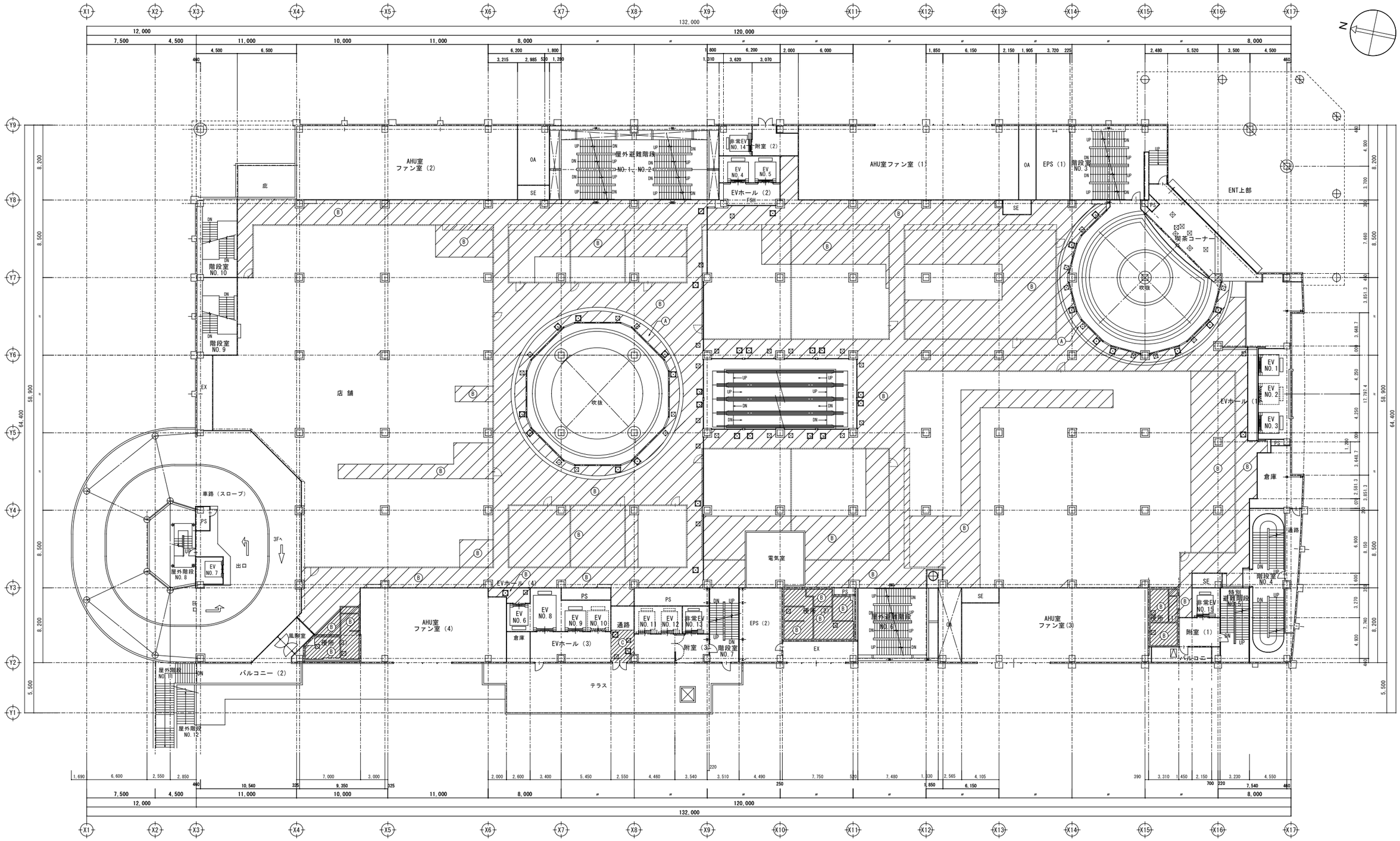
符号	仕　上
Ⓐ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP塗り
Ⓑ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=12.0
Ⓒ	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り

【凡例】

- 計画間仕切壁（リースライン）（別途工事）
- 防煙垂れ壁（線入ガラス 6.8）H=500 撤去
- 撤去部分を示す（LGS下地共）

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE (084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前 ２階天井伏図	縮 尺 1:200	図面番号 A-20

改修後



改修後２階天井伏図 S=1:200

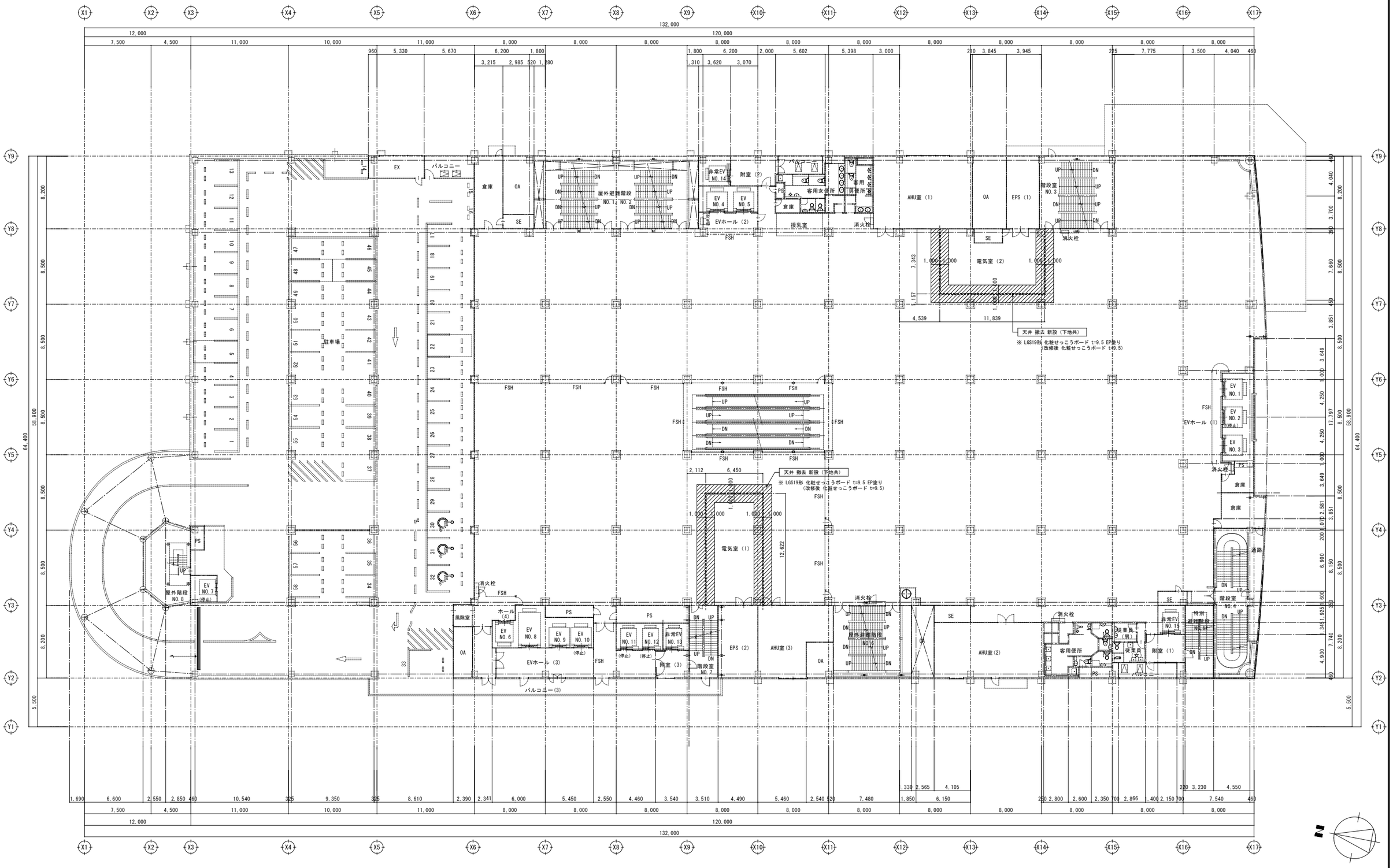
符号	仕上
Ⓐ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP塗り
Ⓑ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=9.0
Ⓒ	化粧せっこうボード t=9.5張り（900x900）

【凡例】

- ⊡ -------- アルミ製天井点検口(600x600) を示す
- ⊠ -------- アルミ製天井点検口(450x450) を示す
- ═══ ---- 計画間仕切壁（リースライン）（別途工事）
- ▨ ---- 新設部分を示す（LGS下地共）

変更年月日・変更事項					
福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE (084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠	
		図面名称 改修後２階天井伏図	縮尺 1:200	図面番号 A-21	

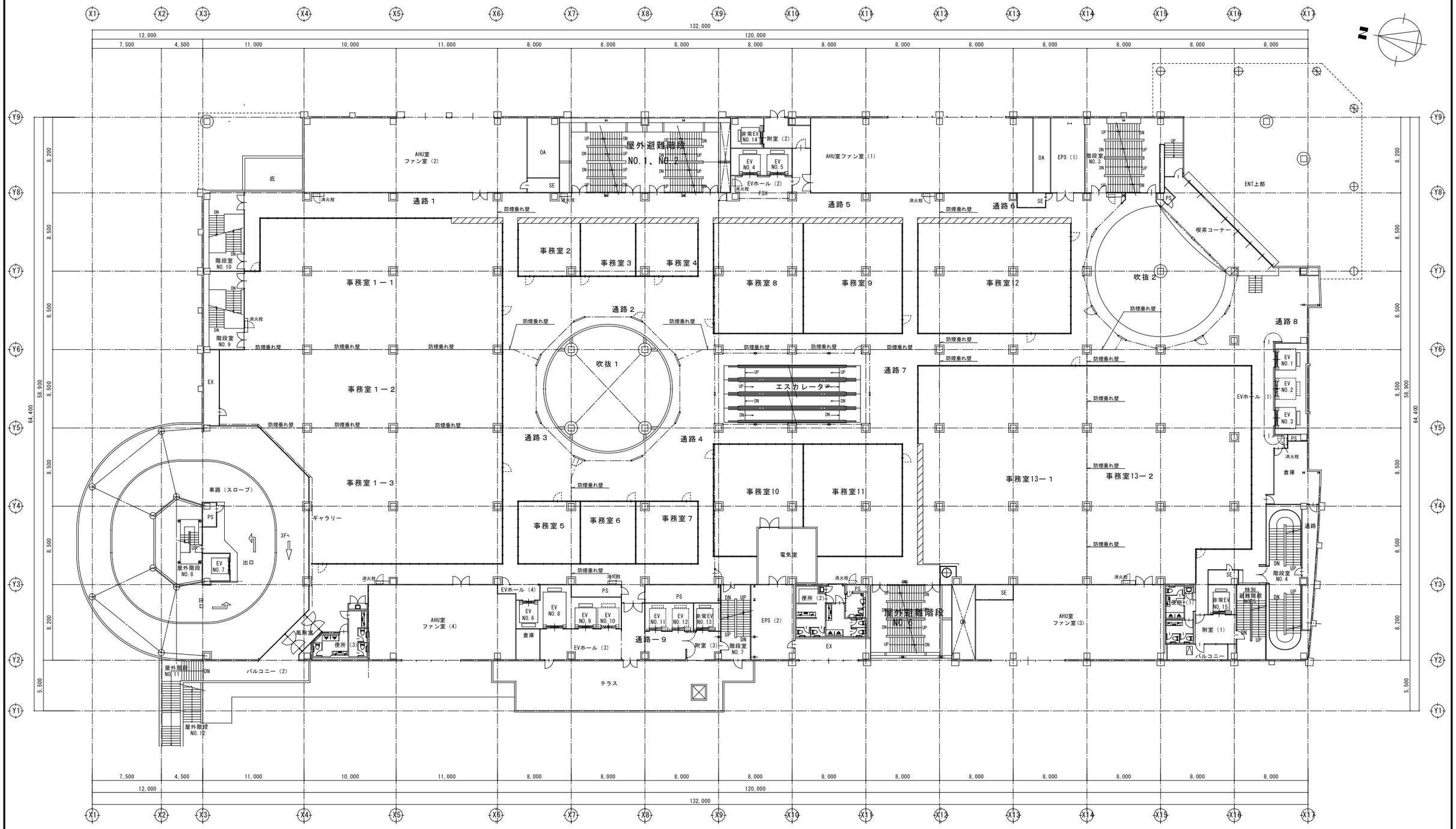
改 修 前 後



改修前後 3階天井伏図 S=1:200

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前後 3階天井伏図	縮 尺 1:200	図面番号 A-22

改修後



凡　例	
図示記号	摘　要
―・・―・・―	防煙垂れ壁（線入りガラス t=6.8）

改修後 排煙設備２階防煙区画平面図 S=1:200

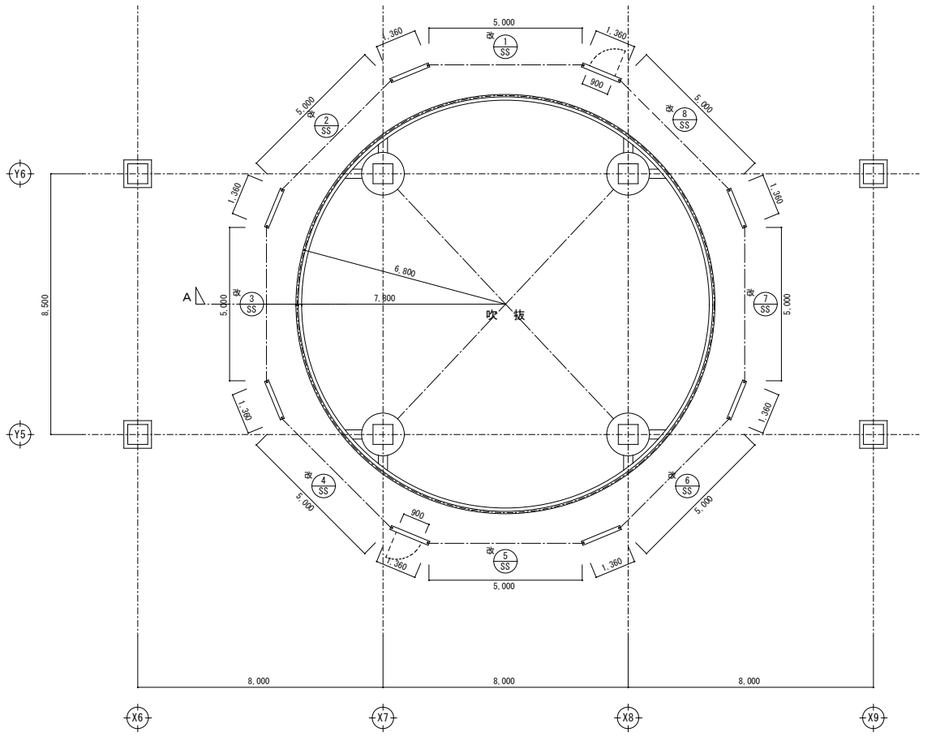
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事		A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称		縮尺	図面番号
改修後 排煙設備 ２階防煙区画平面図		1:200	A-23

改　修　前



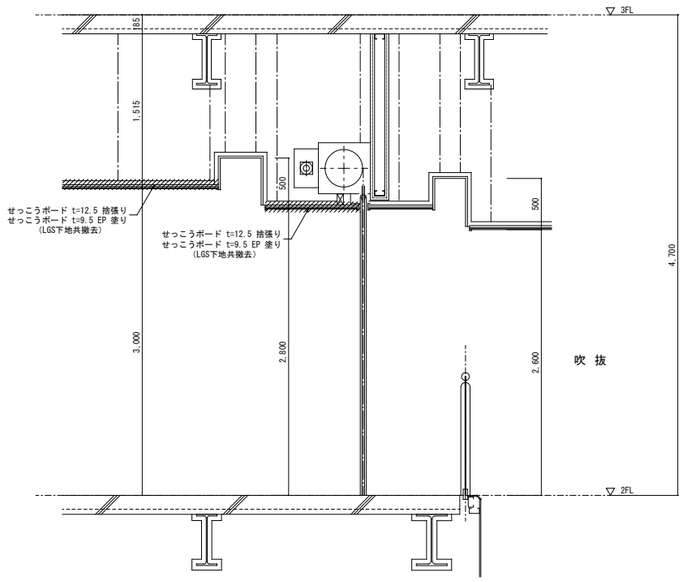
【凡例】

新 ※ ---- 新設建具を示す

改 ※ ---- 改修建具を示す

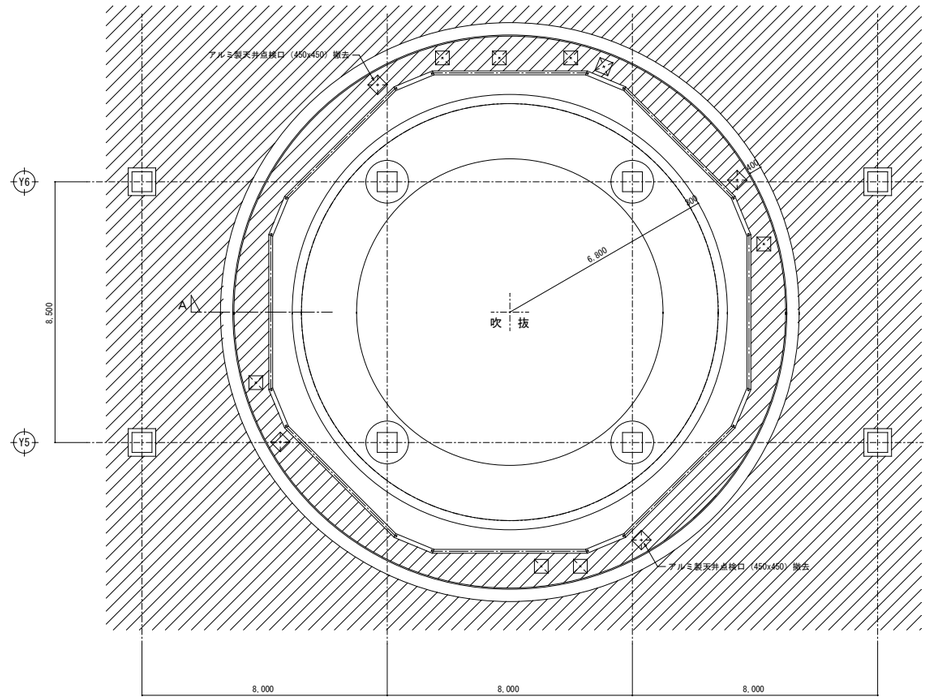
既 ※ ---- 既存のまま建具を示す

２階平面図 S=1:100



A　断面詳細図 S=1:30

改　修　前

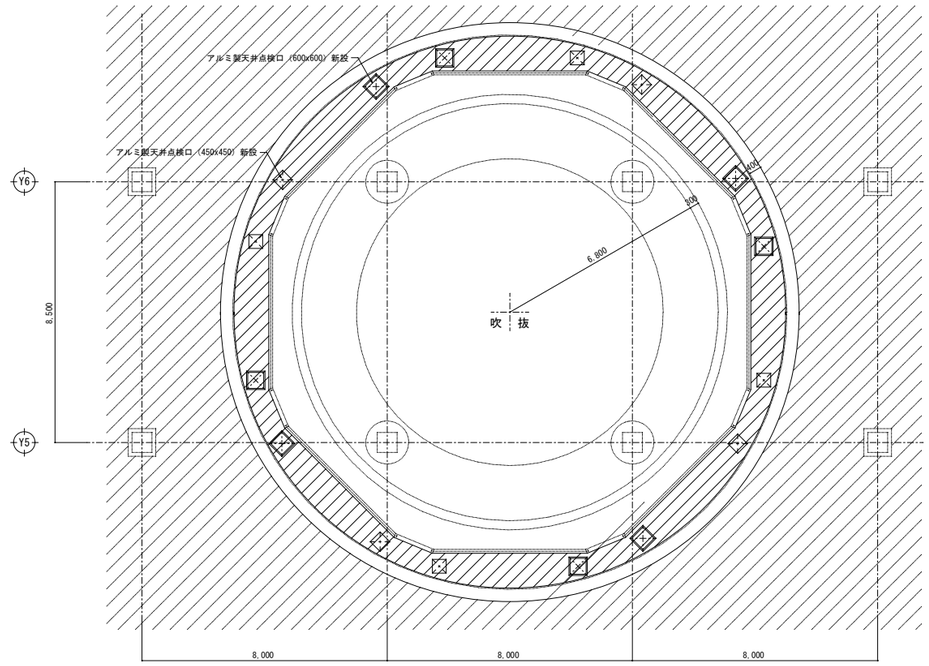


【凡例】

---- 撤去部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り

２階天井伏図 S=1:100

改　修　後



【凡例】

---- 新設部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0

---- 新設部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP塗り

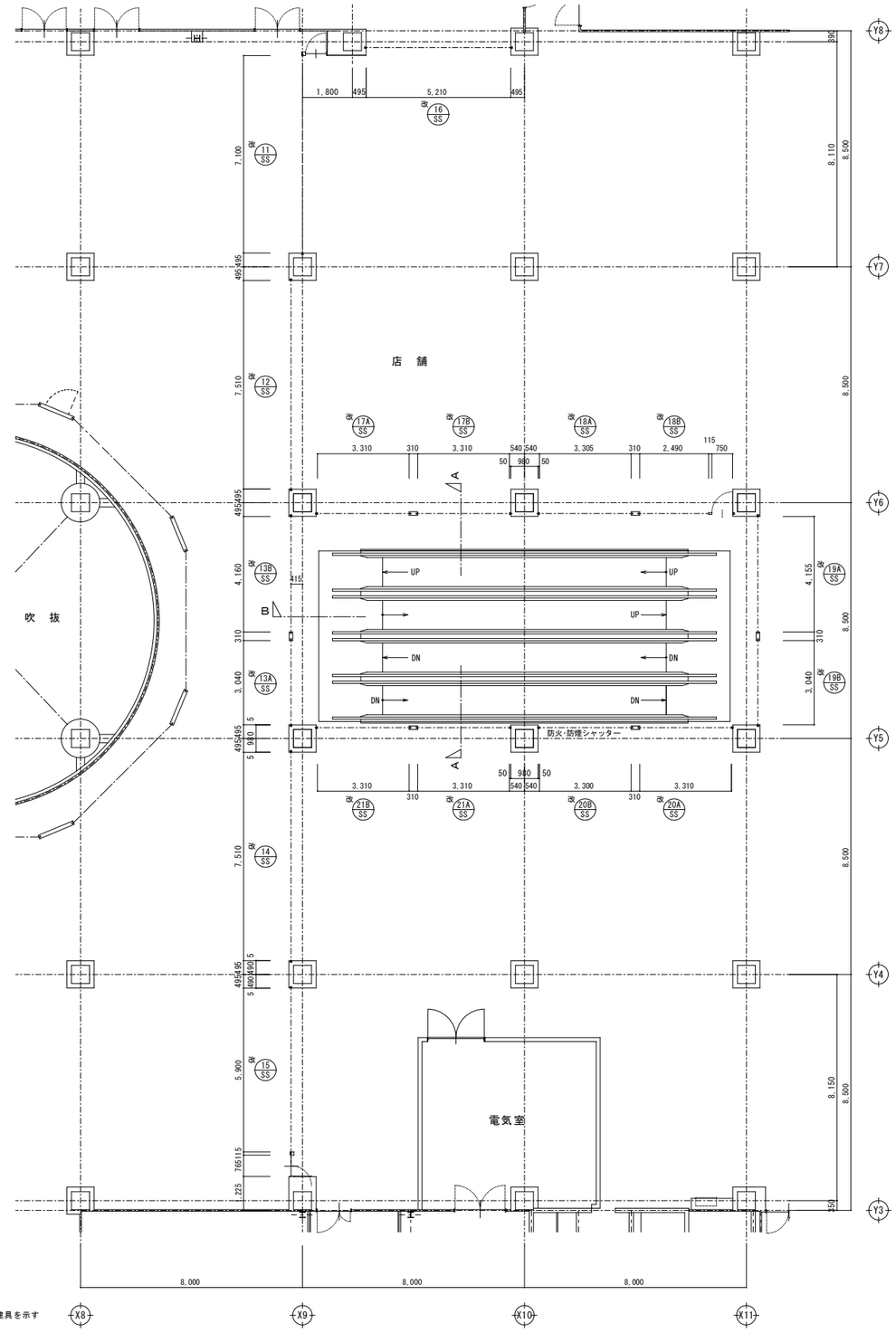
---- アルミ製天井点検口(600x600) を示す

---- アルミ製天井点検口(450x450) を示す

２階天井伏図 S=1:100

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2： 71% A-3： 50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前 ２階平面図（吹抜） 断面詳細図・改修前後 天井伏図	縮 尺 1:30 1:100	図面番号 A-24

改　修　前



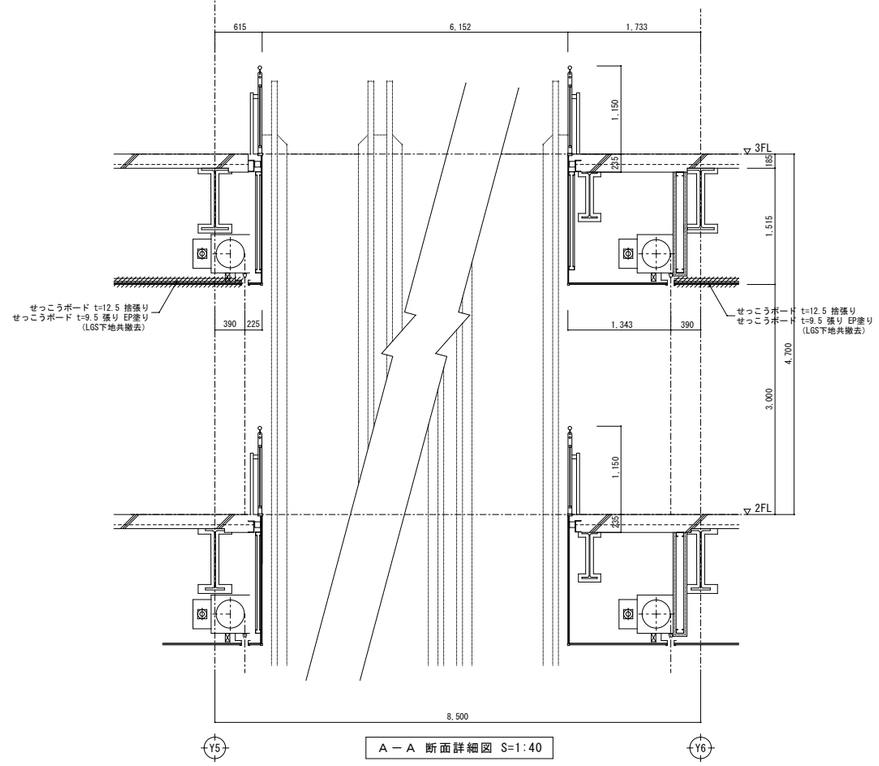
【凡例】

新 ---- 新設建具を示す

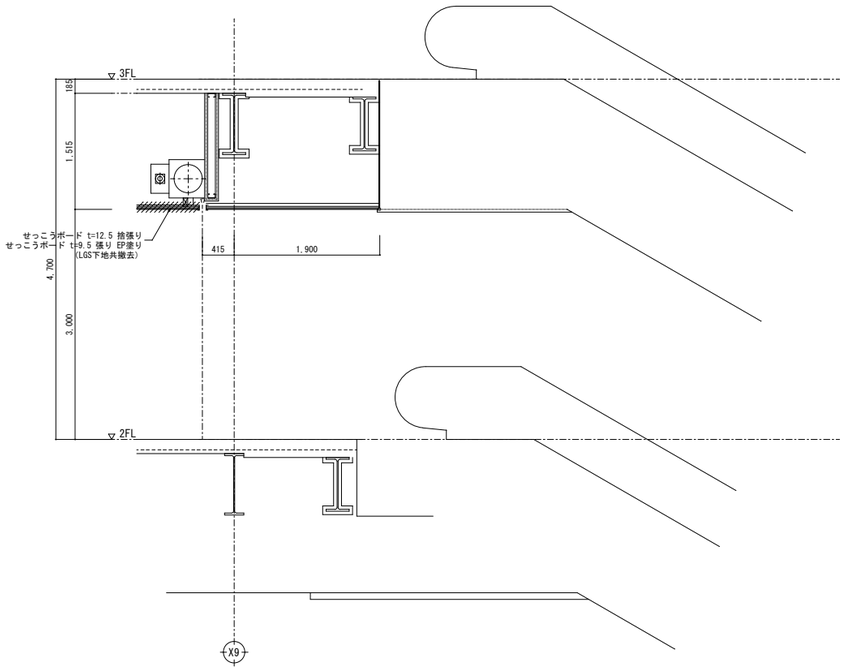
改 ---- 改修建具を示す

既 ---- 既存のまま建具を示す

２階平面図 S=1:100



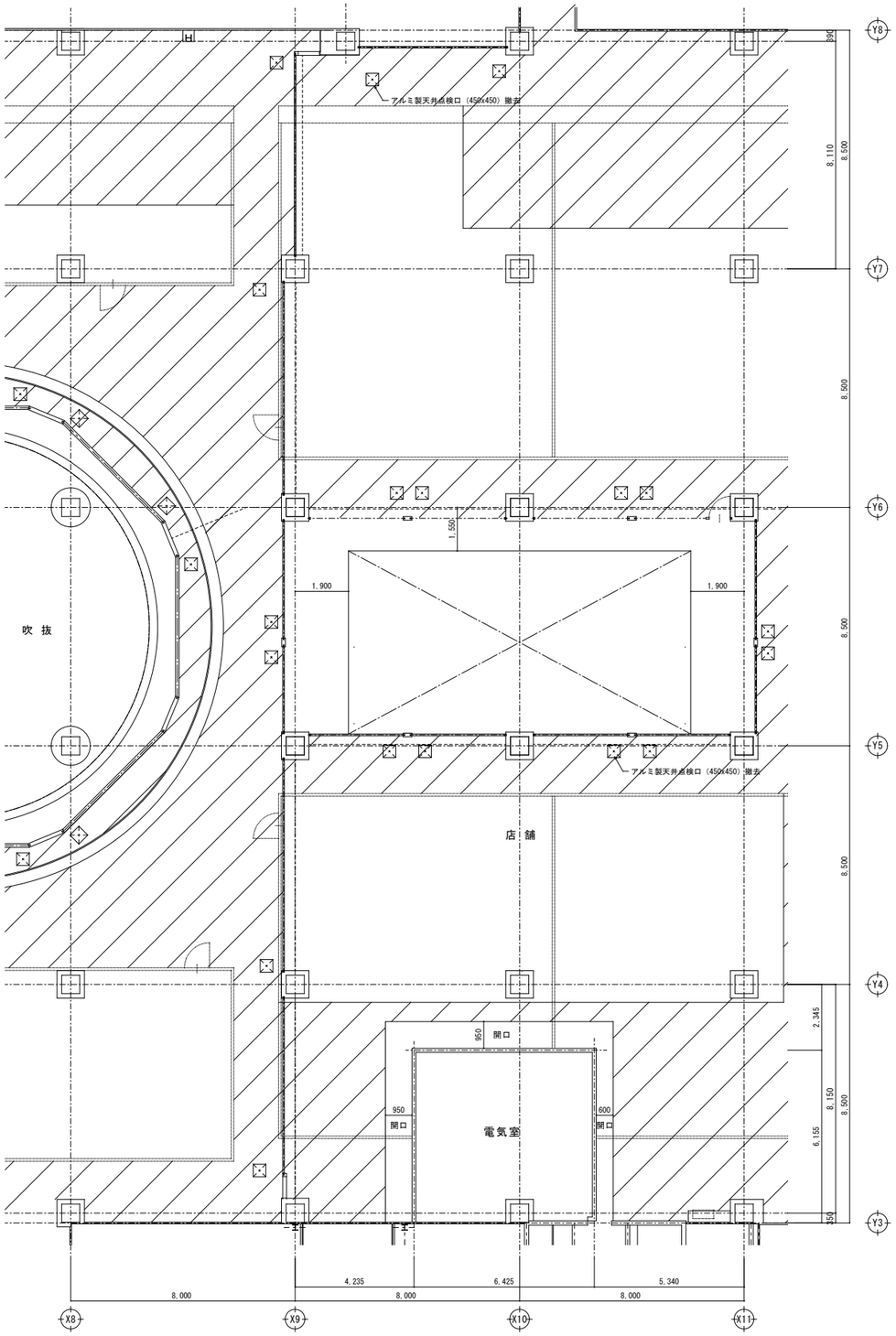
Ａ－Ａ 断面詳細図 S=1:40



Ｂ 断面詳細図 S=1:40

変更年月日・変更事項				
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第24907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50% 工事種別 意匠
			図面名称 改修前 ２階平面図（エスカレーター）断面詳細図	縮 尺 1:40 1:100 図面番号 A-25

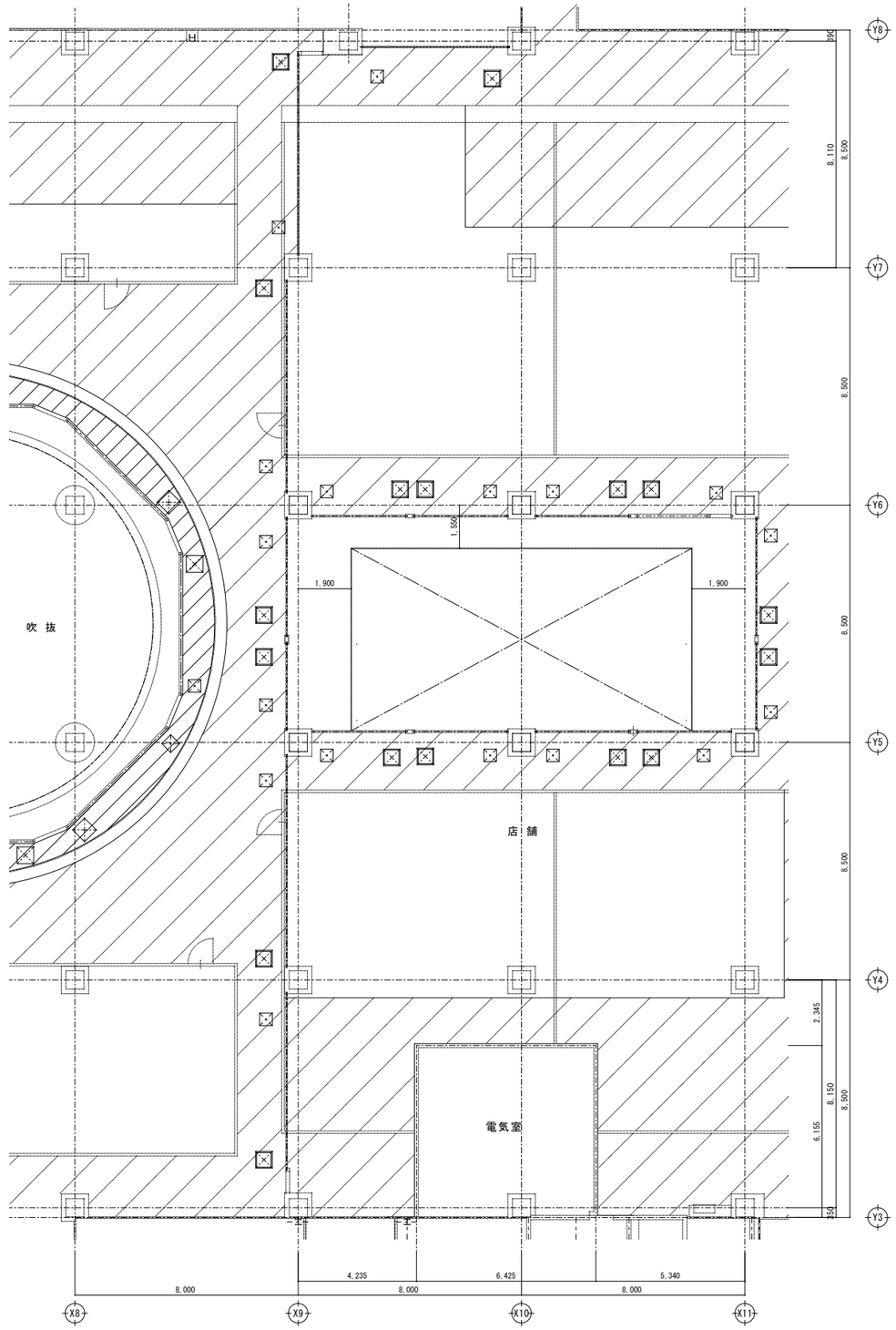
改 修 前



２階天井伏図 S=1:100

【凡例】
計画間仕切壁（リースライン）（別途工事）
撤去部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り

改 修 後



２階天井伏図 S=1:100

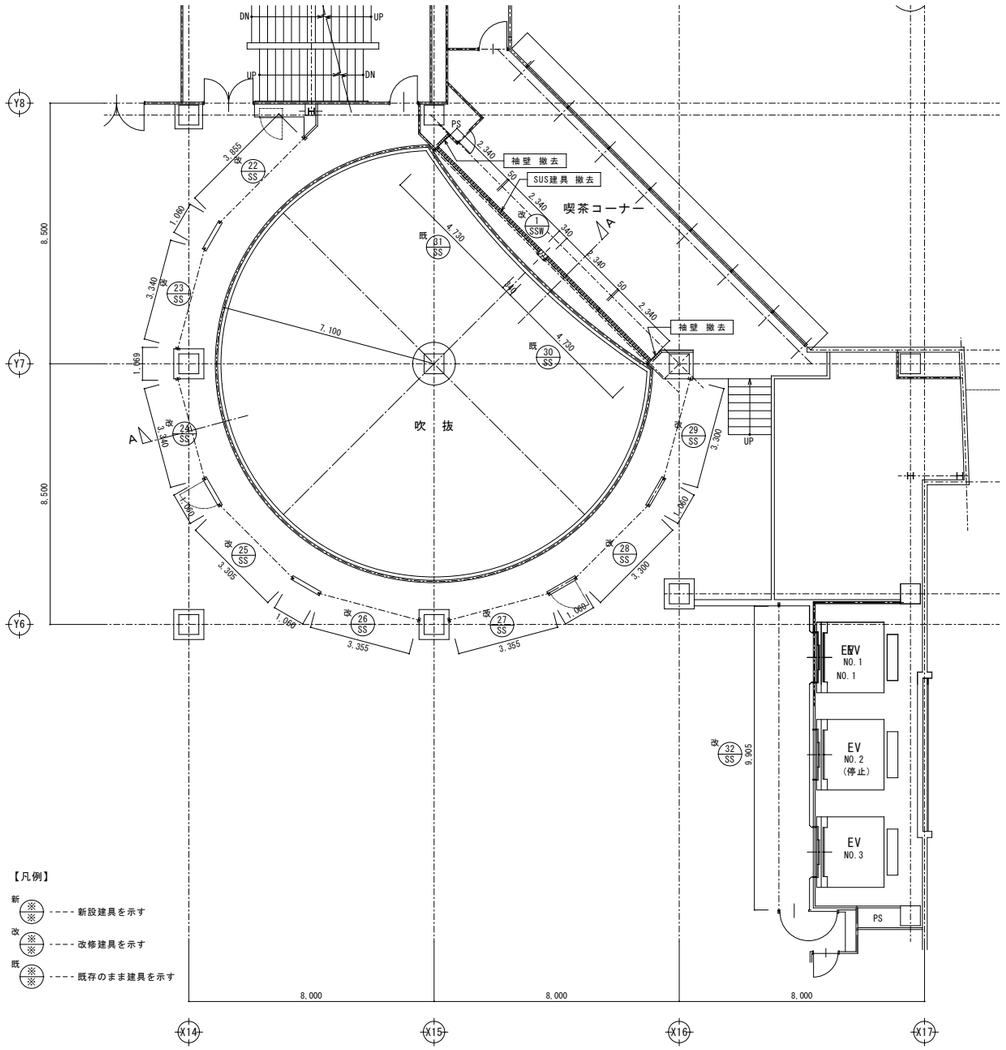
【凡例】
計画間仕切壁（リースライン）（別途工事）
新設部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=12.5 捨張り ロックウール吸音板 t=9.0
新設部分を示す（LGS下地共）
せっこうボード t=12.5 + 9.5 EP塗り

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第24990号 酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別
リムふくやま本館改修工事				意匠
図面名称		縮 尺		図面番号
改修前後 ２階天井伏図（エスカレーター）		1:100		A-26



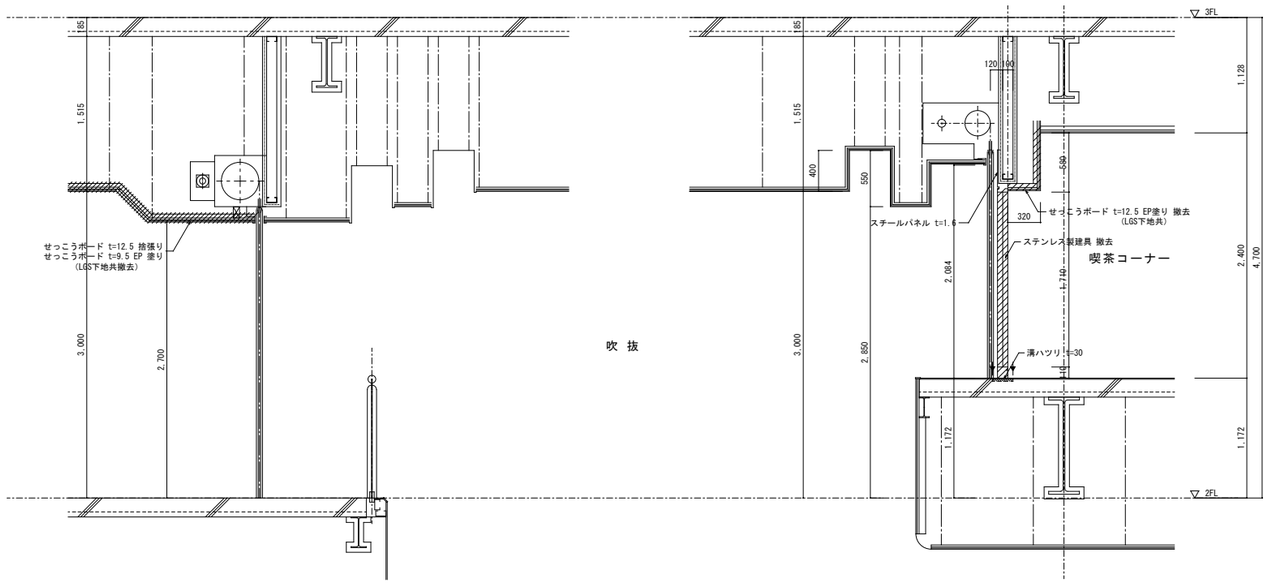
【凡例】

新 ※ ---- 新設建具を示す

改 ※ ---- 改修建具を示す

既 ※ ---- 既存のまま建具を示す

２階平面図 S=1:100



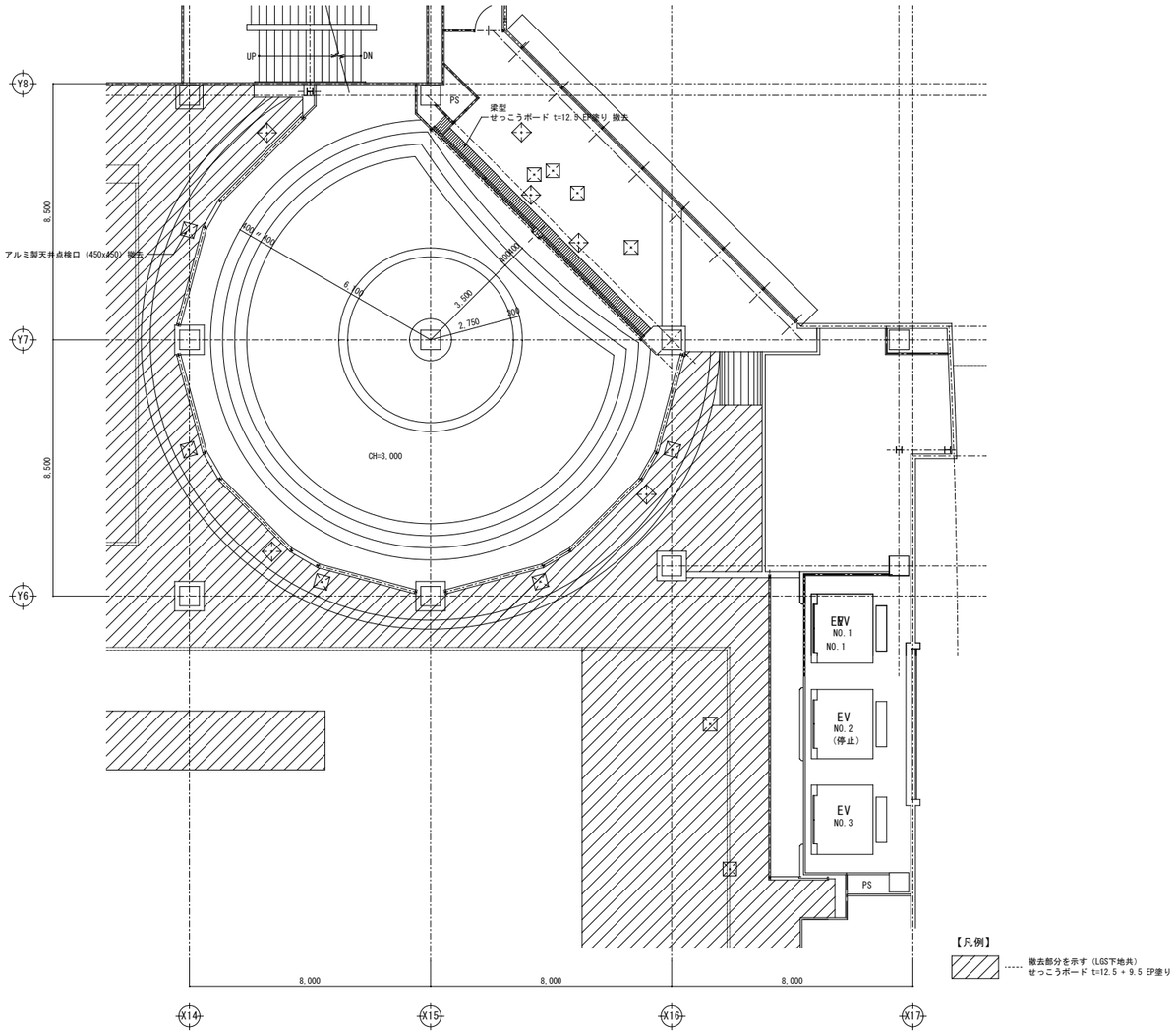
Ａ－Ａ 断面詳細図 S=1:30

【凡例】

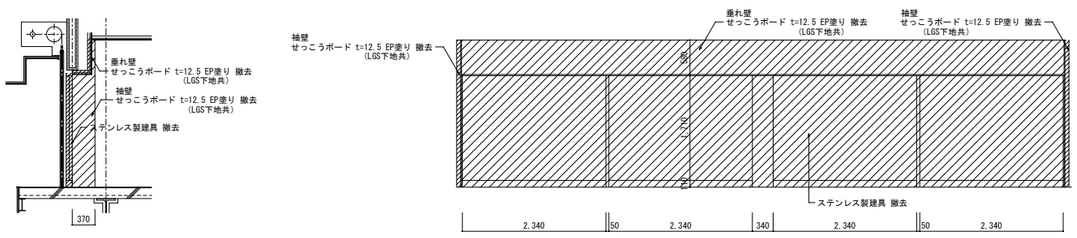
------ カッター切り部分を示す

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事 縮尺率 A-1：100%　A-2：71%　A-3：50% 工事種別 意匠 図面名称 改修前 ２階平面図（吹抜・喫茶）断面詳細図 展開図 縮 尺 1:30　1:100 図面番号 A-27

改　修　前



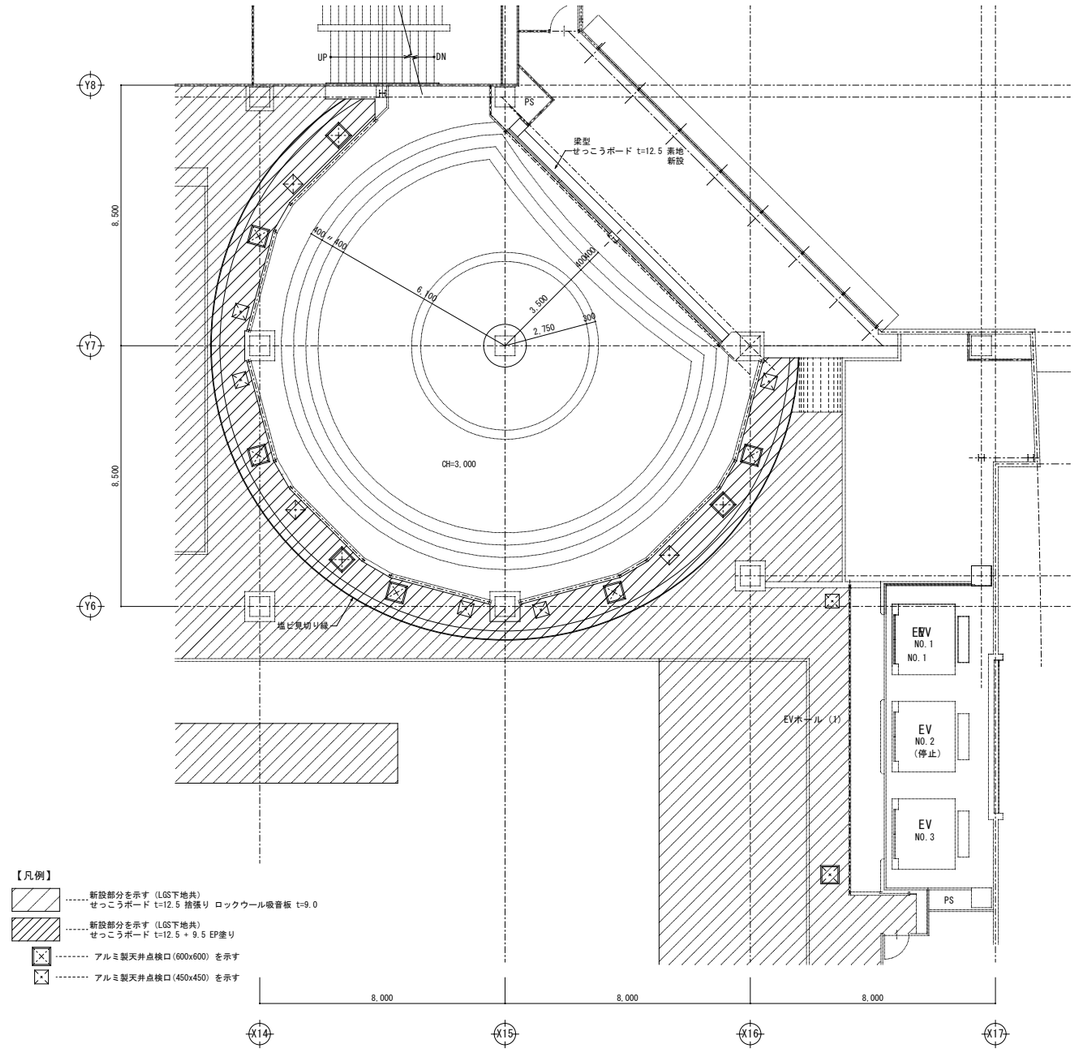
２階天井伏図 S=1:100



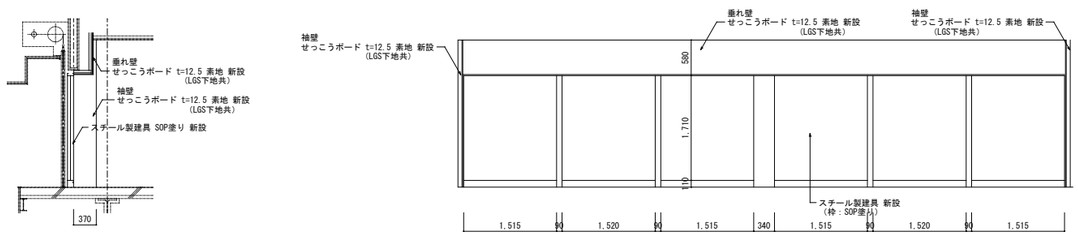
喫茶コーナー Ａ面　　喫茶コーナー Ｄ面

展開図 S=1:50

改　修　後



２階天井伏図 S=1:100



喫茶コーナー Ａ面　　喫茶コーナー Ｄ面

展開図 S=1:50

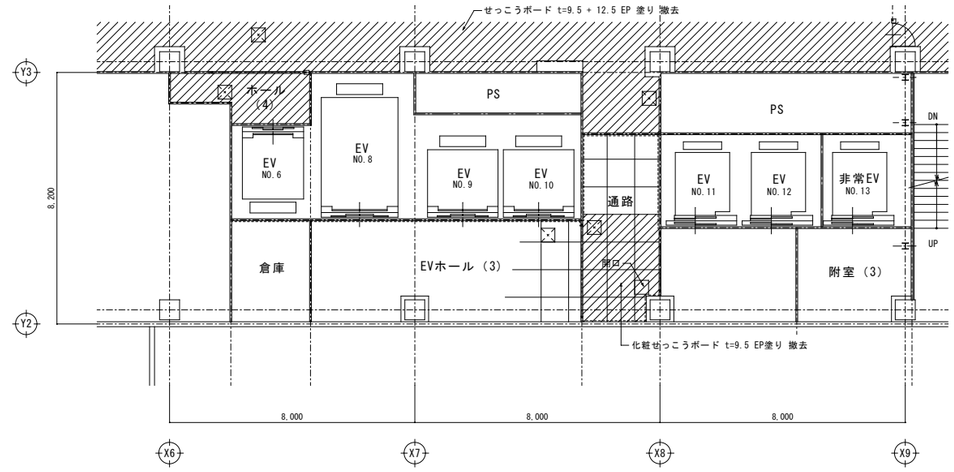
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

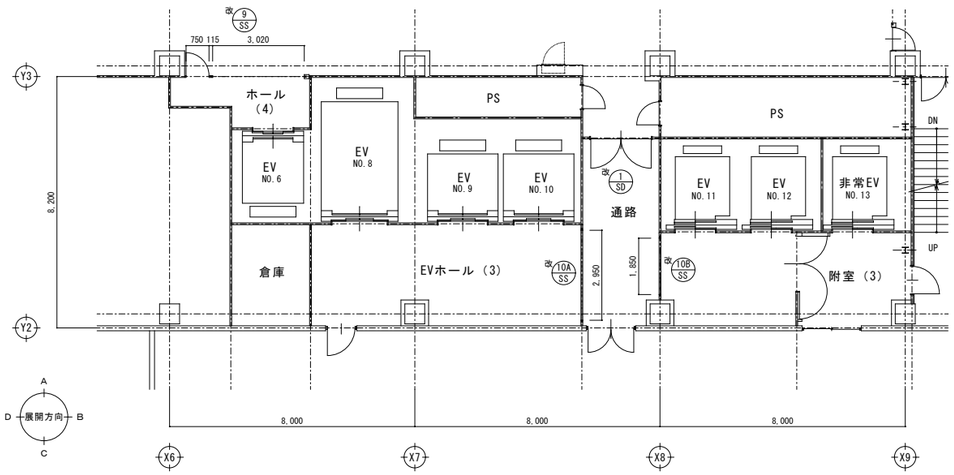
株式会社 佐藤設計
〒720-0823　PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所　広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士　第24690号　酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事		A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称		縮尺	図面番号
改修前後 ２階天井伏図（吹抜・喫茶）展開図		1:50 1:100	A-28

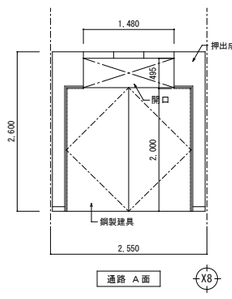
改　修　前



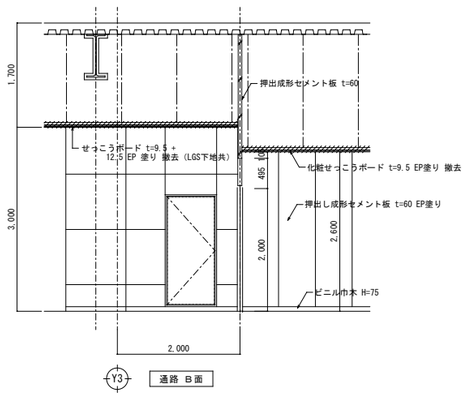
２階天井伏図 S=1:100



２階平面図 S=1:100



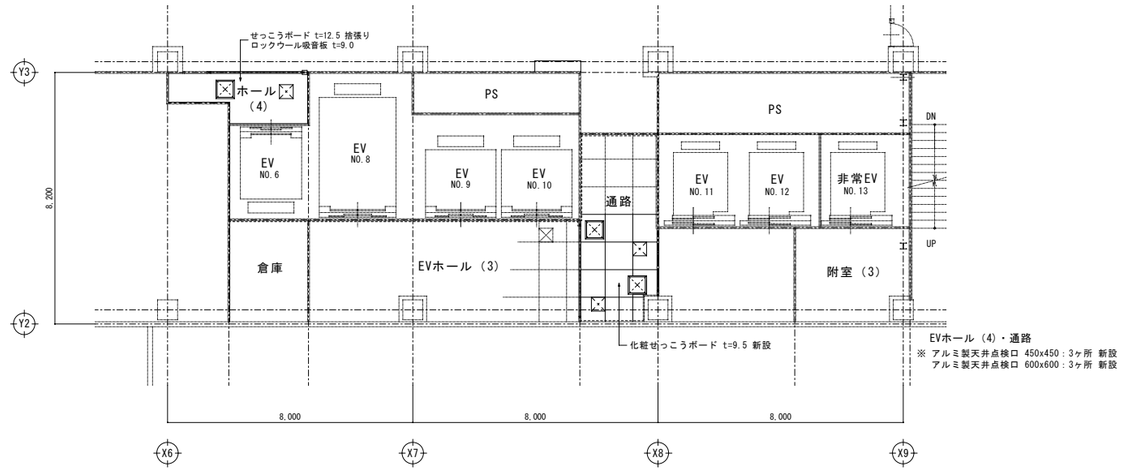
通路 A面



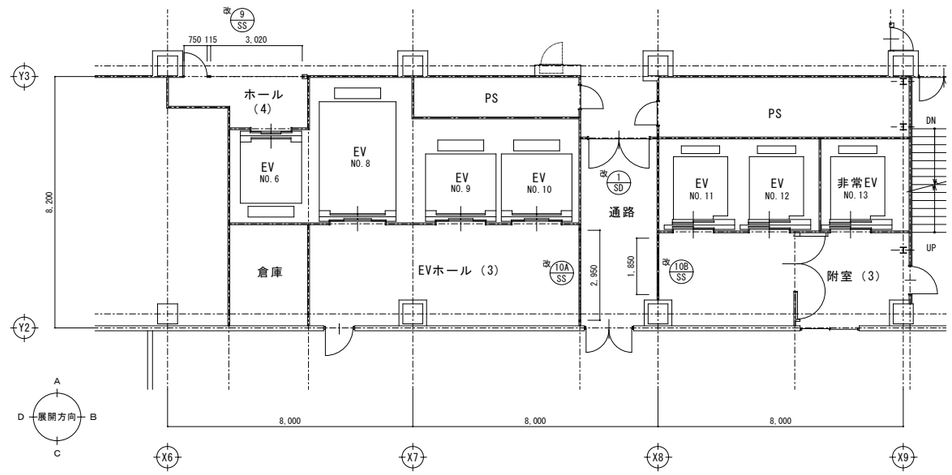
通路 B面

２階展開図 S=1:50

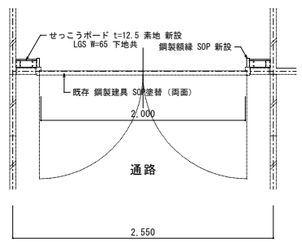
改　修　後



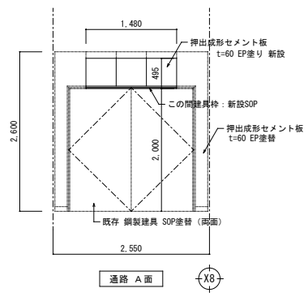
２階天井伏図 S=1:100



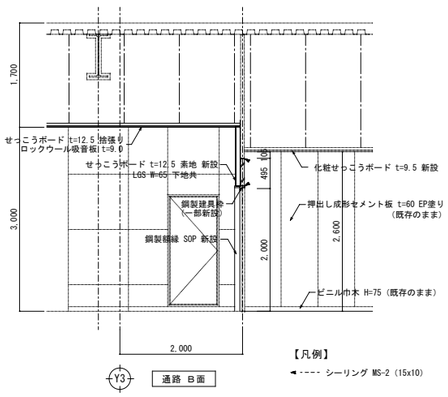
２階平面図 S=1:100



平面図 S=1:30



通路 A面



通路 B面

【凡例】
◄---- シーリング MS-2 (15x10)

２階展開図 S=1:50

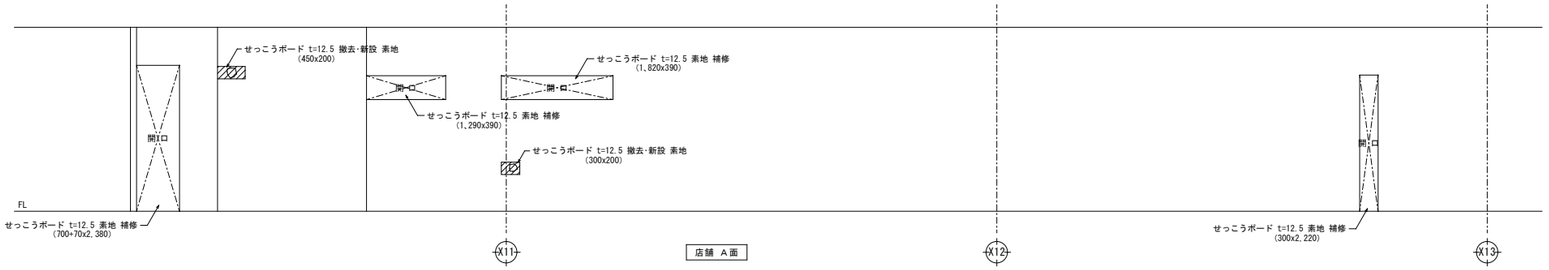
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823　PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所　広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士　第24990号　酒井 宏

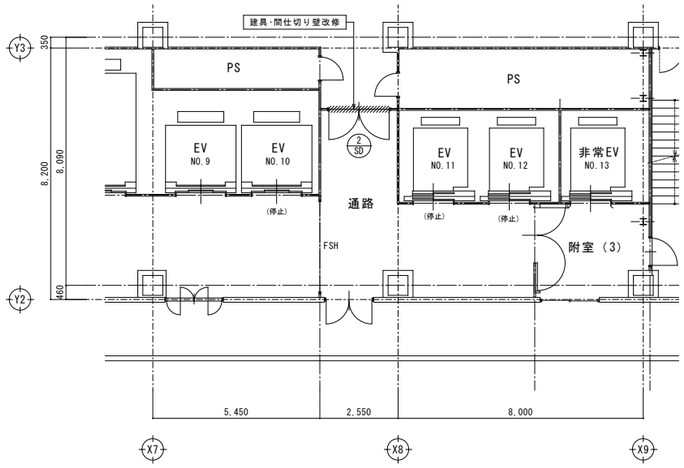
工事名称	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事　2026年 8月	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称	縮尺	図面番号
改修前後　２階平面図（通路・ＥＶホール）天井伏図 展開図	1:50 1:100	A-29

改修前後



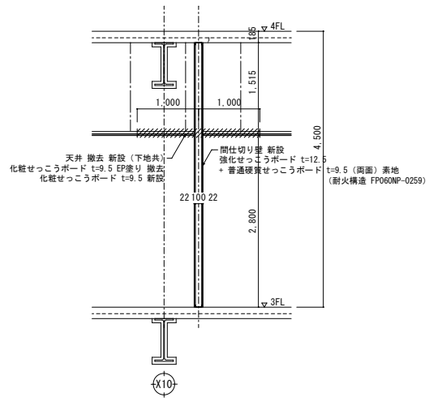
2階展開図 S=1:50

改修前後



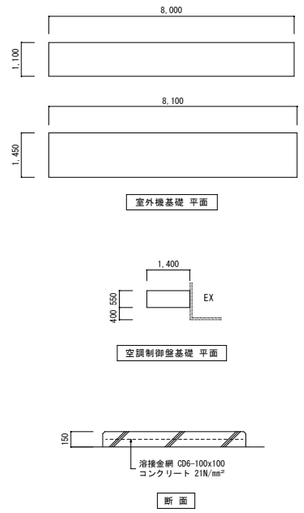
3階平面図 S=1:100

3階 新設電気室間仕切り壁 S=1:50

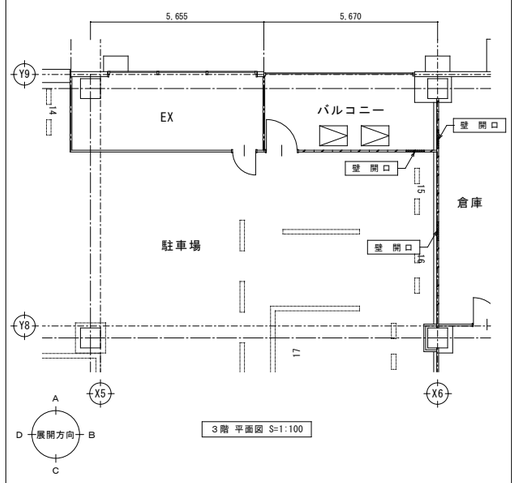


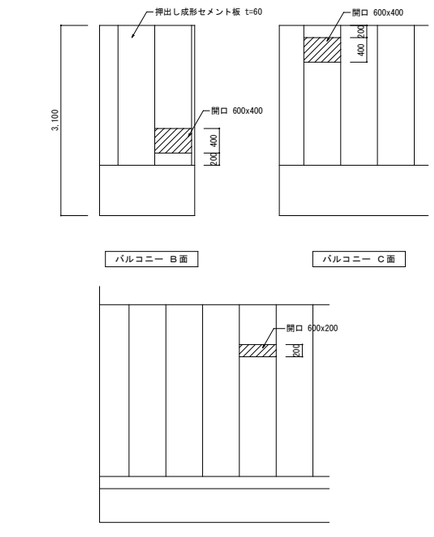
断面詳細図 S=1:50

3階駐車場 室外機基礎、空調制御盤基礎 新設 S=1:30 S=1:200



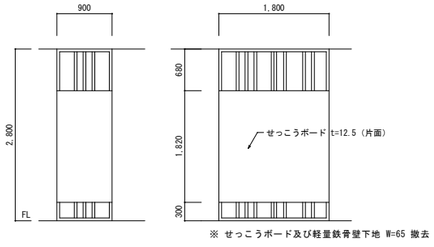
3階バルコニー 壁開口 S=1:50 S=1:100





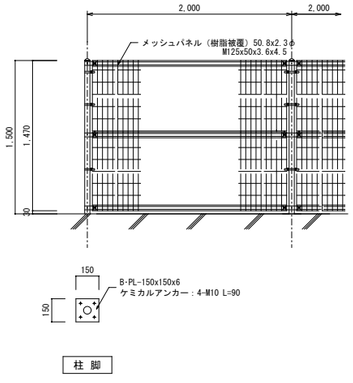
展開図 S=1:50

3階袖壁 撤去 S=1:50

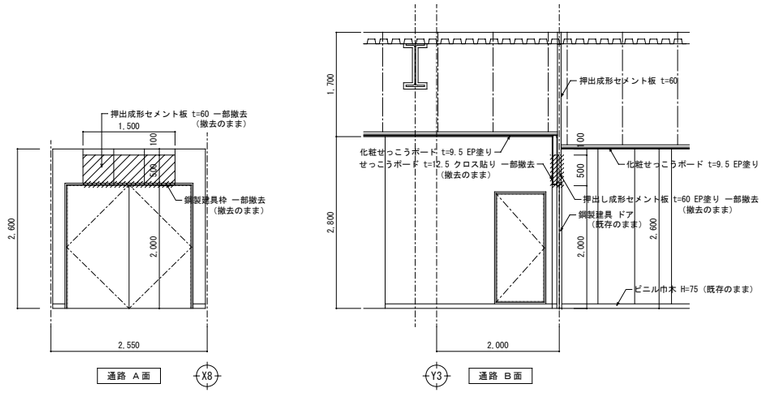


3階袖壁 展開図 S=1:50

3階駐車場 ネットフェンス S=1:30



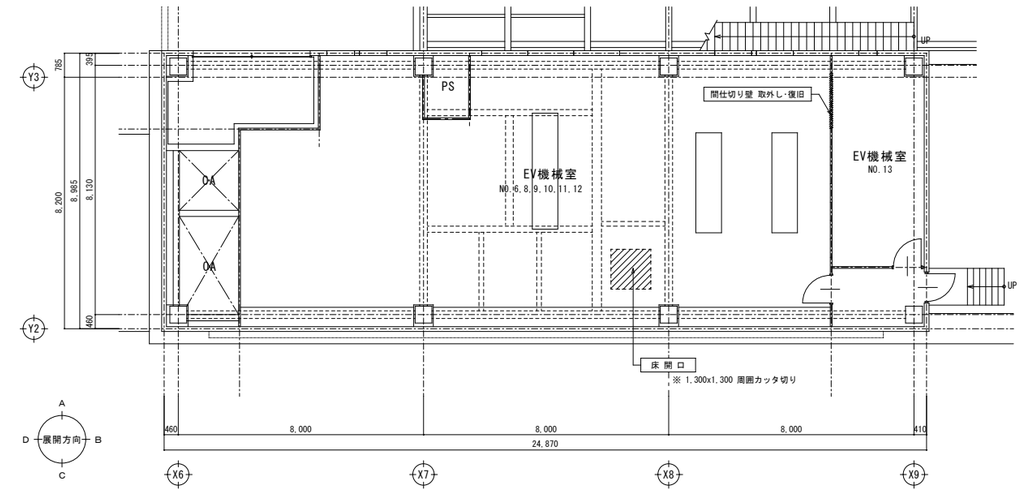
※ 全長 L=19,500（内 W=1,000 片開き戸 1ヶ所含む）
朝日UNフェンス UN-A1500 同等品



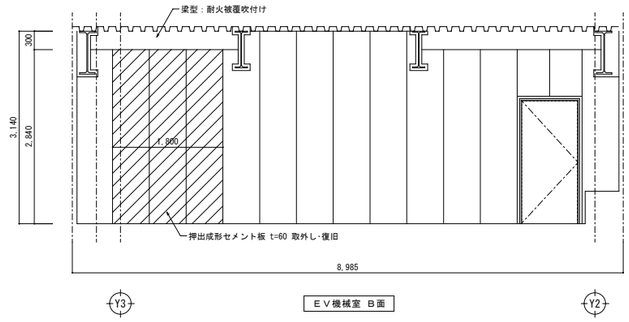
3階展開図 S=1:50

変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 PHONE (084) 953-3282 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前後 3階平面図 断面詳細図 2・3階展開図	縮尺 1:30 1:50 1:100	図面番号 A-30

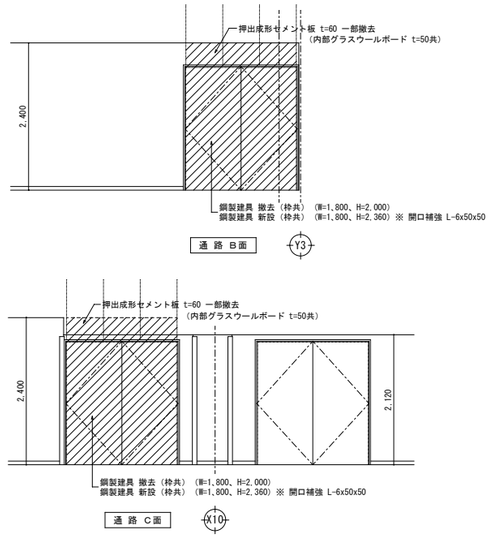
改 修 前 後



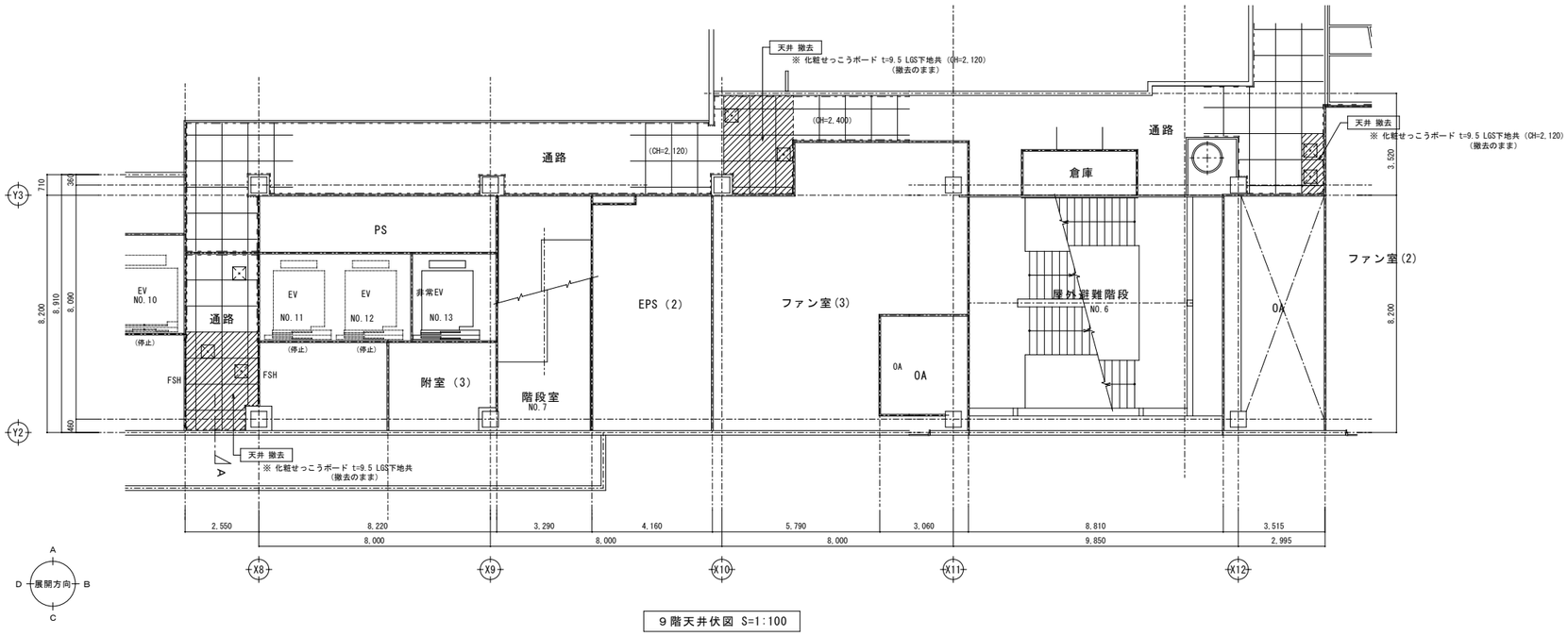
R階平面図 S=1:100



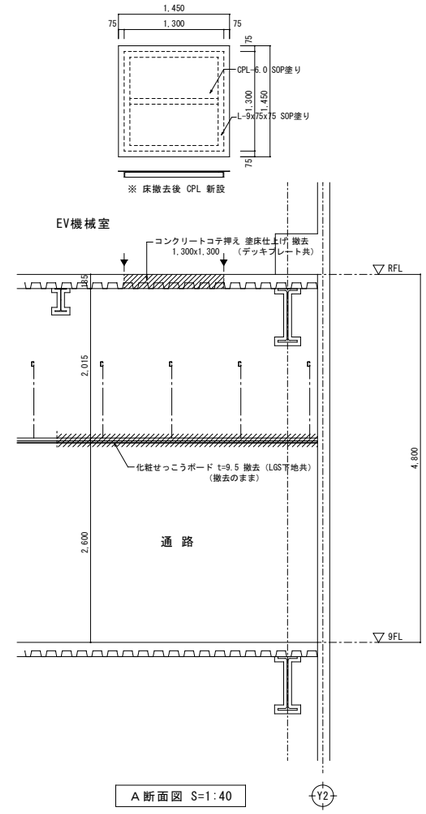
R階展開図 S=1:50



9階展開図 S=1:50



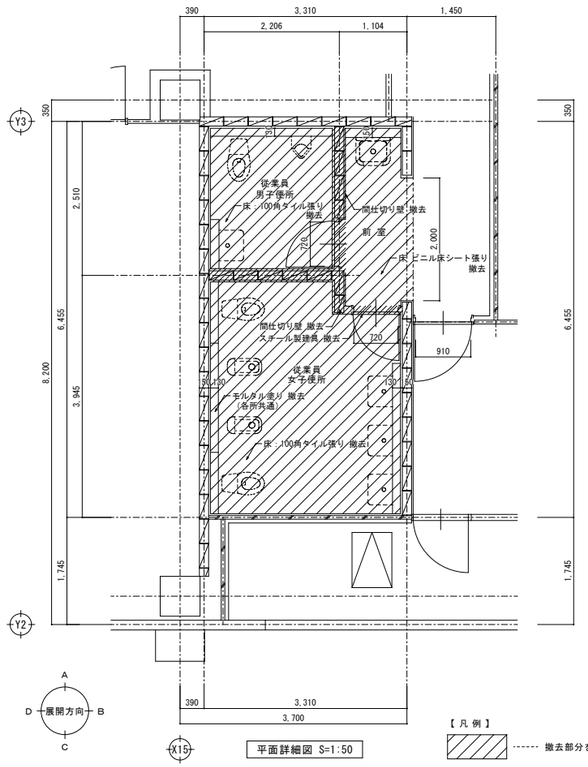
9階天井伏図 S=1:100



A断面図 S=1:40

【凡例】
---- カッター切り部分を示す

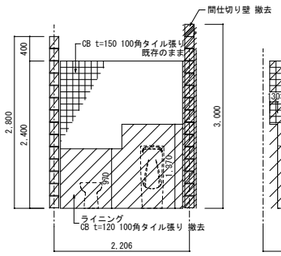
変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 改修前後 9階天井伏図 R階平面図 断面図 展開図	縮 尺 1:40 1:50 1:100	図面番号 A-31



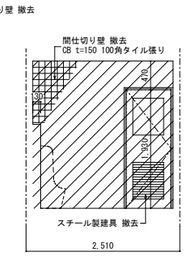
平面詳細図 S=1:50

【凡例】

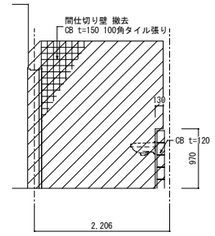
撤去部分を示す



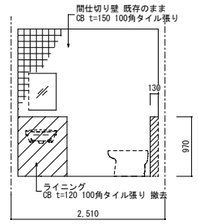
従業員男子便所 A面



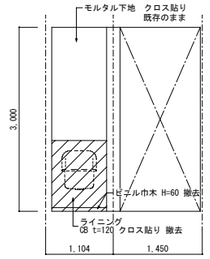
従業員男子便所 B面



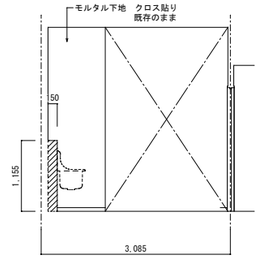
従業員男子便所 C面



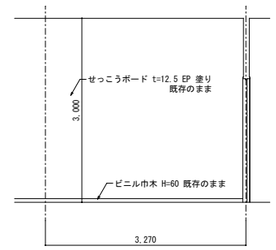
従業員男子便所 D面



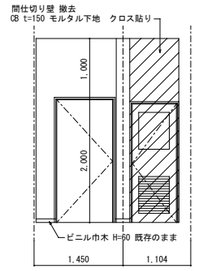
前室 A面



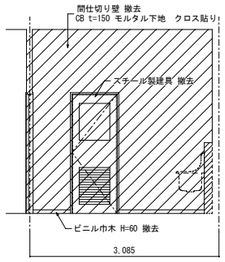
前室 B面



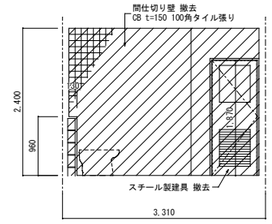
前室 B面



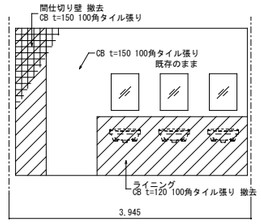
前室 C面



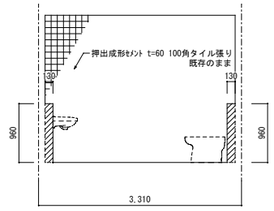
前室 D面



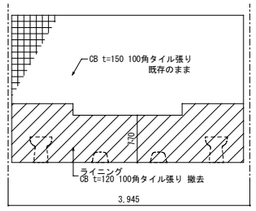
従業員女子便所 A面



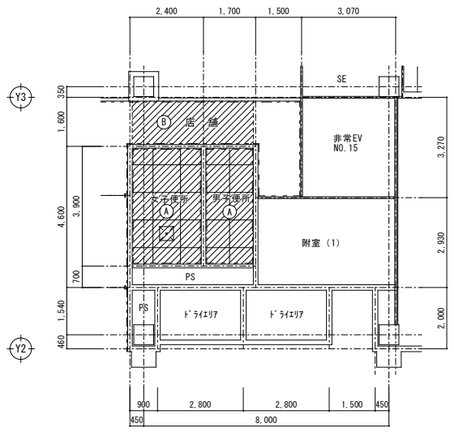
従業員女子便所 B面



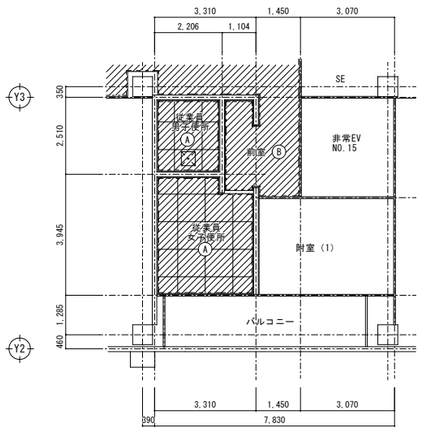
従業員女子便所 C面



従業員女子便所 D面



1階天井伏図 S=1:100

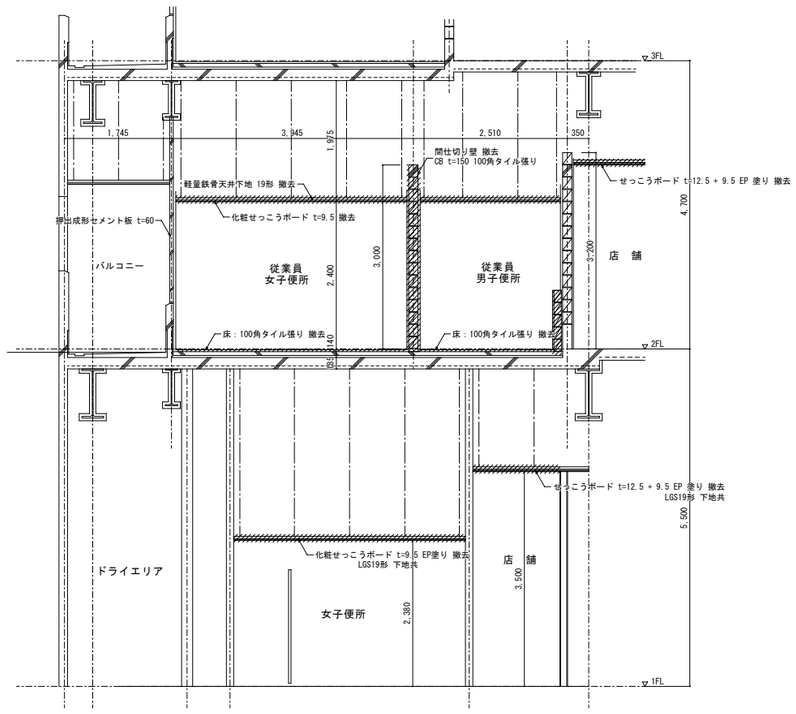


2階天井伏図 S=1:100

〔天井仕上表〕

符号	仕上
Ⓐ	化粧せっこうボード t=9.5 EP塗り
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
	アルミ製天井点検口（450x450）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）

---- 撤去部分を示す（LGS下地共）



断面詳細図 S=1:50

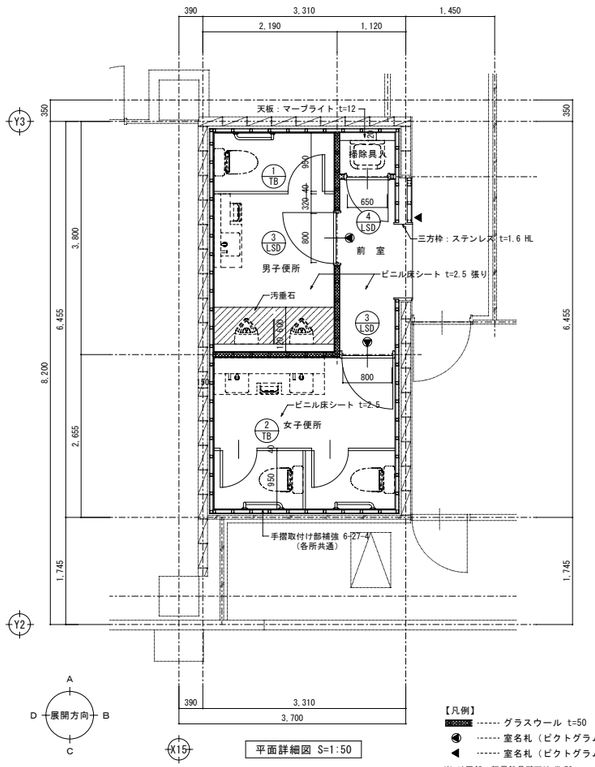
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第24590号 酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事		A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称		縮 尺	図面番号
改修前 2階便所（1）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図		1:50 1:100	A-32

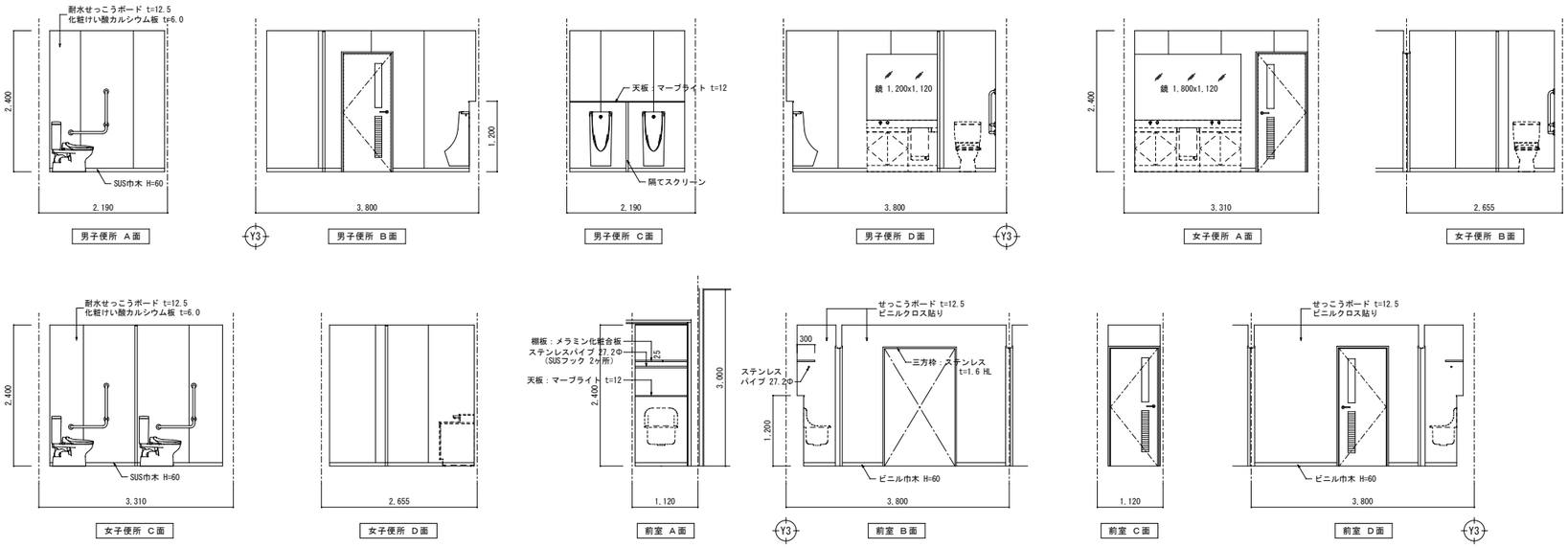
改修後 便所（1）

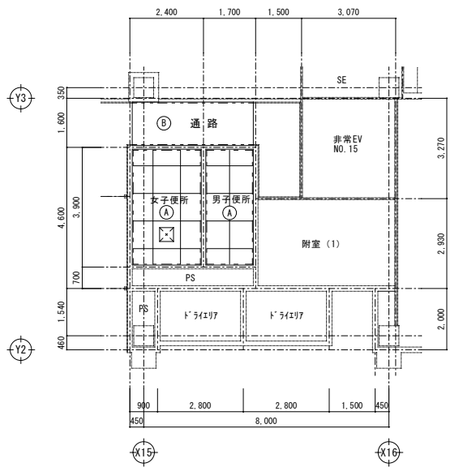


平面詳細図 S=1:50

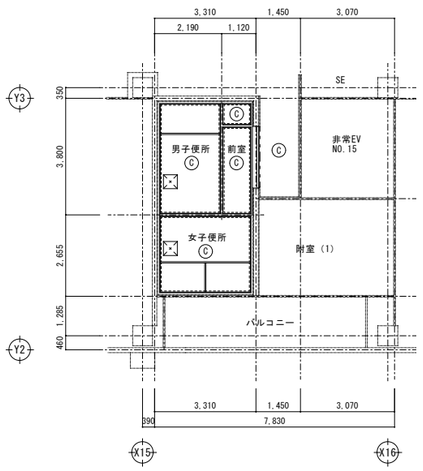
【凡例】
- グラスウール t=50
- 室名札（ピクトグラム 平付）
- 室名札（ピクトグラム 突出）

※ 外周部：軽量鉄骨壁下地 W=50
間仕切：軽量鉄骨壁下地 W=65
L型ステンレス手摺：T113B（TOTO 同等品）
汚垂石：AB611BRTA4#UX#HBB、AB611BRTA4#UY#HBB、AY31×2（TOTO 同等品）





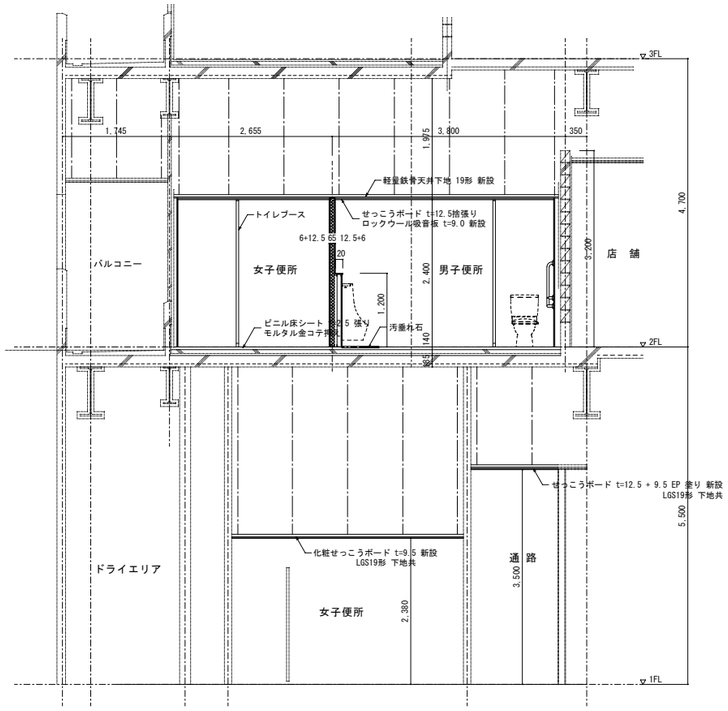
1階天井伏図 S=1:100



2階天井伏図 S=1:100

〔天井仕上表〕

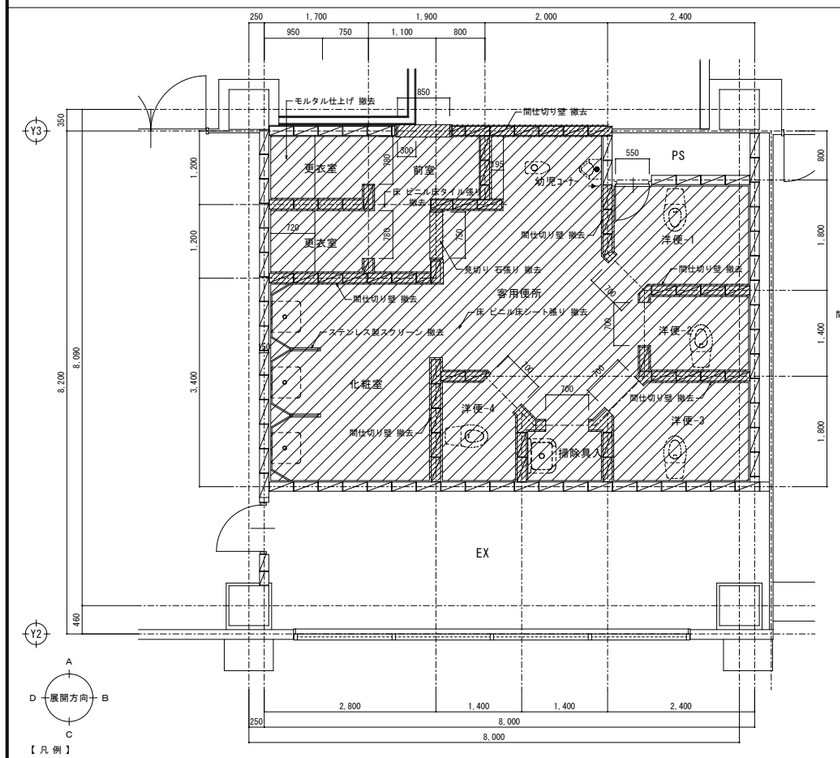
符号	仕上
Ⓐ	化粧せっこうボード t=9.5
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
Ⓒ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=9.0
⊠	アルミ製天井点検口（450x450）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）
------	塩ビ製 廻り縁



断面詳細図 S=1:50

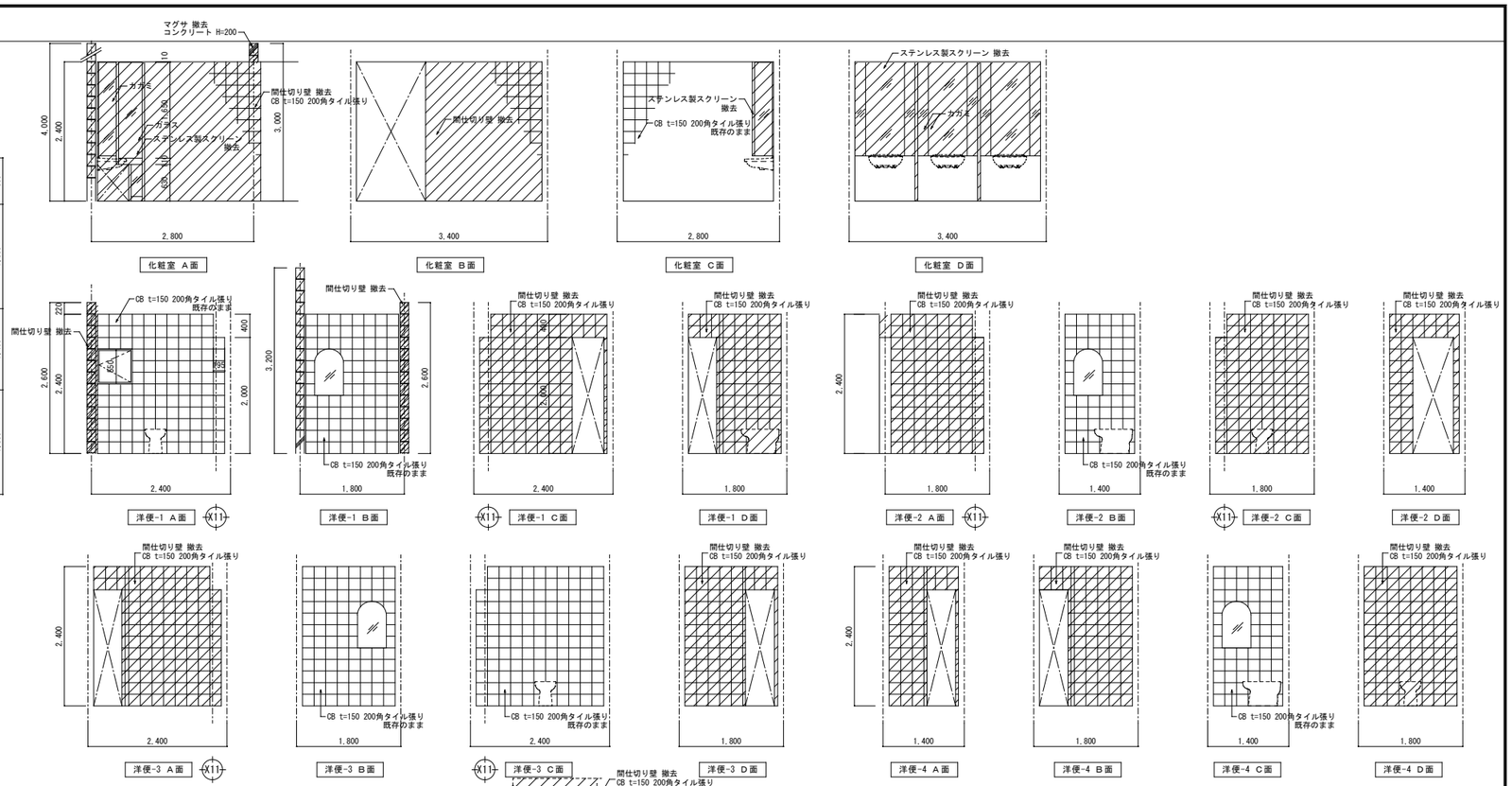
変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計	工事名称	縮尺率	工事種別
		〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
			図面名称 改修後 2階便所（1）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	縮 尺 1:50 1:100	図面番号 A-33

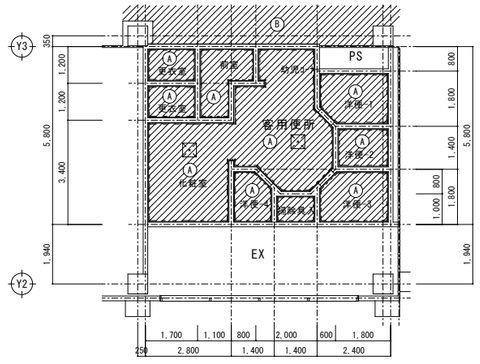
改修前 便所（2）



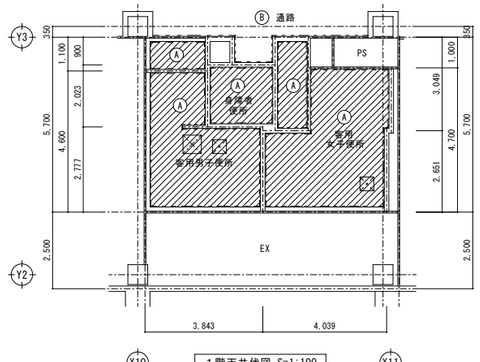
平面詳細図 S=1:50

【凡例】
撤去部分を示す
カッター切り部分を示す





２階天井伏図 S=1:100

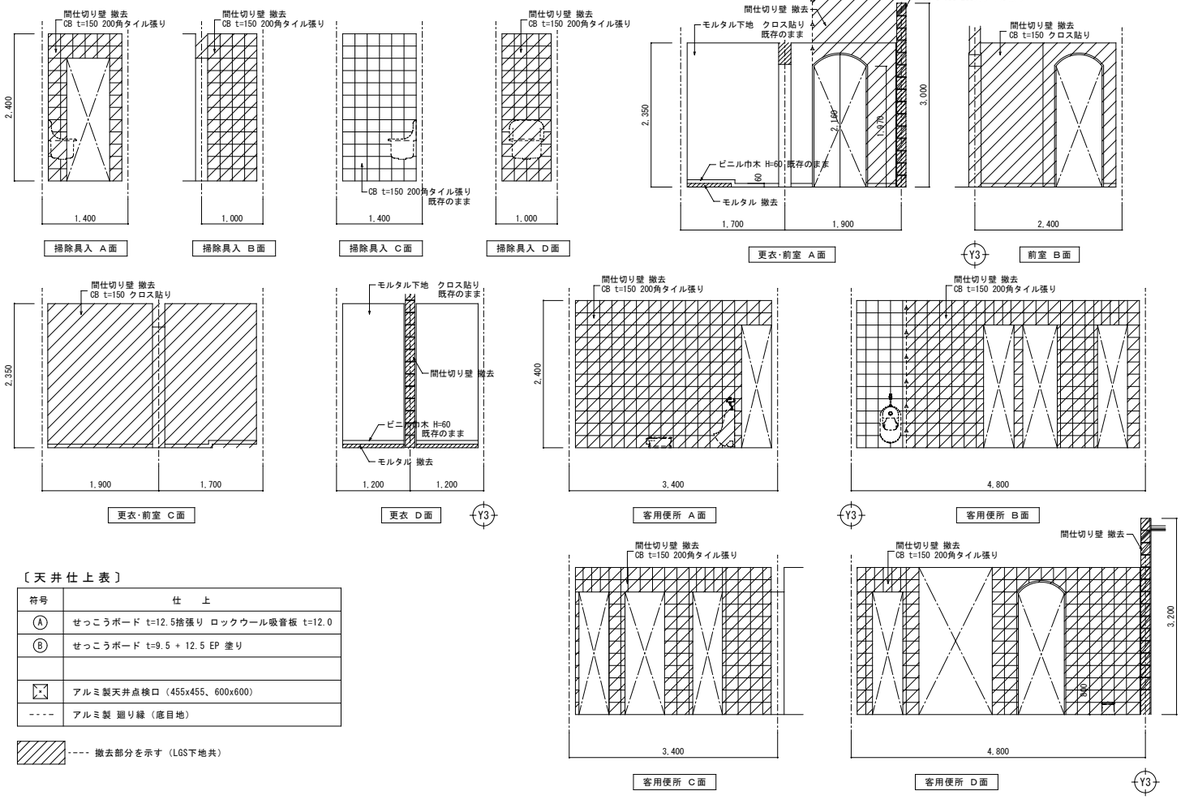


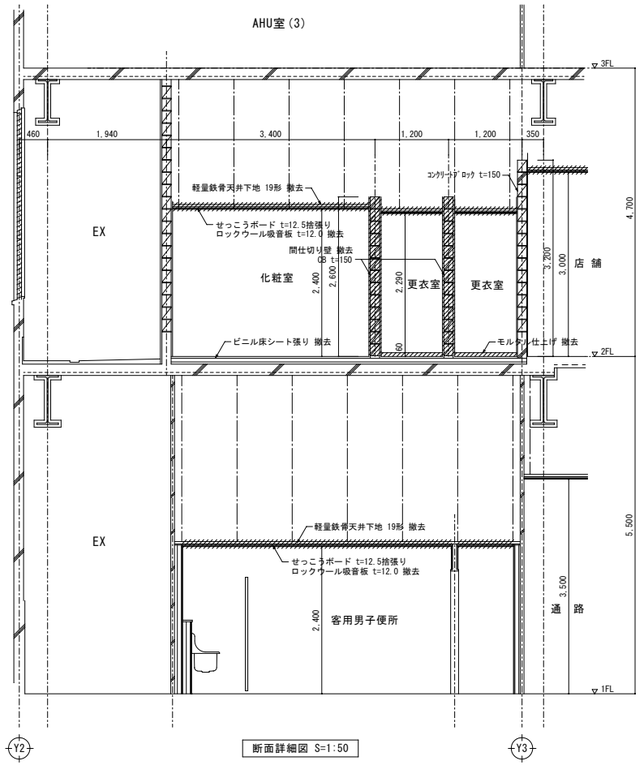
１階天井伏図 S=1:100

〔天井仕上表〕

符号	仕上
Ⓐ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=12.0
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
⊠	アルミ製天井点検口（455x455、600x600）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）

撤去部分を示す（LGS下地共）





断面詳細図 S=1:50

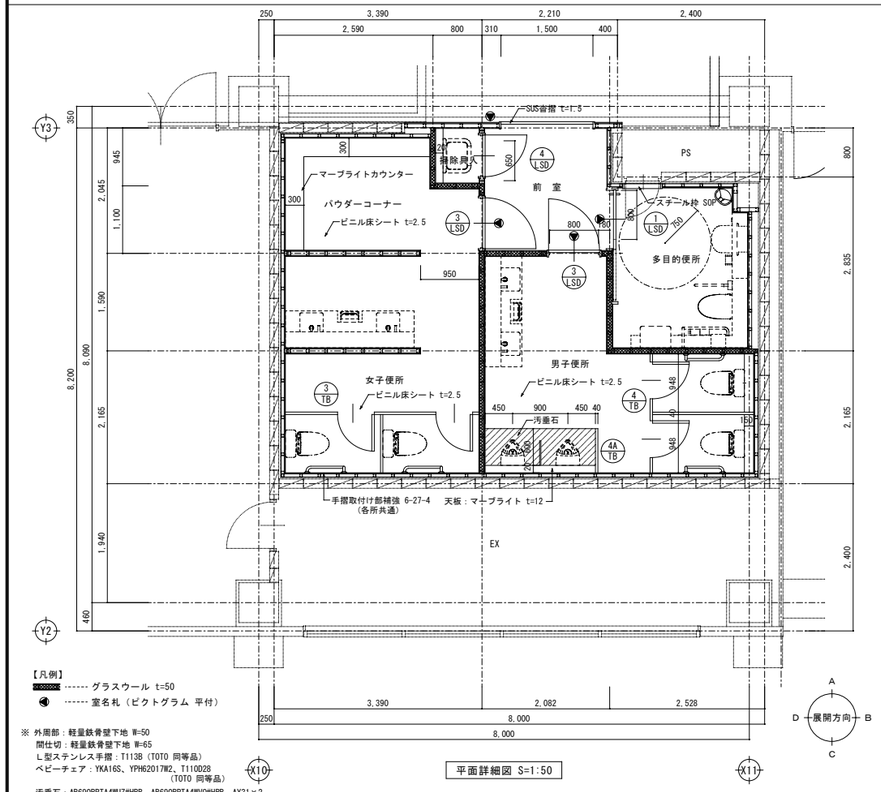
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE (084) 953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
リムふくやま本館改修工事			
図面名称 改修前 ２階便所（２）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図		縮尺 1:50 1:100	図面番号 A-34

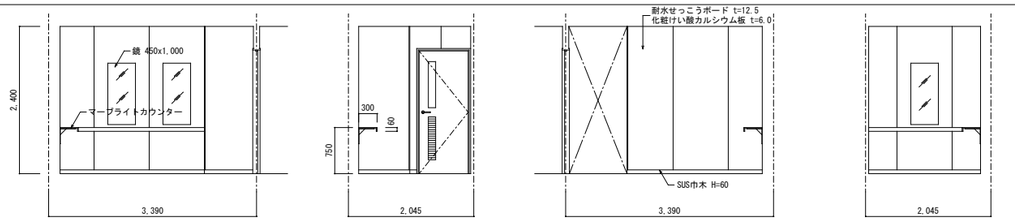
改修後 便所（2）



【凡例】
------ グラスウール t=50
------ 室名札（ピクトグラム 平付）

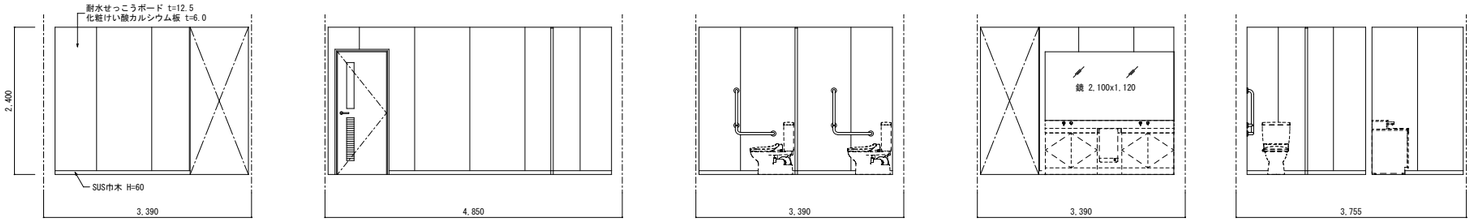
※ 外周部：軽量鉄骨壁下地 W=50
間仕切：軽量鉄骨壁下地 W=65
L型ステンレス手摺：T113B（TOTO 同等品）
ベビーチェア：YKA16S、YPH62017W2、T110D28
（TOTO 同等品）
汚垂石：AB690BRTA4WUZ#HBB、AB690BRTA4WVO#HBB、AY31×2
（TOTO 同等品）

平面詳細図 S=1:50

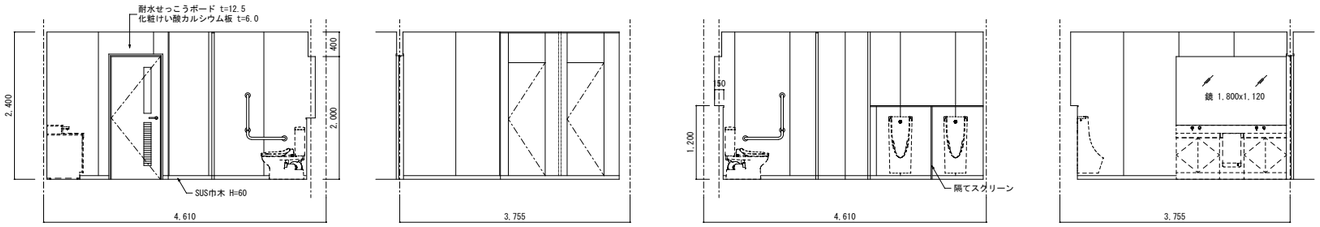


パウダーコーナー A面　パウダーコーナー B面

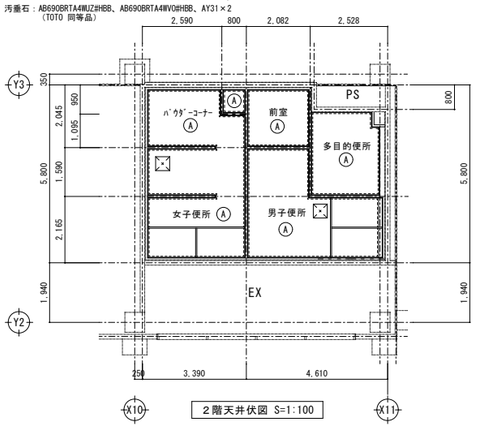
パウダーコーナー C面　パウダーコーナー D面



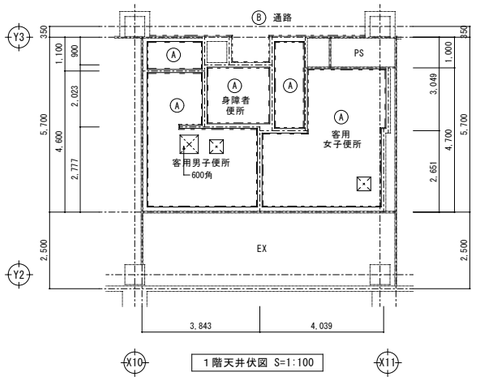
女子便所洗面 A面　女子便所 B面　女子便所 C面　女子便所・洗面 C面　女子便所・洗面 D面



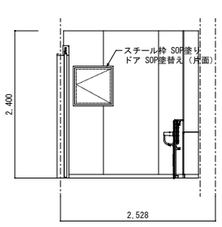
男子便所 A面　男子便所 B面　男子便所 C面　男子便所 D面



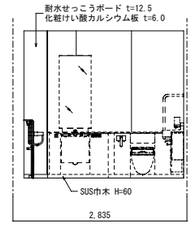
２階天井伏図 S=1:100



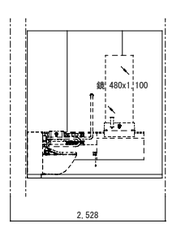
１階天井伏図 S=1:100



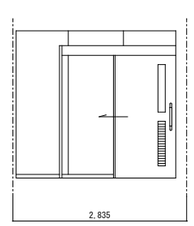
多目的便所 A面



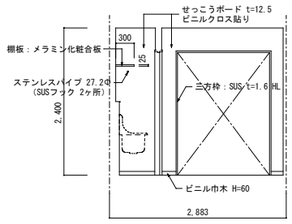
多目的便所 B面



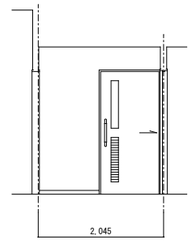
多目的便所 C面



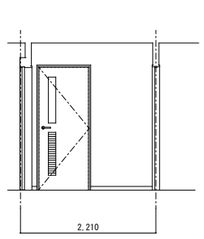
多目的便所 D面



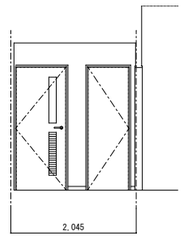
前室 A面



前室 B面



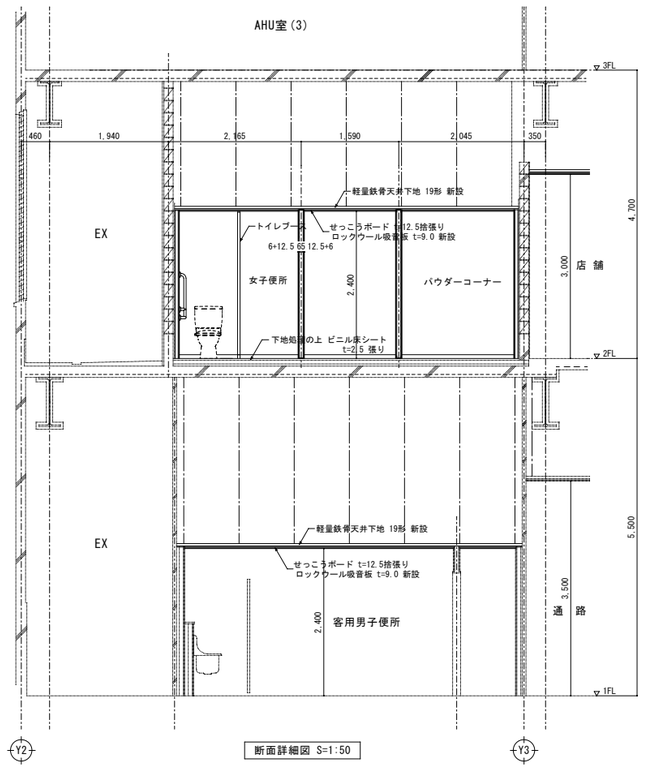
前室 C面



前室 D面

〔天井仕上表〕

符号	仕上
Ⓐ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=9.0
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
⊠	アルミ製天井点検口（450x450）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）
------	塩ビ製 廻り縁



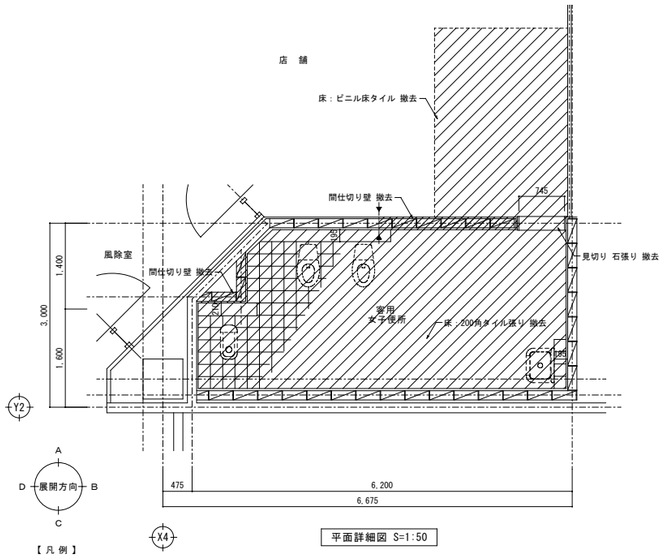
断面詳細図 S=1:50

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 PHONE (084) 953-3282
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

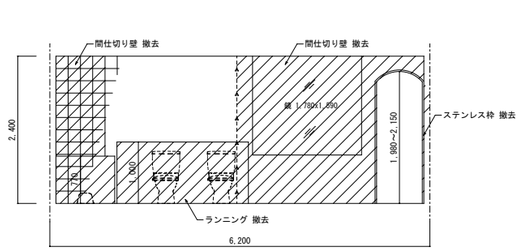
工事名称	2026年 8月	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事		A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称：改修後 ２階便所（２）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図		縮尺 1:50 1:100	図面番号 A-35



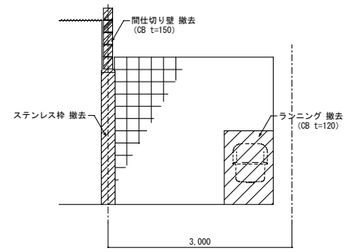
平面詳細図 S=1:50

【凡例】

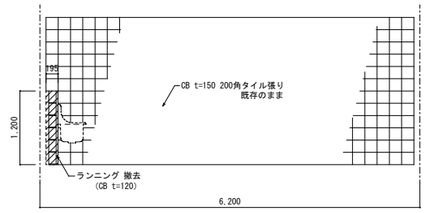
- カッター切り部分を示す
- 撤去部分を示す



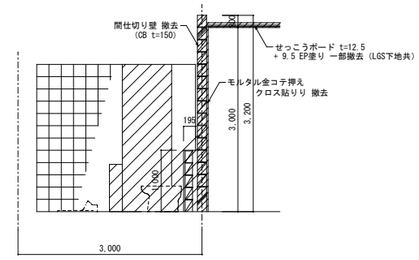
客用女子便所 A面



客用女子便所 B面

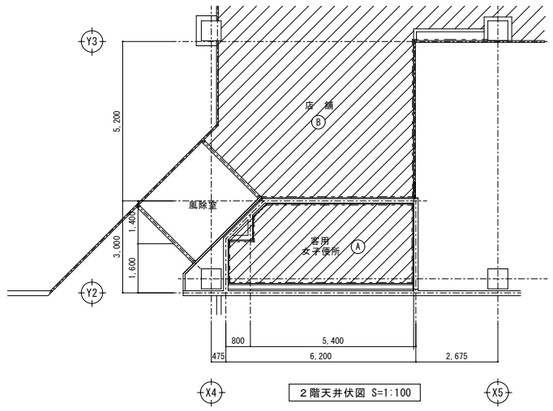


客用女子便所 C面

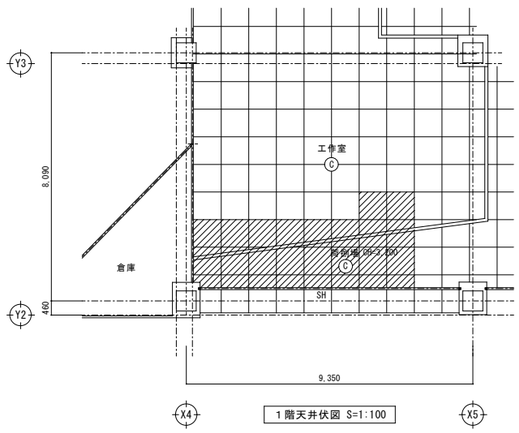


客用女子便所 D面

展開図 S=1:50



２階天井伏図 S=1:100

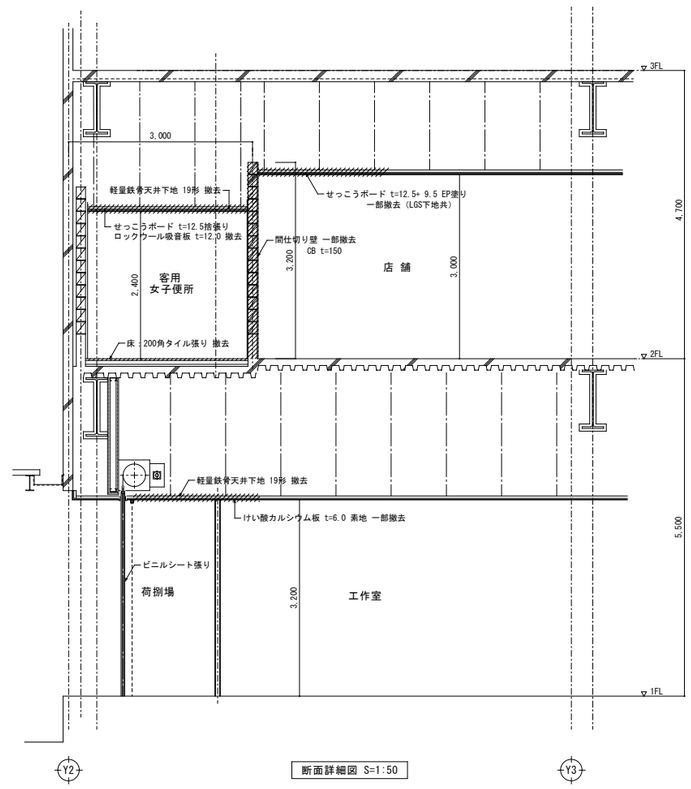


１階天井伏図 S=1:100

〔天井仕上表〕

符号	仕　上
Ⓐ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=12.0
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
Ⓒ	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地
⊠	アルミ製天井点検口（450x450）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）

---- 撤去部分を示す（LGS下地共）



断面詳細図 S=1:50

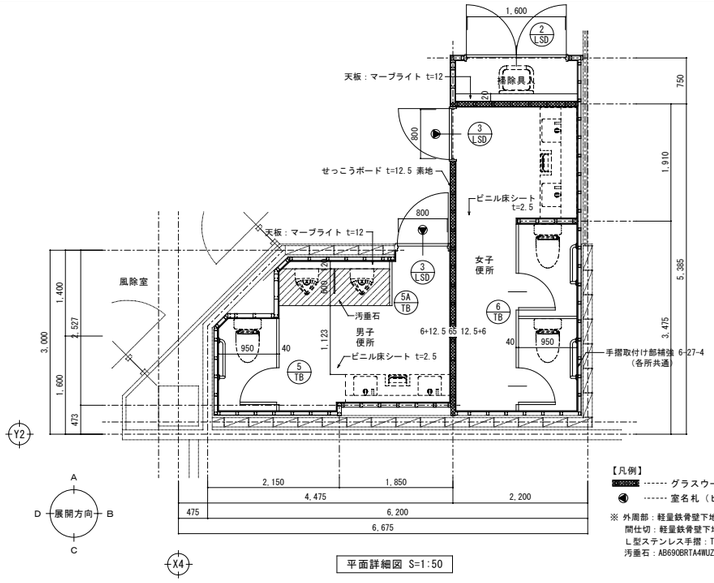
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

工事名称	2026年 8月	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事		A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称 改修前 ２階便所（３）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図		縮 尺 1:50 1:100	図面番号 A-36

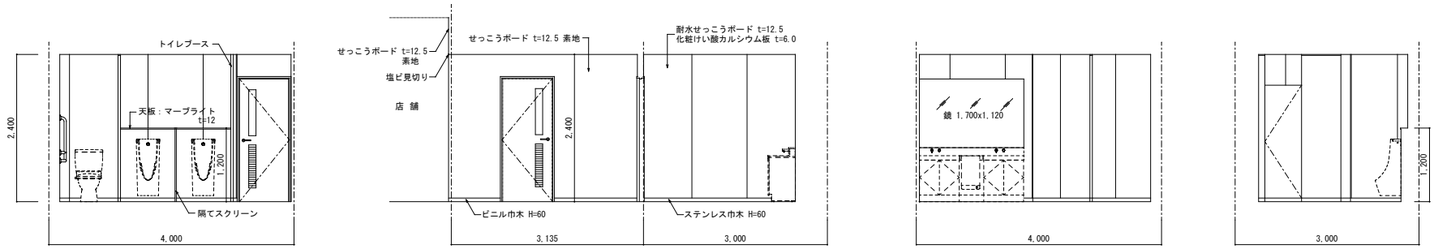
改修後 便所（3）



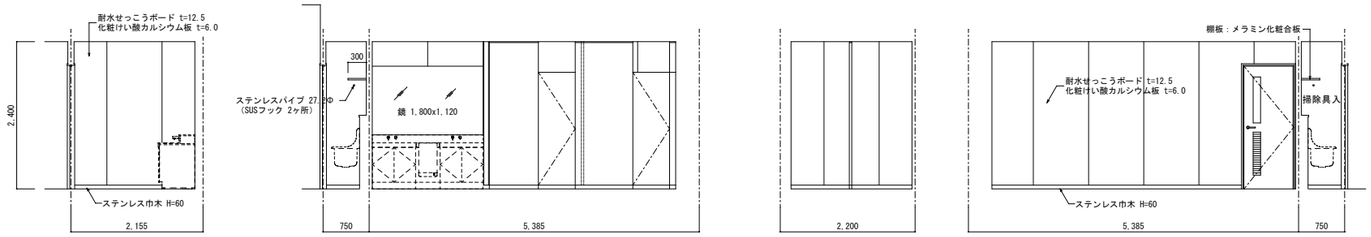
平面詳細図 S=1:50

【凡例】
------ グラスウール t=50
------ 室名札（ピクトグラム 平付）

※ 外周部：軽量鉄骨壁下地 W=50
間仕切：軽量鉄骨壁下地 W=65
L型ステンレス手摺：T113B（TOTO 同等品）
汚垂石：AB690BRTA4WUZ#HBB、AB690BRTA4WV0#HBB、AY31×2（TOTO 同等品）

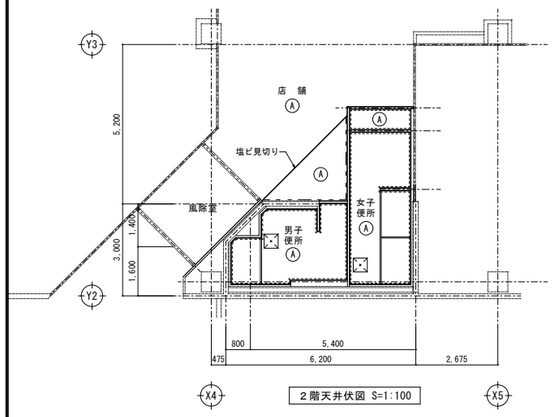


男子便所 A面　店舗 B面　男子便所 B面　男子便所 C面　男子便所 D面

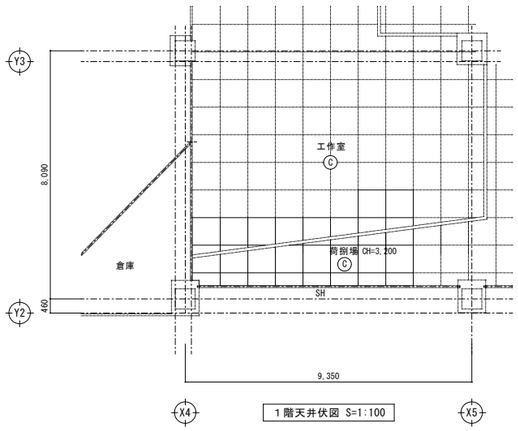


女子便所 A面　女子便所 B面　女子便所 C面　女子便所 D面

展開図 S=1:50



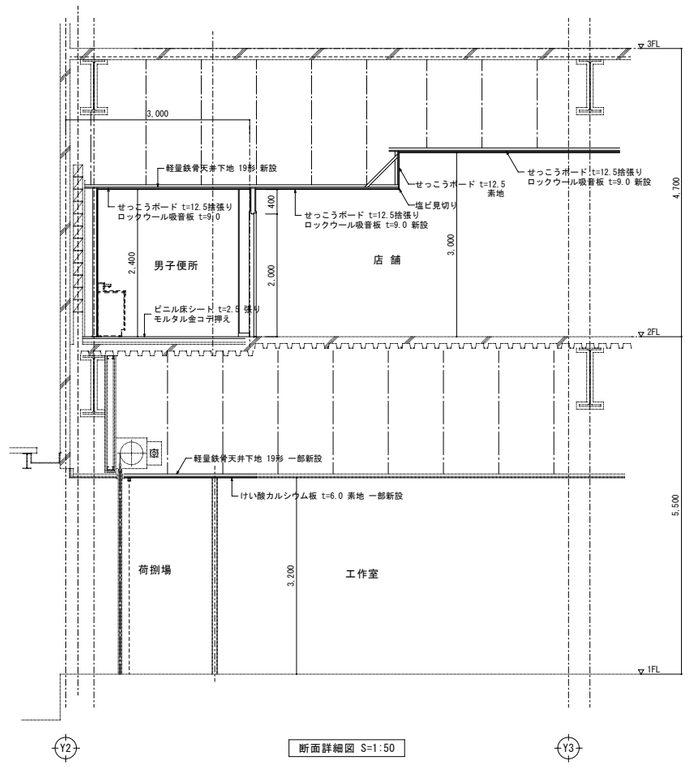
2階天井伏図 S=1:100



1階天井伏図 S=1:100

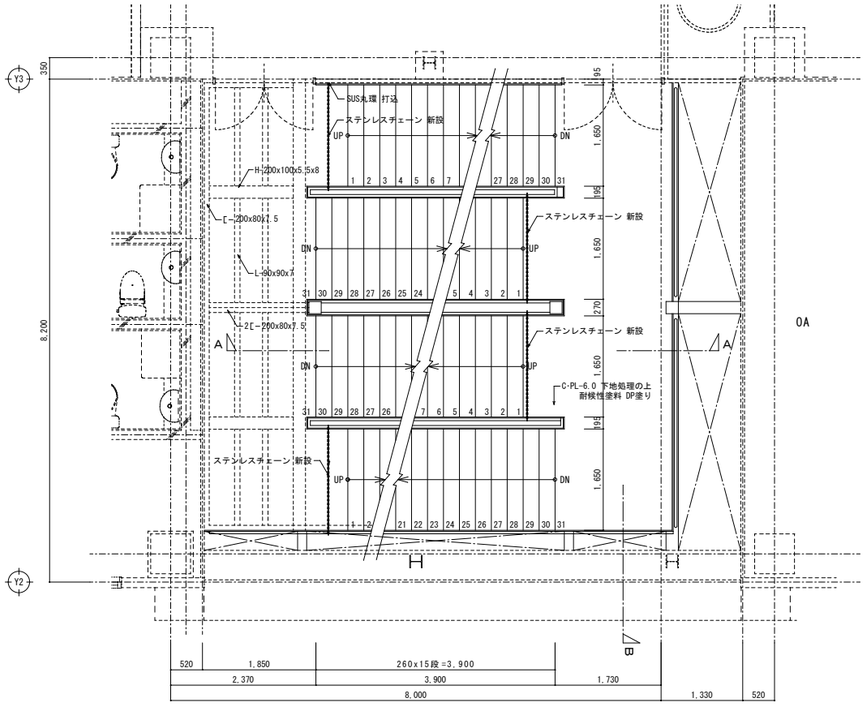
〔天井仕上表〕

符号	仕上
Ⓐ	せっこうボード t=12.5捨張り ロックウール吸音板 t=9.0
Ⓑ	せっこうボード t=9.5 + 12.5 EP 塗り
Ⓒ	けい酸カルシウム板 t=6.0 素地
⊠	アルミ製天井点検口（450x450）
----	アルミ製 廻り縁（底目地）
------	塩ビ製 廻り縁

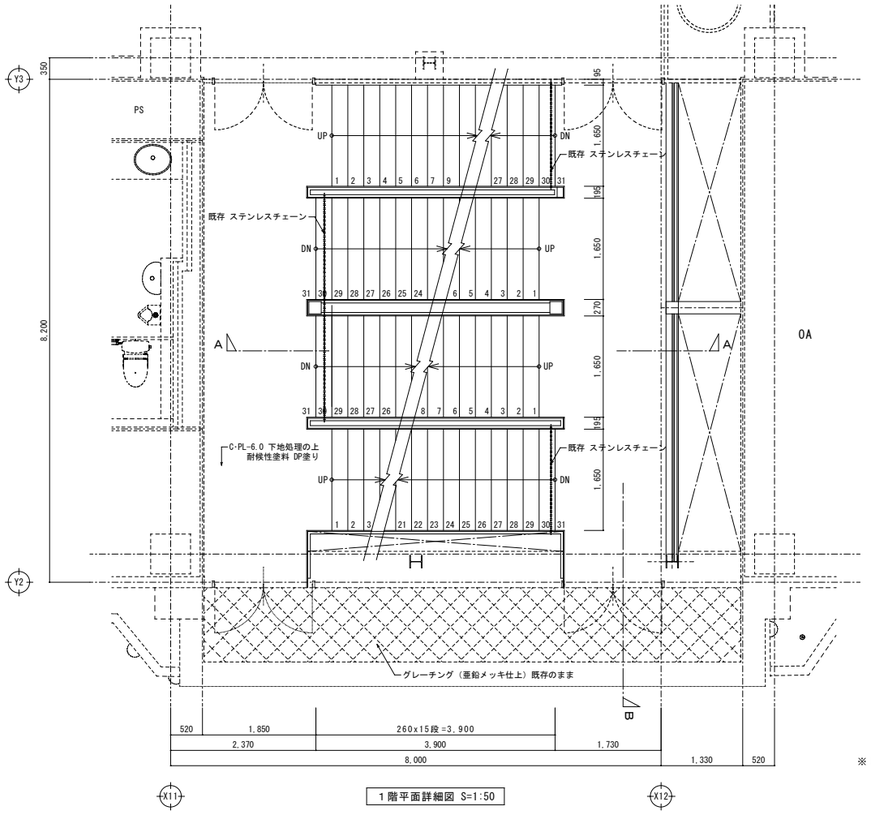


断面詳細図 S=1:50

変更年月日・変更事項					
福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第24990号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠	
		図面名称 改修後 2階便所（3）平面詳細図 断面詳細図 展開図 天井伏図	縮尺 1:50 1:100	図面番号 A-37	

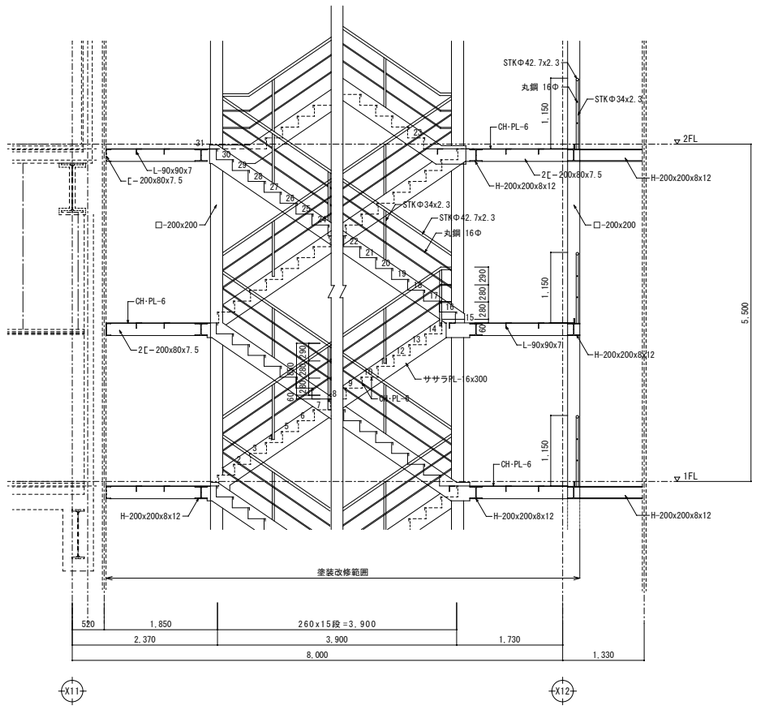


２階平面詳細図 S=1:50

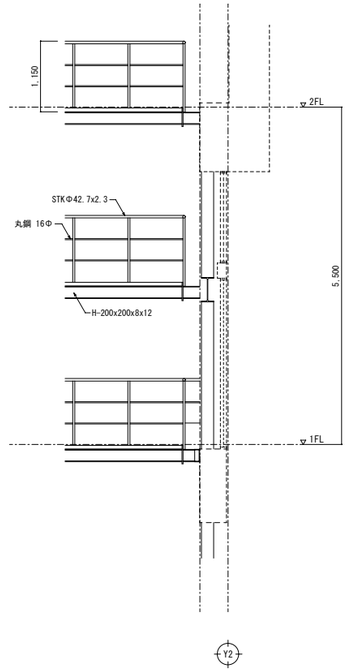


１階平面詳細図 S=1:50

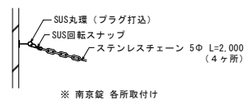
※ 屋外階段塗装改修：地上１階～地上２階まで
耐候性塗料 DP塗り
下地処理 RB種



Ａ－Ａ 断面詳細図 S=1:50

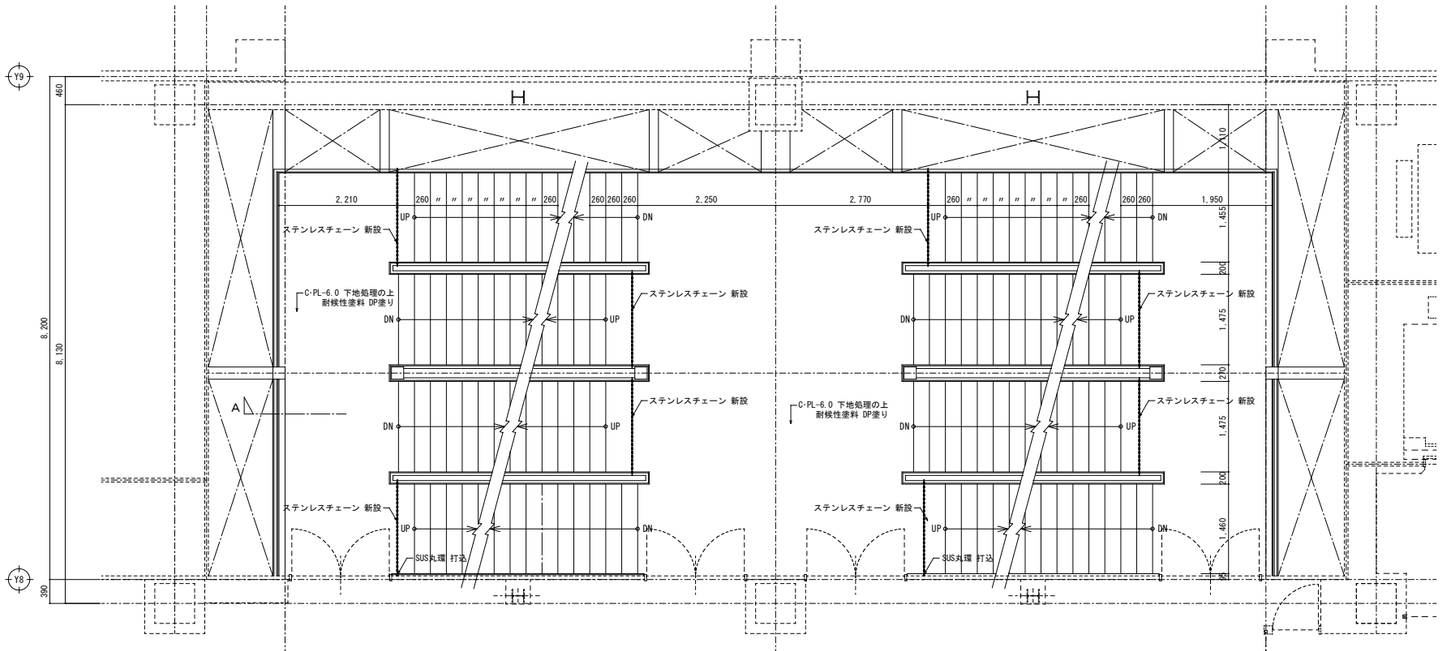


Ｂ 断面詳細図 S=1:50

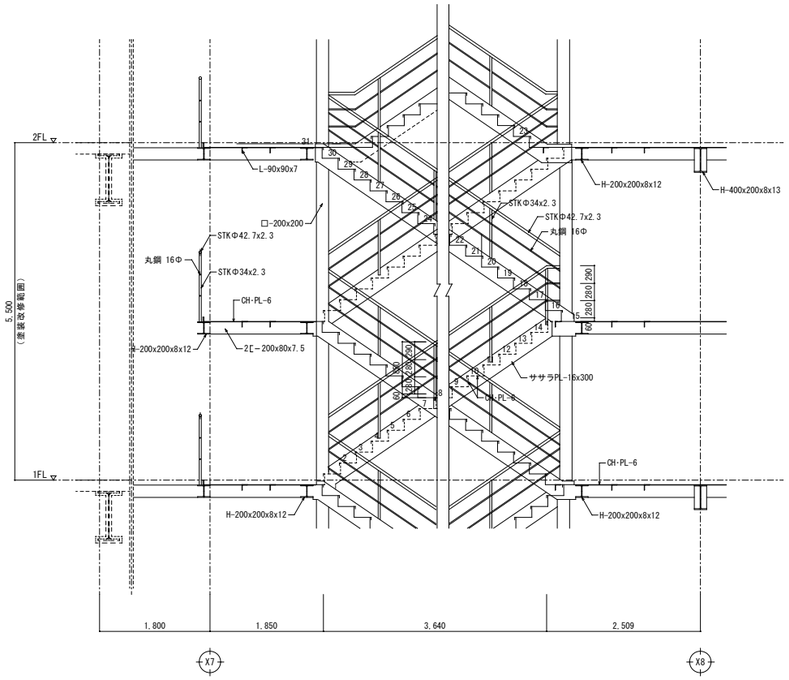


※ 南京錠 各所取付け

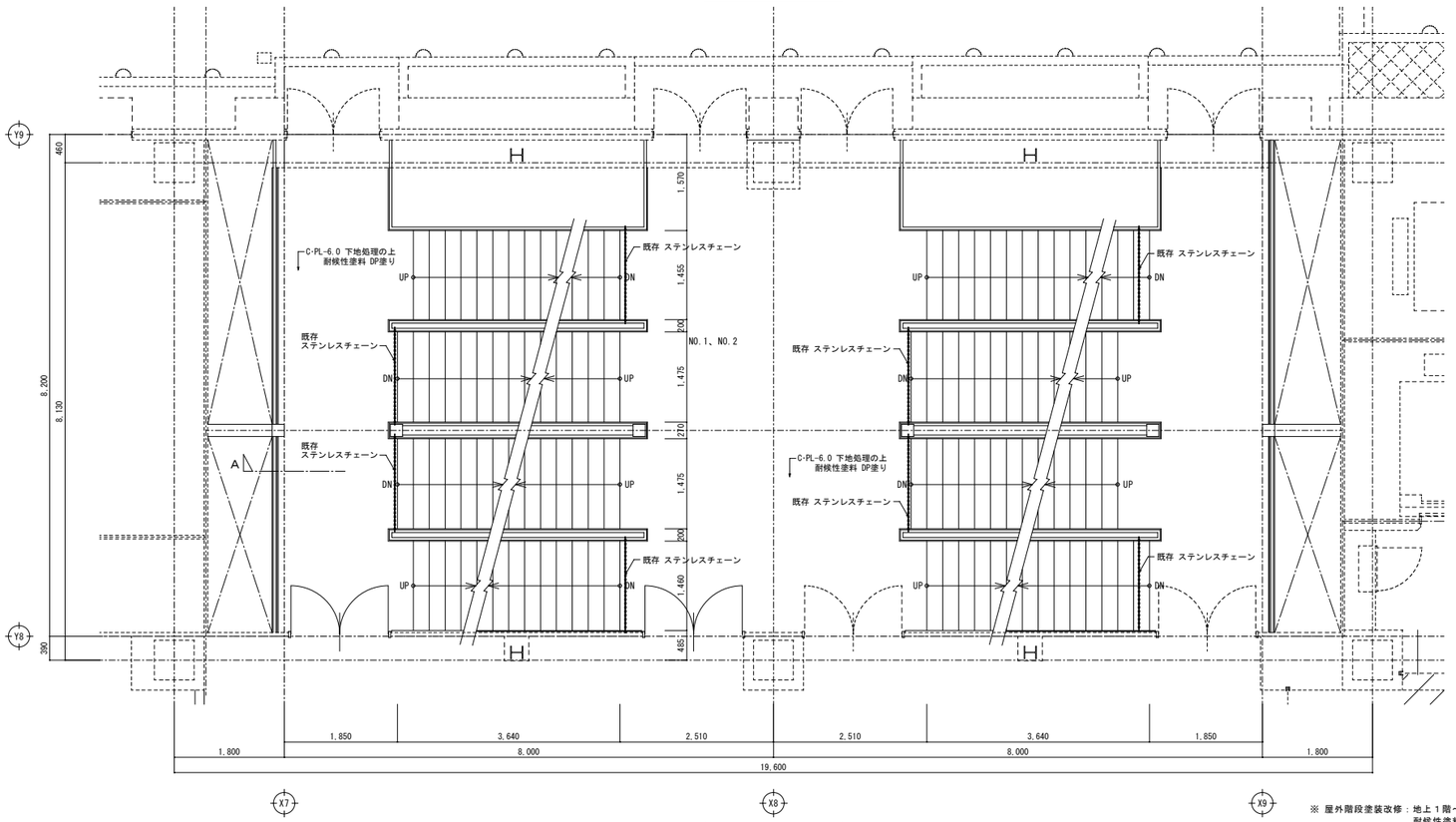
変更年月日・変更事項	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE(084)953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 2026年 8月 リムふくやま本館改修工事	縮尺率 A-1：100% A-2： 71% A-3： 50%	工事種別 意匠
			図面名称 屋外避難階段 No.6 平面詳細図 断面詳細図	縮 尺 1:50	図面番号 A-38



2階平面詳細図 S=1:50

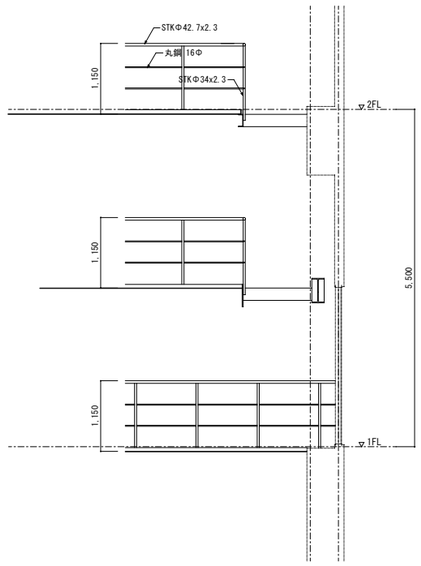


A 断面詳細図 S=1:50

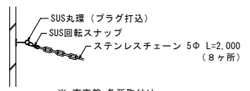


1階平面詳細図 S=1:50

※ 屋外階段塗装改修：地上１階～地上２階まで
耐候性塗料 DP塗り
下地処理 RB種

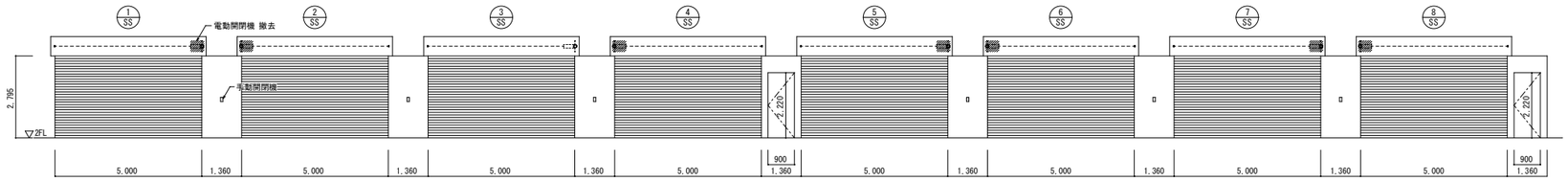
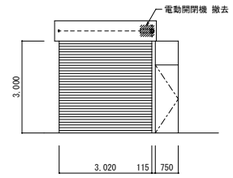


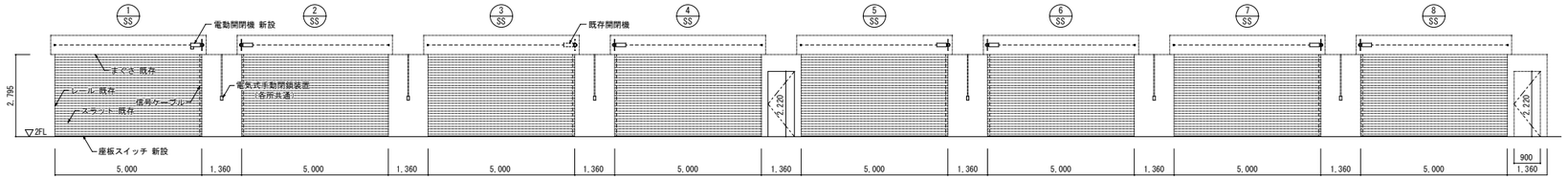
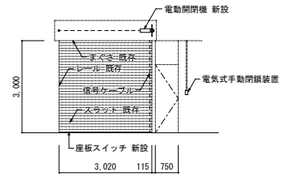
B 断面詳細図 S=1:50

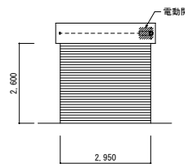
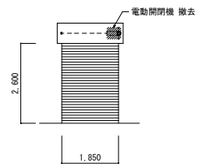
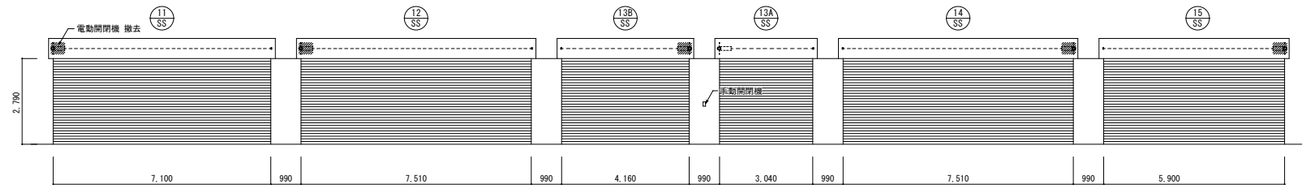


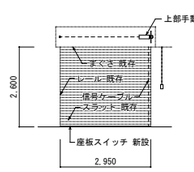
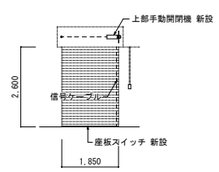
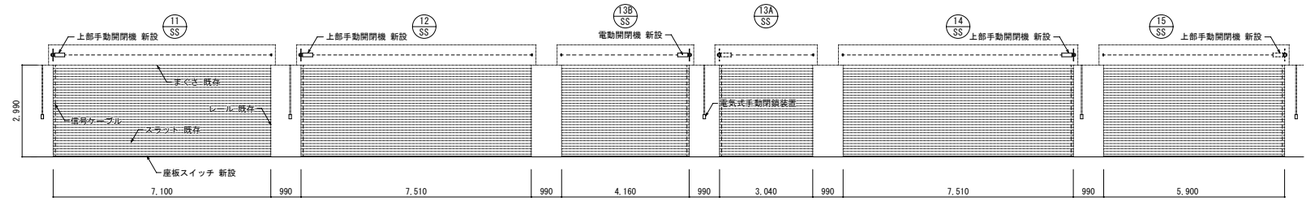
※ 南京錠 各所取付け

変更年月日・変更事項					
	福山市建設局建築部営繕課	株式会社 佐藤設計 〒720-0823 PHONE (084) 953-3282 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号 一級建築士 第248907号 酒井 宏	工事名称 リムふくやま本館改修工事 2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
			図面名称 屋外避難階段 No.1・2 平面詳細図 断面詳細図	縮 尺 1:50	図面番号 A-39

符号 数量	1/SS ～ 8/SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）	9/SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）
姿　図		
室　名	２階吹抜	２階ＥＶホール（4）
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考		

符号 数量	1/SS ～ 8/SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）	9/SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）
姿　図		
室　名	２階吹抜	２階ＥＶホール（4）
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考	SS-1･2,SS-4～8　重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置 SS-3　リミットスイッチ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置	重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置

符号 数量	10A/SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）	10B/SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）	11/SS ～ 15/SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）
姿　図			
室　名	２階通路	２階通路	２階店舗
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ
塗　装	——	——	——
硝　子	——	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備　考			

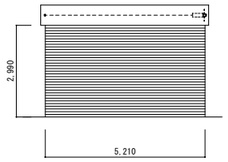
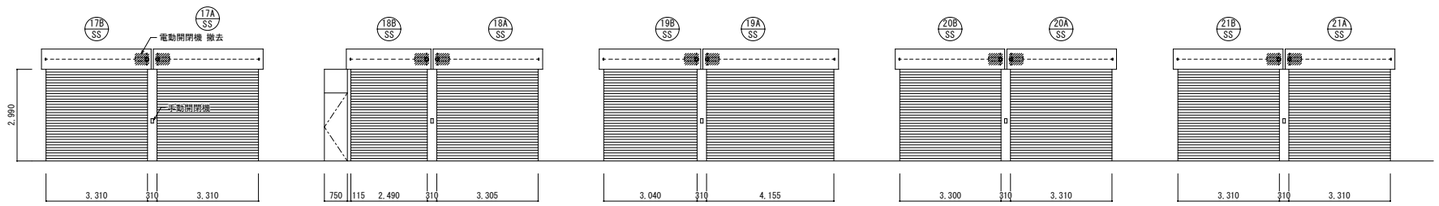
符号 数量	10A/SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）	10B/SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）	11/SS ～ 15/SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）
姿　図			
室　名	２階通路	２階通路	２階店舗
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）
塗　装	——	——	——
硝　子	——	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備　考	上部手動式開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ 危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、 自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置	上部手動式開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ 危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、 自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置	SS-11･12,14,15　上部手動式開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）特注 ２分割仕様、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置 SS-13A　リミットスイッチ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置 SS-13B　重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置

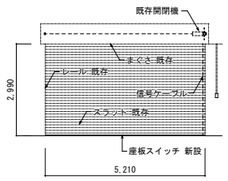
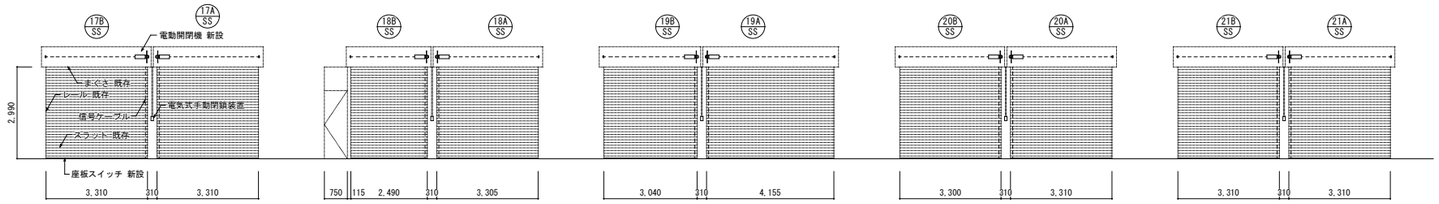
変更年月日・変更事項

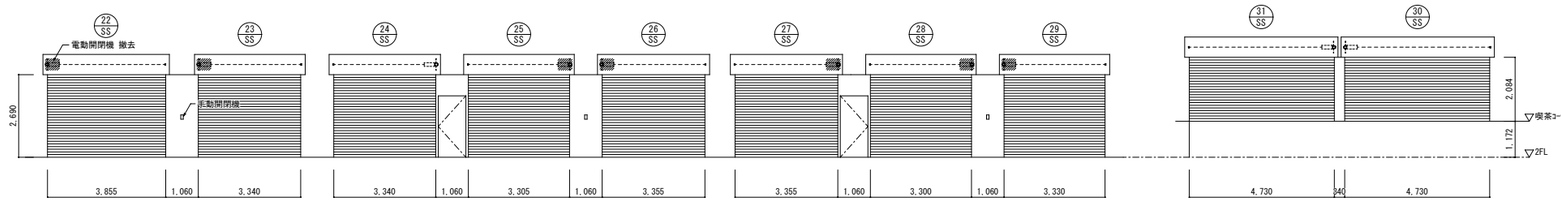
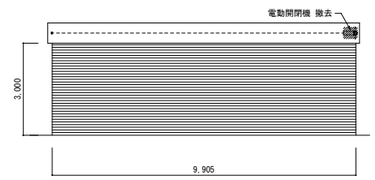
福山市建設局建築部営繕課

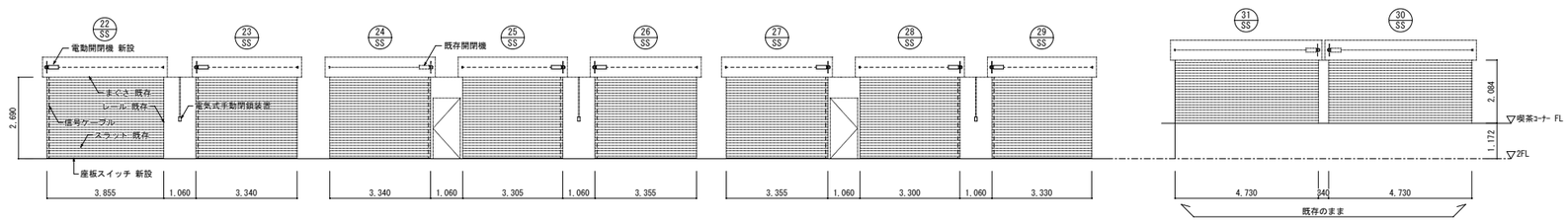
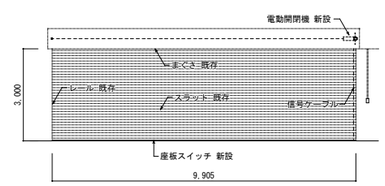
株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏

工事名称	リムふくやま本館改修工事	2026年 8月	縮尺率 A-1：100%　A-2：71%　A-3：50%
工事種別	意匠		
図面名称	改修前後 シャッター建具表 No.1	縮尺	1:100
図面番号	A-40		

符号 数量	16 SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）	17A SS ～ 21B SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）
姿　図		
室　名	２階ＥＶホール（2）	２階エスカレーター廻り
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考		

符号 数量	16 SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）	17A SS ～ 21B SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）
姿　図		
室　名	２階ＥＶホール（2）	２階エスカレーター廻り
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考	リミットスイッチ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置 電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置	重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置

符号 数量	22 SS ～ 31 SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）	32 SS x 1　防火防煙シャッター（改修前）
姿　図		
室　名	２階喫茶コーナー前 吹抜	２階ＥＶホール（1）
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考		

符号 数量	22 SS ～ 31 SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）	32 SS x 1　防火防煙シャッター（改修後）
姿　図		
室　名	２階吹抜	２階ＥＶホール（1）
仕　上	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）	スラット：鋼製 t=1.6　亜鉛メッキ（既存のまま）
塗　装	——	——
硝　子	——	——
金　物	附属金物一式	附属金物一式
備　考	SS-22･23,SS-25～29：重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付用フランジ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置 SS-24：リミットスイッチ、危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置	重量電動開閉機、ローラーチェーン、開閉機取付台、制御盤（別置）、電気式手動閉鎖装置（露出型）、電波式無線信号装置 危害防止用座板スイッチ（ｽﾁｰﾙｶﾊﾞｰ）特注 ２分割仕様、連動中継器、自動復帰形自動閉鎖装置、

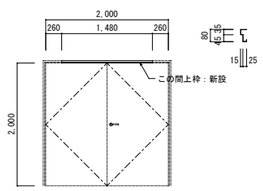
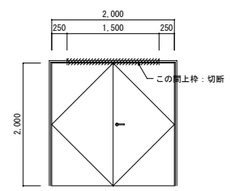
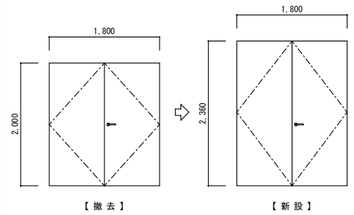
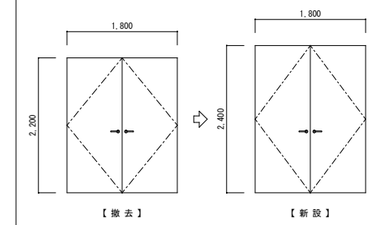
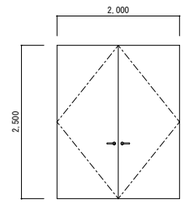
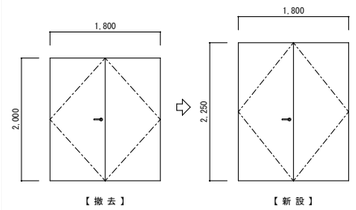
変更年月日・変更事項

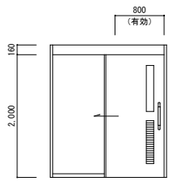
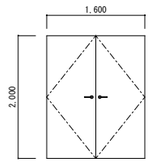
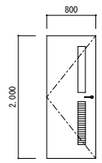
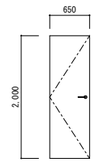
福山市建設局建築部営繕課

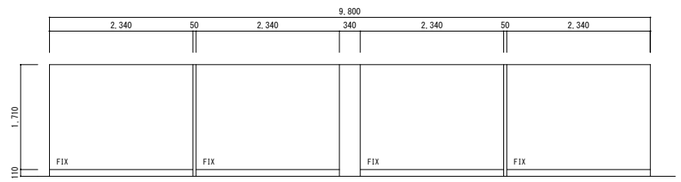
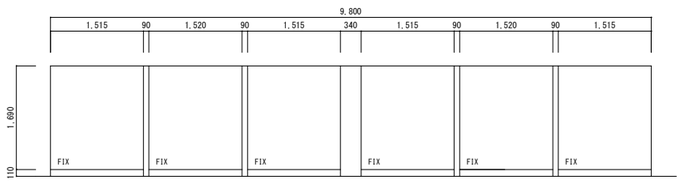
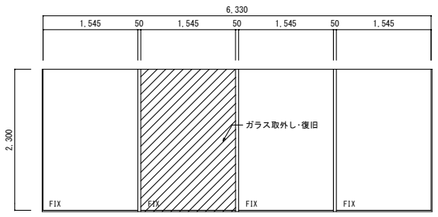
株式会社 佐藤設計
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第248907号 酒井 宏
〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
PHONE (084) 953-3282

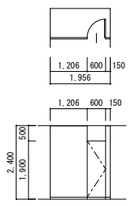
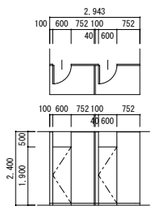
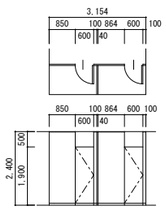
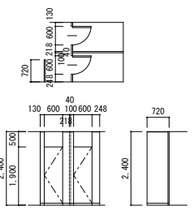
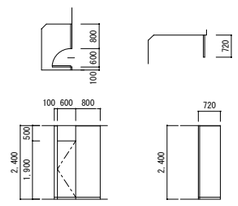
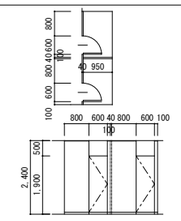
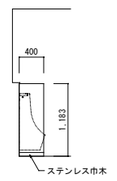
工事名称	縮尺率	工事種別
リムふくやま本館改修工事	A-1：100% A-2：71% A-3：50%	意匠
図面名称	縮　尺	図面番号
改修前後 シャッター建具表 №2	1:100	A-41

2026年 8月

符号 数量	1 SD x 1 鋼製両開きフラッシュドア（改修）	2 SD x 1 鋼製両開きフラッシュドア（改修）	3 SD x 2 鋼製両開きフラッシュドア（撤去･新設） 特定防火設備戸	4 SD x 1 鋼製両開きフラッシュドア（撤去･新設） 特定防火設備戸	5 SD x 2 鋼製両開きフラッシュドア（新設） 特定防火設備戸	6 SD x 1 鋼製両開きフラッシュドア（撤去･新設） 特定防火設備戸
姿図						
室名	２階通路	３階通路	９階ファン室 （２･３）	９階 排煙機械室	３階電気室	地下２階 ファン室･消火ポンプ室
見込	枠：80	枠：80	枠：130、ドア：40	枠：100、額縁：130、ドア：40	ドア：40、枠：165	枠：180、ドア：40
仕上	鋼製 t=1.6	鋼製 t=1.6	鋼製 t=1.6	外部：鋼板、内部：ステンレス	ドア：鋼板 t=1.6	ドア：鋼板 t=1.6
塗装	SOP塗り（既存 枠、ドア共）	――	SOP塗り	外部･枠：SOP塗り	SOP塗り	SOP塗り
硝子	――	――	――	――	――	――
金物	SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ、順位調整器、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式	SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ、順位調整器、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式	シリンダー錠、SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ（ｽﾄｯﾊﾟｰなし）、順位調整器、SUS容摺 t=1.5、標準金物一式	シリンダー錠、SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ（ｽﾄｯﾊﾟｰなし）、順位調整器、SUS容摺 t=1.5、標準金物一式	サムターン付シリンダー錠、SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ（ｽﾄｯﾊﾟｰなし）順位調整器、フランス落し、戸当り、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式	シリンダー錠、SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ（ｽﾄｯﾊﾟｰなし）、順位調整器、SUS容摺 t=1.5、標準金物一式
備考			ドア廻りモルタル詰め	ドア廻り防水モルタル詰め		ドア廻りモルタル詰め

符号 数量	1 LSD x 1 軽量片引込み戸 戸袋なし（新設） ※ フリーストッパー	2 LSD x 1 軽量両開きフラッシュドア（新設）	3 LSD x 6 軽量片開きフラッシュドア（新設	4 LSD x 2 軽量片開きフラッシュドア（新設）		
姿図						
室名	２階多目的便所	２階便所 （３） 掃除具入	２階便所（１、２、３）	２階便所（１、２） 掃除具入		
見込	ドア：40、枠：200	ドア：40、枠：110	ドア：40、枠：120	ドア：40、枠：110		
仕上	ドア：化粧鋼板 t=0.6、枠：鋼板 t=1.6	ドア：化粧鋼板 t=0.6、枠：鋼板 t=1.6	ドア：化粧鋼板 t=0.6、枠：鋼板 t=1.6	ドア：化粧鋼板 t=0.6、枠：鋼板 t=1.6		
塗装	枠：SOP塗り	枠：SOP塗り	枠：SOP塗り	枠：SOP塗り		
硝子	型板ガラス t=4x120x750		型板ガラス t=4x120x750			
金物	引き棒(抗菌樹脂製)、指はさみ防止ｺﾞﾑ、表示錠(非常解) 大型ｻﾑﾀｰﾝ、アルミガラリ（120x700）、標準金物一式	SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ、戸当り、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式	SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ、 アルミガラリ（120x700）、戸当り、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式	SUSレバーハンドル、SUS丁番、ＤＣ、戸当り、SUS容摺 t=1.5 標準金物一式		
備考						

符号 数量	1 SSW x 1 FIX窓４連窓（撤去）	1 SW x 1 1A SW x 1 FIX窓３連窓（新設）	2 SSW x 1 FIX窓４連窓（ガラス取外し･復旧）
姿図			
室名	２階喫茶コーナー	２階喫茶コーナー	９階 通路
見込	枠：100	枠：100	枠：100
仕上	SUS鏡面仕上	鋼製 t=1.6	SUS HL仕上
塗装	――	SOP塗り	――
硝子	フロート t=6.0	耐熱強化ガラス t=8.0	フロートガラス t=6.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
備考		ファイヤードⅡスチール 同等品	

符号 数量	1 TB x 1 トイレブース（新設）	2 TB x 1 トイレブース（新設）	3 TB x 1 トイレブース（新設）	4 TB x 1 4A TB x 1 トイレブース（新設）	5 TB x 1 5A TB x 1 トイレブース（新設）	6 TB x 1 トイレブース（新設）	隔てスクリーン x 3（新設）
姿図	 ※ エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスHL仕上						
室名	便所（１）男子便所	便所（１）女子便所	便所（2）女子便所	便所（2）男子便所	便所（3）男子便所	便所（3）女子便所	便所（1~3）男子便所
見込	40	40	40	40	40	40	20
仕上	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板（しん材：ペーパーコア）	高圧メラミン化粧板
塗装	――	――	――	――	――	――	――
硝子	――	――	――	――	――	――	――
金物	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	SUSヒンジ、SUS表示スライドラッチ、SUS帽子掛戸当り 標準金物一式	標準金物一式
備考							

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

株式会社 佐藤設計
〒720-0823 PHONE(084)953-3282
広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第4533号
一級建築士 第24890号 酒井 宏

工事名称 リムふくやま本館改修工事	2026年 8月	縮尺率 A-1：100% A-2：71% A-3：50%	工事種別 意匠
図面名称 鋼製建具表 トイレブース		縮尺 1:50 1:100	図面番号 A-42

参考数量書

§工事名称　　リムふくやま本館改修工事

§工事場所　　福山市西町一丁目１番１号

特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事積算研究会制定）

設　　計　　書

工事名称　　リムふくやま本館改修工事

工事場所　　福山市西町一丁目１番１号

【工事概要】
鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造　地下２階地上９階建
延べ面積　７２，６３５．２０㎡
・建具改修工事　　一式
・内装改修工事　　一式
・塗装改修工事　　一式

【別途工事】
・電気設備改修工事
・給排水衛生設備改修工事
・冷暖房換気設備改修工事
・昇降機設備改修工事
・２階運営事業者による工事

福　山　市

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
リムふくやま本館	1	式		
計				

リムふくやま本館

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
外部改修	1	式		
建具改修	1	式		
内装改修	1	式		
塗装改修	1	式		
ﾕﾆｯﾄ及びその他	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

リムふくやま本館

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
外部改修	撤去	1	式		
外部改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
ﾕﾆｯﾄ及びその他		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

リムふくやま本館　直接仮設　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
養生		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
内部足場		1	式			別紙 00-0004
計						

リムふくやま本館　外部改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共 集積共	0.5	㎡			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	3.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 人力　集積共	0.1	m3			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	8	m			
ﾃﾝﾄ撤去		766	㎡			
計						

リムふくやま本館　外部改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁取合補修	ﾀｲﾙ補修	1	式			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	8.4	m			
計						

リムふくやま本館　建具改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	4	か所			
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	2	か所			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	26	m			
計						

リムふくやま本館　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
[鋼製建具]						
SD-1	W2,000×H2,000 上枠 再製作	1	か所			
SD-2	W2,000×H2,000 上枠 切断工事	1	か所			
SD-3	W1,800×H2,360 両開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	2	か所			
SD-4	W1,800×H2,400 両開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	1	か所			
SD-5	W2,000×H2,500 両開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	2	か所			
SD-6	W1,800×H2,250 両開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
[鋼製軽量建具]						
LSD-1	W950×H2,160 片引き　手動　戸袋無	1	か所			
LSD-2	W1,600×H2,000 両開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	1	か所			
LSD-3	W800×H2,000 片開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	6	か所			
LSD-4	W650×H2,000 片開き　両面ﾌﾗｯｼｭ	2	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
[ｽﾃﾝﾚｽ製建具]						
SSW-1撤去	FIX窓4連窓　ﾌﾛｰﾄt4	1	か所			

リムふくやま本館　　建具改修　　改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
SSW-2取外・復旧	FIX窓4連窓　ﾌﾛｰﾄt6	1	か所			
SW-1	大型FIXｽｸﾘｰﾝ3連 W4,725×H1,700 ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡｽﾁｰﾙ 耐熱強化ｶﾞﾗｽ 8mm	1	か所			
SW-1A	大型FIXｽｸﾘｰﾝ3連 W4,725×H1,700 ﾌｧｲﾔｰﾄﾞⅡｽﾁｰﾙ 耐熱強化ｶﾞﾗｽ 8mm	1	か所			
工事費		1	式			
ｶﾞﾗｽ工事費		1	式			
ｼｰﾙ施工費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
[ｼｬｯﾀｰ]						
SS-1	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-2	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-3	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-4	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-5	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-6	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-7	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-8	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-9	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-10A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-10B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			

リムふくやま本館　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SS-11	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-12	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-13A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-13B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-14	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-15	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-16	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-17A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-17B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-18A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-18B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-19A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-19B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-20A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-20B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-21A	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-21B	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-22	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-23	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-24	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			

リムふくやま本館　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SS-25	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-26	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-27	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-28	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-29	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
SS-32	危害防止用ｽｲｯﾁ 等 改修	1	か所			
[ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ]						
TB-1	W＝1,956 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-2	W＝2,943＋950 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-3	W＝3,154＋950 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-4	W＝1,936＋1,550 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-4A	W＝700 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-5	W＝1,500 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-5A	W＝720 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
TB-6	W＝3,040＋950 H=2,400 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
[その他]						
ＳＯＰ塗り 改修仕様	鋼製建具面　工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	57.1	㎡			

リムふくやま本館　　建具改修　　改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＯＰ塗り 改修仕様 (糸幅300mm程度)	鋼製建具枠　　工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	82.2	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	15.9	m			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	8.4	m			
建具周囲 ﾓﾙﾀﾙ充填	内部建具	24.7	m			
計						

リムふくやま本館　内装改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
[床]						
ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ撤去		11.6	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無 地 厚さ2.0 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 突付け　－	35.7	㎡			
床ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共 集積共	31.9	㎡			
溝はつり		16.4	㎡			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	52.7	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 人力　集積共	0.3	m3			
床ﾓﾙﾀﾙ･床人研ぎ撤去	集積共	1.6	㎡			
[壁]						
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	12.5	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 人力　集積共	0.9	m3			
CB壁撤去	厚100～120	14.8	㎡			
CB壁撤去	厚150～190	87.8	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木撤去	一般　集積共	11.5	m			
壁ｸﾛｽ撤去	集積共	42.4	㎡			
壁合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般　集積共	16.1	㎡			
壁下地撤去	集積共	18.8	㎡			
壁ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共 集積共	115	㎡			
防煙垂れ壁撤去	線入ｶﾞﾗｽ 6.8	119	㎡			
押出成形ｾﾒﾝﾄ板撤去 (3階通路)	開口部ｱﾝｸﾞﾙ共	1	か所			

リムふくやま本館　内装改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
押出成形ｾﾒﾝﾄ板開口明け	開口 600×400 通しｱﾝｸﾞﾙ L-50×50×6 開口補強ｱﾝｸﾞﾙ L-65×65×6	3	か所			
押出成形ｾﾒﾝﾄ板開口明け	開口 1300×300 通しｱﾝｸﾞﾙ L-50×50×6 開口補強ｱﾝｸﾞﾙ L-65×65×6	1	か所			
[天井]						
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般 集積共	223	㎡			
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	二重張り 一般 集積共	2,065	㎡			
天井下地撤去	集積共	2,288	㎡			
天井点検口撤去	集積共	46	か所			
計						

リムふくやま本館　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
[床]						
下地処理		42.6				
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚28	35.5	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ 厚さ2.5 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法 -	74.8	㎡			
CPL-6	塗装含む	1	か所			
くつずりﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 幅100 戸当り無	27.1	m			
[壁]						
ﾋﾞﾆﾙ幅木張り	高さ60	15	m			
ｽﾃﾝﾚｽ製巾木	高さ60･HL	85.8	m			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	144	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	97.9	㎡			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	8	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000㎜程度	2	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1800×2000㎜程度	2	か所			
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	厚50 24kg/㎥	55.2	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	63.5	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	213	㎡			
化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ 板	厚6.0㎜　不燃 ｼﾞｮｲﾅｰ共	213	㎡			
耐火間仕切壁 (FP060NP-0259)	LGS100型下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+普通硬質石膏 ﾎﾞｰﾄﾞ9.5(両面)	239	㎡			
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	中級品	45.6	㎡			

リムふくやま本館　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
防煙垂壁	ｶﾞﾗｽ	115	m			
ｺｰﾅｰ納まり (防煙垂壁)		4	個			
免震用壁面部材 (防煙垂壁)		42	個			
諸経費 (防煙垂壁)		1	式			
押出成形ｾﾒﾝﾄ板新設 (2階通路)	ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=60　運搬費含む 通しｱﾝｸﾞﾙ L-50×50×6 開口補強ｱﾝｸﾞﾙ L-65×65×6	1	か所			
押出成形ｾﾒﾝﾄ板撤去・一部復旧 (9階ﾌｧﾝ室)	開口部ｱﾝｸﾞﾙ共	2	か所			
押出成形ｾﾒﾝﾄ板撤去・復旧		3	か所			
[天井]						
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　不燃認定 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	139	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　不燃認定 突付け	105	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃　継目処理	105	㎡			
天井　ﾛｯｸｳｰﾙ 化粧吸音板張り (DR)	ﾌﾗｯﾄ内部用 厚 9　不燃 下張GB-R　厚12.5共	1,975	㎡			
天井　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)　厚 4 突付け	19.3	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225	139	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りあり @360	2,080	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300	19.3	㎡			
軽量鉄骨天井下地 振止め補強加算	ふところ高1.5～3.0m	2,238	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450× 450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	45	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　600× 600㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	36	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 450角	45	か所			

リムふくやま本館　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 600角	36	か所			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	917	m			
天井廻縁	ｱﾙﾐ製	86.9	m			
天井見切り	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	44.1	m			
[その他]						
SUS床見切り	40×20×1.5 L=1,200	1	か所			
SUS床見切り	40×20×1.5 L=1,500	1	か所			
SUS三方枠	D120×25	5.5	m			
SUS三方枠	D305×25	5.2	m			
ｽﾁｰﾙ製額縁	t=1.6	1	か所			
SUSﾊﾟｲﾌﾟ	27.2φ L=900 t=1.5	2	か所			
SUSﾊﾟｲﾌﾟ	27.2φ L=2000 t=1.5	1	か所			
手すり設置(L型)	TOTO T113(同等品) 取付金具・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ・下地補強含む 材工共	10	か所			
汚垂石	ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱPU薄型平 TOTO(同等品)	3	か所			
化粧鏡	450×1,000	3	か所			
化粧鏡	1,200×1,120	1	か所			
化粧鏡	1,700×1,120	1	か所			
化粧鏡	1,800×1,120	3	か所			
化粧鏡	2,100×1,120	1	か所			
ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	YKA16S TOTO(同等品)	1	か所			

リムふくやま本館　　内装改修　　改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天板 (便所１) (男性便所)		1	か所			
天板 (便所１) (掃除具入)		1	か所			
天板 (便所２) (男性便所)		1	か所			
天板 (便所２) (掃除具入)		1	か所			
ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ (便所２) (ﾊﾟｳﾀﾞｰｺｰﾅｰ)		1	か所			
天板 (便所３) (男性便所)		1	か所			
天板 (便所３) (掃除具入)		1	か所			
棚板		3	か所			
隔てｽｸﾘｰﾝ		3	か所			
ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ(平付)	200×200 ﾍﾞｰｽ白ｱｸﾘﾙ板t=5 表示基板ｶﾞﾗｽｱｸﾘﾙt=3 UV印刷	8	か所			
ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ(突出)	200×200 ﾍﾞｰｽ白ｱｸﾘﾙ板t=5 表示基板ｶﾞﾗｽｱｸﾘﾙt=3 UV印刷	1	か所			
計						

リムふくやま本館　　塗装改修　　改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
[外部]						
耐候性塗料塗(DP)	3級　B種 錆止め含む 下地調整RB種	2,315	㎡			
耐候性塗料塗(DP) （糸幅300㎜）	3級　B種 錆止め含む 下地調整RB種	1,682	m			
[内部]						
ＥＰ塗り 改修仕様	押出成形ｾﾒﾝﾄ板面　工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	1	式			
ＥＰ塗り 改修仕様	ﾎﾞｰﾄﾞ面(継目)　　工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	107	㎡			
計						

リムふくやま本館　ﾕﾆｯﾄ及びその他

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	H＝1,500 片開き戸(W=1,000)含む 朝日UNﾌｪﾝｽUN-A1500同等品	1	式			
機械基礎新設	Fc=21 溶接金網100@	1	式			
ｽﾃﾝﾚｽﾁｪｰﾝ (侵入防止)	SUS丸環・SUS回転ｽﾅｯﾌﾟ SUSﾁｪｰﾝ5φ　L=2,000	36	か所			
計						

リムふくやま本館　発生材処理　運搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1.2	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t 特定建設資材以外	31.4	t			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t 廃石こうﾎﾞｰﾄﾞ	38.1	t			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t 廃ﾌﾟﾗ	0.8	t			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t ｽｸﾗｯﾌﾟ	6.6	t			
計						

リムふくやま本館　　発生材処理　　処分

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処理費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1.2	m3			
発生材処理費	特定建設資材以外	31.4	t			
発生材処理費	廃石こうﾎﾞｰﾄﾞ	38.1	t			
発生材処理費	廃ﾌﾟﾗ	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	ｽｸﾗｯﾌﾟ	6.6	t			
計						

リムふくやま本館　直接仮設　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	個別改修	72.9	㎡			
墨出し(内部改修)	複合改修	2,239	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生(内部改修)	個別改修	565	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	2,288	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	565	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	2,288	㎡			
計						

リムふくやま本館　　直接仮設　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
内部足場		1	式			別紙 00-0004
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満　　－	2,312	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用60日賃料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満　　－	2,312	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満　　平家用	2,312	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	2,312	㎡			
内部階段仕上足場	掛払い手間	492	㎡			
内部階段仕上足場	供用60日賃料 修理費含む	492	㎡			
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む	492	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		492	㎡			
ﾛｰﾘﾝｸﾞ足場	幅1.5m 高5.0m以下　3段 存置2カ月	2	台			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	16t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き　賃料 標準	36	日			
交通誘導員B		72	人			
駐車場利用料		1	式			
工事中情報共有 ｼｽﾃﾑ利用料		1	式			
計						